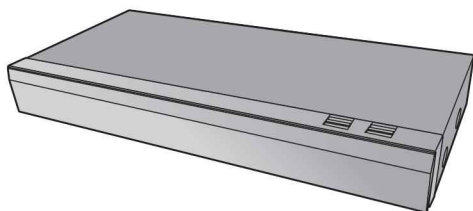


取扱説明書 CATV デジタル セットトップボックス

品番 TZ-BT9000BW



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(7～10ページ)

はじめに ▶	 11～24
視聴 ▶	 25～27
録画 ▶	 28～52
再生・編集 ▶	 53～72
ダビング ▶	 73～82
ビデオカメラ ▶	 83～86
写真・動画・音楽 ▶	 87～98
便利機能 ▶	 99～108
接続と設定 ▶	 109～141
必要なとき ▶	 142～裏表紙

このたびは、ケーブルテレビ局にご加入いただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。



TQBS0457-5
F1221TN5024

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→7～10 ページ)

本機の特長とご案内	6
-----------------	---

目 はじめに

ご使用の前に	11
本書のご案内 / リモコンの準備	13
• ディスクなどのマーク表示について	13
• 参照ページとイラストについて	13
• リモコンに電池を入れる	13
各部の働き	14
• 本体前面	14
• 本体表示窓	15
• 本体背面	15
• リモコン	16
本機の電源を入 / 切する	17
• 本機の映像をテレビに映す	17
• 本機の電源を切る	17
アプリー一覧について	18
• アプリー一覧で表示できる機能	19
受信できるデジタル放送と記録の制限について	20
• 受信できるデジタル放送について	20
• 記録の制限について	20
4K 放送の番組について	21
録画モードについて	22
4K 放送の録画、ダビングについて	24
• 4K 放送の録画について	24
• 4K 放送の番組のダビングについて	24
• 4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R の他の機器での取り扱いについて	24

□ 視聴

テレビ放送を見る	25
• データ放送を見る	25
• その他の選局方法	25
• 番組視聴中の便利な機能	26

🕒 録画

放送中の番組を録画する	28
番組表の見方	29
• 番組表の表示設定	29
番組表を使って予約録画する	31
• 詳細設定をする	33
• 番組表での予約の取り消し / 修正	34
• 録画中の予約録画を止める	34
• 注目番組一覧から予約録画する	35
• ジャンルや人名、ワードで検索する	36
番組を検索する	37
新番組 / 特番 / 初放送の確認や予約をする	39
日時を指定して予約録画する (時間指定予約)	40
予約内容の確認、取り消し、修正など	41
自動予約する	42
• おまかせ録画する	42
• おまかせ録画した番組を再生する	43
• 関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)	44
• 新番組を自動で予約録画する	46
• ニュース番組を自動で予約録画する	47
予約録画の便利な機能	48
録画 / 予約録画に関するお知らせ	49
他の CATV セットトップボックスから本機に録画する	51
• ネットワークを使って予約する (LAN 録画)	51
番組の同時録画について	52

再生・編集

録画一覧について.....	53
録画した番組を再生する.....	55
● 録画した番組を再生する.....	55
●  番組について.....	58
再生メニューについて.....	59
● 似たもののおすすめを使って番組を探す.....	59
Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、 DVD ビデオを再生する.....	60
● Ultra HD ブルーレイを楽しむ.....	60
● マスターグレードビデオコーディング対応の ディスクを楽しむ.....	61
● インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ.....	61
● 副映像のあるディスクを楽しむ.....	61
● 3D 映像を楽しむ.....	61
再生中のいろいろな操作.....	62
再生設定をする.....	64
● 音声や字幕などの設定をする（再生設定）.....	64
番組を消去する / 編集する.....	67
● 番組を消去する.....	67
● 番組を編集する.....	67
チャプターの作成・再生・編集.....	71
● チャプターマークを作成する / 削除する.....	71
● チャプターを再生・編集する.....	72

ダビング

番組のダビングについて.....	73
番組をダビングする.....	74
● かんたんダビング.....	74
● 詳細ダビング.....	76
● ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする.....	78
● 再生中番組の保存.....	79
● ダビング時の動作について.....	79
ディーガやビエラなど他機器から ダビングする.....	81
● お引越しダビング.....	81
● ネットワークを使ってダビングする.....	82

ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む.....	83
● 撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む.....	83
● ネットワークを使って取り込む (コピー).....	86

写真・動画・音楽

写真や動画を取り込む.....	87
● 写真や動画を取り込む.....	87
写真や動画を再生する.....	88
● 写真 / 動画一覧のいろいろな機能.....	90
● 写真や動画をお気に入り登録する.....	91
● アルバムを作成する.....	91
写真や動画を書き出す.....	92
● 写真や動画を書き出す.....	92
● 写真や動画をディスクに保存する.....	93
ネットワークカメラの動画を 本機で受信する.....	94
● ネットワークカメラの設定をする.....	94
● 動画を受信する.....	94
音楽 CD を再生する / HDD に取り込む.....	95
● 音楽 CD を再生する.....	95
● HDD に取り込む.....	95
音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す.....	96
● 音楽ファイルを再生する.....	96
● 音楽ファイルを取り込む / 書き出す.....	98



便利機能

録画した番組をモバイル機器に転送する	99
• スマホ転送番組を作成する	99
• ネットワーク経由で転送する	101
ビエラリンク (HDMI) を使う	102
インターネットサービスを利用する	105
• 動画配信サイトなどの	
サービスを利用する	105
• マイアプリボタンから動画配信サイトなどの	
サービスを利用する	105
お部屋ジャンプリンクを使う	106
• 別室のテレビなどで見る	
(本機をサーバーとして使用する)	106
• 別室の機器の映像を見る	
(本機をクライアントとして使用する)	107
• よくあるご質問	107
文字入力	108
• 文字パネルから文字入力する	108
• リモコンボタン方式で文字入力する	108

接続と設定

テレビやケーブルテレビ宅内線と	
接続する	109
ネットワーク接続の準備をする	110
• 各機器と直接接続する	110
• ハブまたはブロードバンドルーターを	
使って接続する	111
• 無線ブロードバンドルーター	
(アクセスポイント) を使って接続する	111
テレビとアンプ (スピーカー) を	
HDMI 端子で接続する	113
• HDMI 映像出力 (映像・音声) 端子に	
アンプを接続する	113
• HDMI 音声出力端子にアンプを接続する	
(より高音質で楽しむ)	114
C-CAS カードを挿入する	115
電源コードを接続する	116
設置設定をする	117
• チャンネル設定をする	117
• 選局画面のチャンネル表示を制限する	119
• 地域設定を修正する	119
• C-CAS カード /	
ACAS チップのテストをする	120
リモコン設定をする	121
ネットワークの設定をする	123
ネットワーク連携する	
機器の設定をする	125
いろいろな情報を見る (メール / 情報)	127
放送設定を変える (放送設定)	128
• 設置設定	128
• デジタル放送 視聴・再生設定	128
• ソフトウェア更新設定	129
• 放送設定リセット	129
本機の設定を変える	
(初期設定 / リモコン設定)	130
• 設置設定 / リモコン設定	130
• HDD / ディスク / USB-HDD 設定	132
• 映像設定	133
• 音声設定	134
• 画面設定	134
• テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定	135
• ネットワーク通信設定	136
ソフトウェアの更新について	141

? 必要なとき

記録できるディスクについて	142
再生のみできるディスク /	
使えないディスクについて	144
●再生のみできるディスク	144
●本機で使えないディスク	144
本機で記録できるようにする	
(フォーマット)	145
ディスク名入力 / ディスクプロテクト /	
録画一覧の全番組消去	146
ファイナライズ	147
USB-HDD の録画について	148
●接続する	149
●録画用フォーマットで使用する	149
●写真・音楽用フォーマットで使用する	150
●SeeQVault フォーマットで使用する	150
●取り外しについて	150
USB 機器について	151
●接続できる USB 機器について	151
●USB 機器を接続する	151
●USB 機器の取り外しについて	151
取り扱いについて	152
同時操作について	155
●録画 / 予約録画中の同時操作	155
●4K/2K HEVC 放送の番組を	
ダビング中の同時操作	156
●デジタル放送の番組をダビング中の	
同時操作	156
●本機を操作中のお部屋ジャンプリnkの	
同時操作	157
こんな表示が出たら	158
表示マーカー一覧	160
●番組表	160
●番組内容画面	160
●予約一覧画面	161
●録画一覧・ダビング画面	162
●スマホ転送番組一覧画面	163
故障かな !?	164
仕様	172
著作権など	185
さくいん	190
付属品を確認する	裏表紙

本機の特長とご案内

各種のデジタル放送を楽しむ

本機は、地上・BS デジタル放送、BS4K 放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送（高度ケーブル自主放送など）を受信する CATV 用デジタルセットトップボックスです。

4K テレビまたは 4K 対応テレビ（HDMI 2.0/ HDCP2.2 対応端子搭載）に接続することで、ハイビジョン放送の約 4 倍の画素数でさらに高画質な 4K 番組を視聴することができます。

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

- 従来、地上・BS デジタル放送を受信するのに著作権保護、有料放送受信などのため、B-CAS カードを使用していましたが、本機は新 CAS 方式の ACAS チップを内蔵しており、B-CAS カードは使用しません。

写真・動画、CD 楽曲をためて家族で楽しむ

- CD を再生したり楽曲を本機に取り込んで楽しめます。(→95)
- 思い出の写真や動画を自動でディスクに保存することができます。(→93)
- ペットの動画もかんたんに取り込めます。(→94)
- 写真や動画を自動で分類しておまかせアルバムを作成します。(→89)
- 分類された写真や動画を 1 分間のダイジェストで手軽に振り返れます。(→88、89)
- カメラの写真や動画を保存してテレビで楽しめます。(→88)

本機で Ultra HD ブルーレイの HDR 機能を楽しむには

Ultra HD ブルーレイを再生したときに、HDR 対応のメッセージが表示された場合はテレビの HDR 設定を確認してください。

- 1) 2015 年または 2016 年に発売された当社製の 4K/HDR 対応のテレビ（CX800 など）をお使いの場合、以下のテレビの設定を確認してください。

- ・ テレビを HDMI 入力に切り換える
- ・ テレビのリモコンボタンの「メニュー」を押す
- ・ 「機器設定」の「HDMI HDR 設定」を選ぶ
- ・ 「HDMI HDR 設定」の「オン」を選ぶ

- 2) 当社製以外の他社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの説明書をご覧ください。

- 3) HDR 非対応のテレビの場合、メッセージが表示されますが、HDR 信号を変換した映像を再生します。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告



電源プラグ
を抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、ケーブルテレビ局にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない
感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

警告



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止 感電の原因になります。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V 以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15 cm 以上離す

無線 LAN からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

警告



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

無線 LAN からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

無線 LAN からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

注意



異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- 壁に押しつけないでください。
- 風通しの悪い狭いところで使用しないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクや USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



指はさみ注意

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。



機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開 / 閉ボタンを押さないようご注意ください。



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D 映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D 映画などを視聴する場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が見る際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。



3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、「3D 設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。



スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

ご使用の前に

本機は、放送内容、ご使用環境、接続されている機器との組み合わせや、長期間の連続使用、外部からの雑音などの影響によりリモコンによる操作ができなくなるなど、まれに正常に動作しないことがあります。

この場合は、本体の[⏻/⏮]を3秒以上押していたるか、電源プラグを一度抜き、しばらくした後、再度電源プラグを差し込み、動作を確認してください。本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域(90 MHz ~ 770 MHz、1032 MHz ~ 1489 MHz、2224 MHz ~ 2681 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。電源プラグを抜いたり、電源を「入」にしているとダウンロードが実行されません。ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。長時間動かない画像を映さないでください。

本機に接続されたテレビやプロジェクターに、動かない画像を長時間映していると、画面に映像が焼き付き、影のように画面に残るおそれがあります。動かない画像を長時間映さないでください。

- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- C-CAS カードは、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 放送やネットワークのサービスには当社およびご加入のケーブルテレビ局以外の第三者であるサービス事業者が運営するものが含まれています。当社およびケーブルテレビ局は、当該サービスに関する一切(予告なくサービス内容の変更や終了する場合等)について何らの保証も責任も負いません。

ソフトウェア更新による機能追加のお知らせ

本機は、ソフトウェアのダウンロードによりご利用いただける機能があります。

追加になる機能とダウンロード時期などの詳しい情報は、アプリ一覧の「ヒント」で表示される「機能追加のお知らせ」をご覧ください。

- 1 を押す
 - 2 アプリ一覧から「ヒント」を選び、を押す
- 「ヒント」の1ページ目に「機能追加のお知らせ」が表示されます。

ご使用の前に (続き)

本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置する。

タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつき (結露) について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・ 急激な温度変化が起きたとき (暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - ・ 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・ 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで (約 2 ~ 3 時間)、電源を切ったまま放置してください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (市販品) が必要です。接続するテレビに合わせて HDMI ケーブルをご準備ください。

- 4K 対応テレビに接続する場合は、HDMI 規格に準拠した「プレミアムハイスピード HDMI ケーブル」が必要です。
- 上記以外の場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

- Ultra HD ブルーレイを4K/HDR で視聴するために、HDCP2.2、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR 信号に対応した機器のHDMI端子に接続して、テレビの設定を確認してください。(→6)

本書のご案内 / リモコンの準備

ディスクなどのマーク表示について

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE*	BD-RE
BD-R*	BD-R
BD ビデオ	BD-V
Ultra HD ブルーレイ	
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW
DVD ビデオ	DVD-V
+R, +R DL, +RW	
CD	CD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

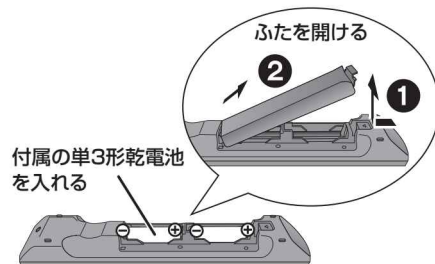
※ DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。
 - ・ AVCREC 方式の場合 : 例) **-R AVCREC**
 - ・ VR 方式の場合 : 例) **-R VR** **-RW VR**
 - ・ ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V**
(ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクの場合は、**AVCHD** と表示
- MP4 の動画が記録された USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、SeeQVault フォーマット) (→148) の場合は、**MP4** と表示
- 特に記載がない場合、本書で「BD ビデオ」と記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

参照ページとイラストについて

- 本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。

リモコンに電池を入れる

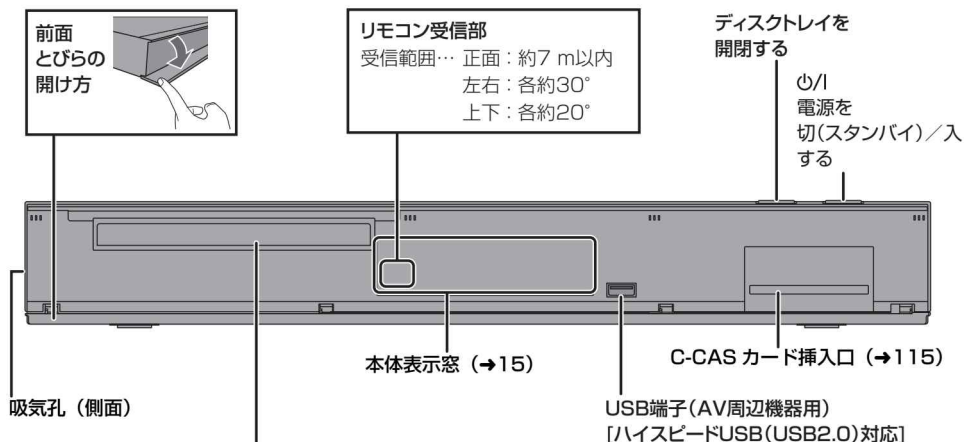


リモコンのふたを閉じるときは、開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

- ⊕⊖を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池をお使いください。

各部の働き

本体前面

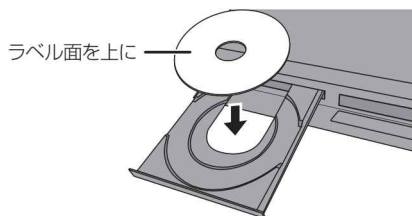


リモコンの  を押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の  でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

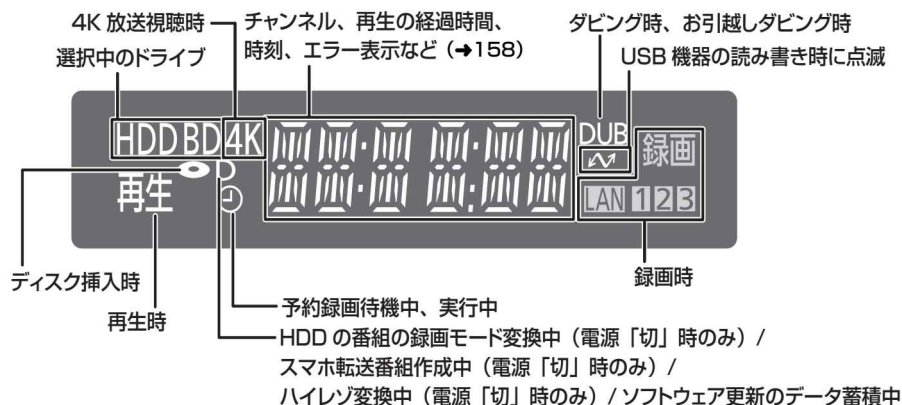
お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。



本体表示窓

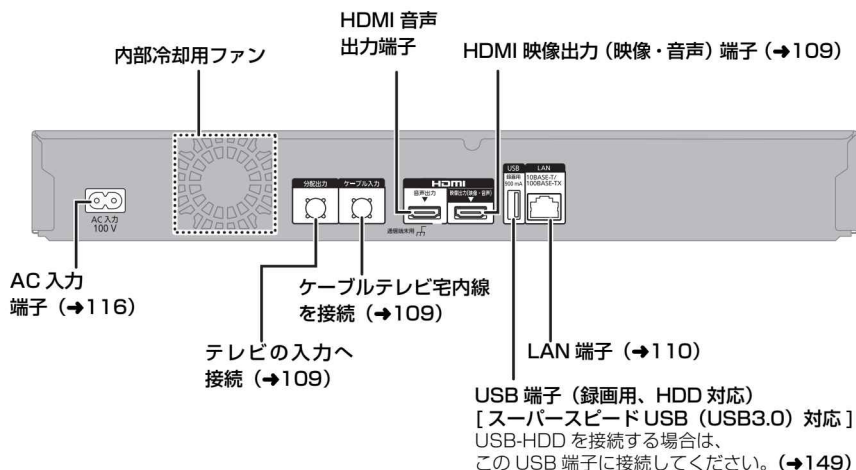
以下の場合に点灯表示します。



お知らせ

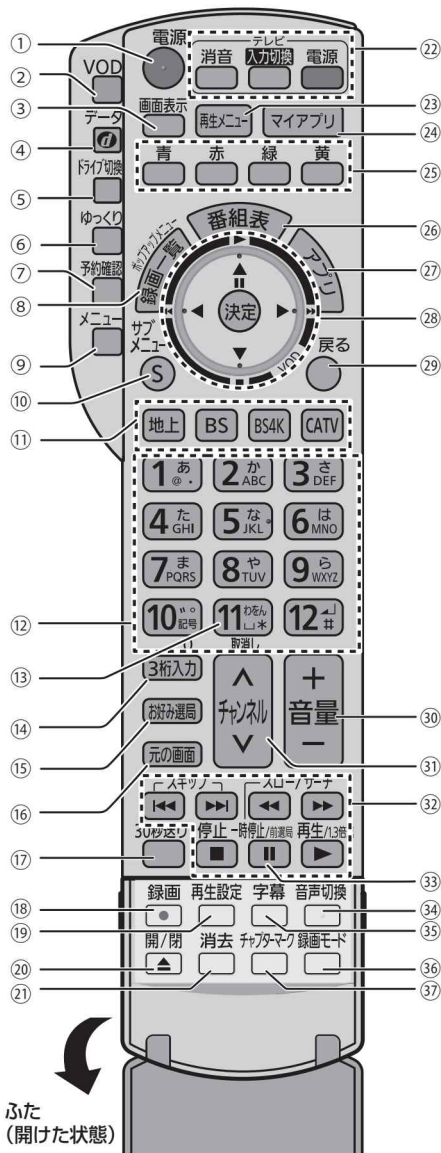
- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
 - ①「クイックスタート」(→131)を「入」に設定
 - ②「クイックスタートモード」(→131)を「標準」に設定
 - ③「ECO スタンバイ」(→135)を「切」に設定

本体背面



各部の働き (続き)

リモコン



- ① 本機の電源を入/切る
- ② VOD(ビデオ・オン・デマンド)を使用する
 - サービス内容により機能が使用できない場合があります。
- ③ 情報を表示する (→26、63)
- ④ データ放送の画面を表示する
- ⑤ ドライブを切り換える
- ⑥ 番組をゆっくり/はつきり再生する (→27、63)
- ⑦ 予約一覧画面を表示する
- ⑧ 録画一覧/ディスクメニューを表示する (→55、60)
- ⑨ メニューを表示する
 - サービス内容により機能が使用できない場合があります。
- ⑩ サブメニューを表示する
- ⑪ 放送を切り換える (→25)
 - 押すとボタンが点滅します。
 - ご加入のケーブルテレビ局によりサービス内容が異なります。サービスされていない放送には、切り換わりません。
- ⑫ チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する
- ⑬ 予約の取り消し
- ⑭ チャンネル番号を入力して選局する (→26)
- ⑮ お好みチャンネルを表示する (→26)
- ⑯ テレビ放送の画面に戻す
- ⑰ 約30秒先へ飛び越す/約10秒前へ戻す (→62)
- ⑱ 録画する (→28)
- ⑲ 再生方法を設定する
- ⑳ ディスクトレイを開閉する
- ㉑ 番組の消去や予約の取り消しをする
- ㉒ 本機のリモコンでテレビの操作をする
- ㉓ 再生メニューを表示する (→59)
- ㉔ 登録したマイアプリを表示する (→105)
- ㉕ 画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する
- ㉖ 番組表を表示する (→31)
- ㉗ アプリ一覧画面を表示する (→18)
- ㉘ 選択および決定する
 - VOD 操作時の使用方法については、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。(ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりこの機能が使用できない場合があります)
- ㉙ 前の画面に戻る
- ㉚ テレビの音量を調整する
- ㉛ チャンネルを順に選ぶ
- ㉜ 録画や再生時の基本操作をする
- ㉝ チャンネルを切り換え前に戻す
- ㉞ 音声を切り換える (→26、63)
- ㉟ 字幕を切り換える (→26、63)
- ㊱ 録画モードを選ぶ (→28)
- ㊲ チャプターマークを作成・削除する (→71)

お知らせ

- リモコンを使うと他の当社製CATVセットトップボックスが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(→122)
- 本機のリモコン受信部 (→14) にまっすぐ向けて、操作してください。

本機の電源を入 / 切する

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの を押す

本体表示窓



チャンネル表示

- テレビに映像が映っているか確認してください。

☞ テレビに映像が表示されない場合

- テレビの入力を確認してください。
- 接続を確認してください。
(→109 ~ 116)

本機の電源を切る

本機のリモコンの  を押す

本体表示窓



時刻表示

または



表示なし

はじめに

アプリ一覧について

アプリ一覧から本機の主な機能を操作することができます。

1  を押す

2 項目を選び、 を押す

例)



アプリ一覧は3つのページに分かれています。[◀][▶] を数回押してページを切り換えてください。

録る	番組表を表示します。(→31) 録画の予約を行うことができます。
見る	録画一覧を表示します。(→55) 録画した番組を表示することができます。
残す (ダビングする)	かんたんダビングまたは詳細ダビングを行います。(→74、76) 録画した番組をダビングすることができます。

お知らせ

- 本書では、アプリ一覧などの操作は工場出荷時の状態で説明しています。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できるアプリの内容が異なります。
- 放送やネットワークのサービスには当社およびご加入のケーブルテレビ局以外の第三者であるサービス事業者が運営するものが含まれています。当社およびケーブルテレビ局は、当該サービスに関する一切（予告なくサービス内容の変更や終了する場合等）について何らの保証も責任も負いません。

 左右のページを表示するには

  を押す
(または [◀][▶] を数回押す)

 アプリ一覧に表示されていない機能を選びたいときは
(→19)

アプリ一覧で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。

- アプリ一覧に表示されていない機能を選びたいときは「全機能から選ぶ」を選び、[決定]を押してください。

機能名	参照ページ
見る・聴く	
録画番組を見る	
再生メニュー	59
最新ニュース	47
最新録画番組を見る*	54
新番組おまかせ録画番組を見る* 「新番組おまかせ録画」(→46)で録画した番組を視聴します。	
写真／動画を見る	88
音楽を聴く	96
番組を探す・予約する	
予約する	31
新番組／特番おしらせ	39
おまかせ録画	42
予約確認する	41
ニュース録画設定	47
検索する	37
放送局からのおすすめ(注目番組)	35
カテゴリーまとめて検索	45
新番組おまかせ録画	46
お好み番組表 お好みチャンネル(→26)で登録した放送局のみを番組表に表示します。	
残す	
ダビングする	
スマホ転送番組一覧	101
ネットワーク機能を使う	
お部屋ジャンプリnk	107
テレビでネット	105

ニューストピックス ディモラのサービスに登録すると、話題のニュースをシーン一覧で表示します。(→47)	サービスの登録について(→189)
ディモラからのおすすめ* ディモラのサービスに登録すると、おすすめ番組が配信されます。	
お引越シダビング	81
設定する・その他の機能	
ヒント	
放送設定	128
初期設定／リモコン設定	130
HDMI 接続設定	135
ネットワーク設定	123、136
メール／情報*	127
お好み設定リセット アプリ一覧の表示を工場出荷時の設定に戻します。	
メディアを使う	
ブルーレイ (BD) / DVD USB 機器 USB-HDD 各メディア内のデータを表示します。	

※ 新着情報がある場合、 (新着お知らせアイコン)が表示されます。(新着情報の更新は、電源「切」時に行います)

アプリ一覧の「ヒント」を選ぶと、機能追加のお知らせや本機の便利な使い方、よくあるご質問が表示されます。
ご使用時に困ったことなどがありましたらご覧ください。

アプリ一覧に表示する機能を変更するには

- ① 変更したい機能を選び、[サブメニュー]を押す
- ② 「機能を登録する」を選び、[決定]を押す
- ③ メニューを選び、[決定]を押す
- ④ 表示したい機能を選び、[決定]を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定]を押す

受信できるデジタル放送と記録の制限について

受信できるデジタル放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

CATV デジタル放送 (CATV デジタル)

ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

BS4K 放送 (BS4K)

2018 年 12 月に開始の BS による 4K テレビ放送で、超高精細度 (ハイビジョン放送の4倍の画素数) が特徴です。

お知らせ

- WOWOW など有料の放送局とのご契約は、テレビの B-CAS カードでのご契約いただいている場合でも、本機内蔵の ACAS チップでのご契約が必要となります。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRM に対応している必要があります。

パッケージに **CPRM 対応** の記載のある DVD を準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は **10** または **1** を、ブルーレイディスクの場合は **1** を表示します。

10 ~ **1** はダビングの残り可能回数を表します。DVD の場合は **X** を表示し、ダビングや移動はできません。

1 の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 通常の番組・スマホ転送番組ともにダビング元から消去されます。(BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません)



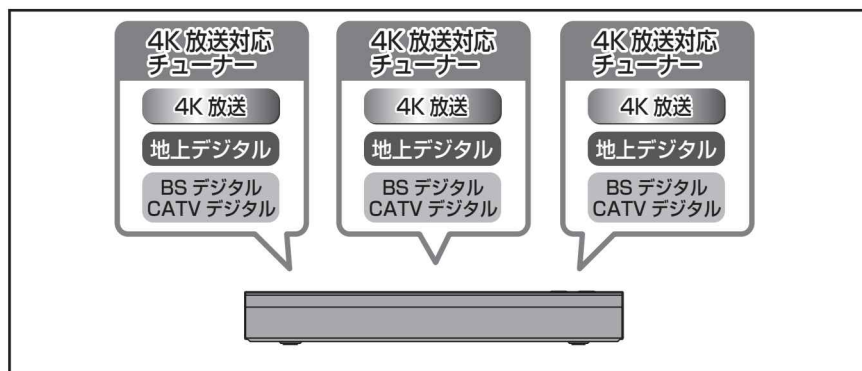
- プロテクト設定 (→67) されている **1** の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<https://www.apab.or.jp>

4K 放送の番組について

本機には 3 つのチューナーが搭載されています。



録画モードについて

本機は録画する放送によって選択できる録画モードが異なります。

4K 放送録画時の録画モード

録画モード	4KDR	4K 1.5 倍録から 4K8~12 倍録 (4K 画質モード)	1.5 倍録から 15 倍録 (ハイビジョン画質モード)
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	4K画質 放送データを圧縮 ^{*1} して、4K 画質で長時間記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{*2} して、ハイビジョン画質で長時間記録
	—		
記録できるメディア	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} USB-HDD ^{*3}	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} USB-HDD ^{*3}	HDD ^{*4} BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} -R AVCREC ^{*3} USB-HDD ^{*3} ^{*4}
サウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声 ^{*5}	ステレオ音声
複数の音声 (マルチ音声 →31)	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つまで記録 ^{*6}	音声は 1 つだけ記録 ^{*6}
二重音声 (→31)	両方の音声を記録		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報を記録しない。 再生時、字幕表示の入 / 切はできない ^{*6}

- 録画モードと記録時間の目安 (→175)
- 録画モードを変更するには
・録画時(→28) ・予約時(→32) ・かんたんダビング時(→75「画質変更」) ・詳細ダビング時(→76)

※ 1 映像圧縮方式：HEVC/H.265

※ 2 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※ 3 4K 放送をディスクや USB3.0 非対応の USB-HDD へ記録する場合、ダビング時のみ可能です。

※ 4 4K 放送を HDD や USB3.0 対応の USB-HDD へ記録する場合、録画モード変換時のみ可能です。

※ 5 AAC22.2ch や AAC7.1ch を記録するには、「4K 画質の音声 ch 数優先」(→132)を「入」に設定してください。

※ 6 記録したい音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

- ・録画時：「信号切換」(→27)で選ぶ
- ・予約録画時：「信号設定」(→34)で選ぶ
- ・ダビング時：「信号切換」(→64)で選んだあと、ダビングを行う (→80)

おまかせ長時間「4K8~12 倍録」モードについて

「4K8~12 倍録」モードは、番組の内容に応じて録画倍率を 8 倍録から 12 倍録まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きが激しい映像では、録画倍率が 8 倍相当になるため、画面に表示している記録可能時間よりも実際に記録できる時間が短くなることがあります。

デジタル放送録画時の録画モード

録画モード	DR	1.5 倍録から 15 倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮^{*1}して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせて XP ～ LP の中で画質を自動調整して記録^{*2}
	—	高画質 長時間	高画質 長時間	—
記録できるメディア	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE^{*3} BD-R^{*3} -R AVCREC^{*3} USB-HDD	-R VR^{*3} -R V^{*3*4} -RW VR^{*3} -RW V^{*3*4}	
サラウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声	ステレオ音声 (ダウンミックス 2 チャンネル)	
複数の音声 (マルチ音声 →31)	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つまで記録 ^{*5*6}	音声は 1 つだけ記録 ^{*5}	
二重音声 (→31) ^{*7}	両方の音声を記録			
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{*5}	

●録画モードと記録時間の目安 (→175)

●録画モードを変更するには

・録画時(→28) ・予約時(→32) ・かんたんダビング時(→75「画質変更」) ・詳細ダビング時(→76)

※ 1 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※ 2 番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。

※ 3 ディスクへの記録はダビング時のみ可能です。

※ 4 **-R V** **-RW V** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※ 5 記録したい音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

・録画時：「信号切換」(→27) で選ぶ

・予約録画時：「信号設定」(→34) で選ぶ

・ダビング時：「信号切換」(→64) で選んだあと、ダビングを行う (→80)

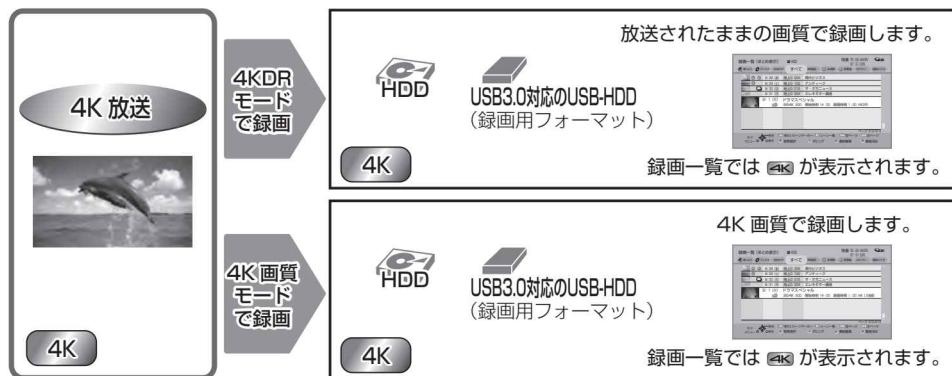
※ 6 1.5 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

※ 7 **-R V** **-RW V** に記録する場合、音声は設定に従って記録 (「DVD-Video 記録の設定」(→132) の「二重音声記録時の音声選択」を設定する)

4K 放送の録画、ダビングについて

4K 放送の録画について

4K 放送の番組を録画する場合、4KDR モードまたは 4K 画質モードで録画できます。

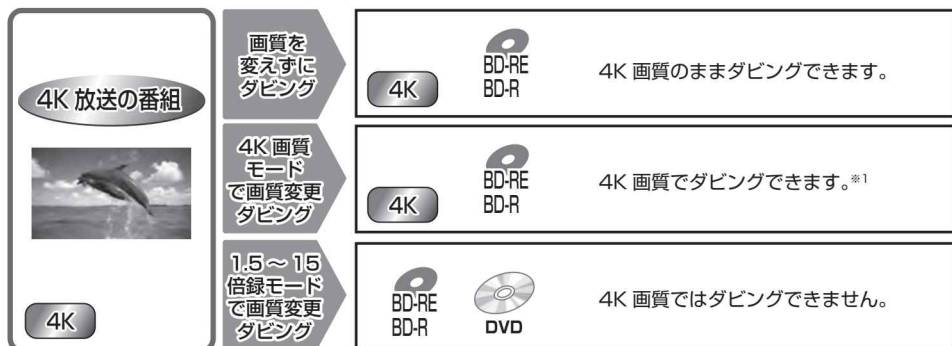


4K 画質モードを選んで録画した場合、本機はいったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

4K 放送の番組を 1.5 ～ 15 倍録モードで録画することはできません。

4K 放送の番組のダビングについて

4K 放送の番組をディスクにダビングする場合、ディスクによって選択できる録画モードは異なります。



※ 1 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K8-12 倍録」に設定して **BD-RE** **BD-R** に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(→70)で「4K 4.5 倍録」から「4K8-12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください

4KDR モード、4K 画質モード、DR HEVC の番組を記録した BD-RE、BD-R の他の機器での取り扱いについて

4KDR モード、4K 画質モード、DR HEVC^{*2} の番組を記録した BD-RE、BD-R は、他の機器では正しく再生・編集・消去ができない場合があります。BS4K 放送の 4KDR モードの番組の場合、「4KDR のダビング方式」(→132)を「ダビング方式 2」に変更すると、他の機器でも再生できる場合があります。

DR HEVC の番組の場合、あらかじめ「録画モード変換」(→70)でハイビジョン画質に変換しておくか、または、ダビング時に画質変更 (→75)や録画モード (→76)でハイビジョン画質に設定すると、他の機器でも再生できる場合があります。

※ 2 DR HEVC は、エンコード方式が HEVC の 2K CATV デジタル放送を放送画質で録画したものです。

テレビ放送を見る

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 「選局入力方式」(→129)が「プリセット」の場合:

を押す

- 押すとボタンが数回点滅します。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

[地上]: 地上デジタル放送

[BS]: BS デジタル放送

[BS4K]: BS4K 放送

[CATV]: CATV デジタル放送 (CATV の放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります)

- 「選局入力方式」(→129) が「3桁入力」の場合は、手順2へ進んでください。

2 を押して、チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンを使ってチャンネルを選ぶ場合、「選局入力方式」(→129) の設定に従って選局されます。

・「プリセット」に設定されているとき:

数字ボタンを押すとボタンに割り当てられた放送局を選局

- 3桁入力で選局したい場合は、はじめに [3桁入力] を押してから選局してください。(→26)

・「3桁入力」に設定されているとき:

3桁のチャンネル番号を入力して選局

例) 地上デジタル 101: [1]→[10]→[1]

- 数字ボタンを押して3秒以上経つか [決定] を押すと、押したボタンで (プリセット) 選局されます。

- 3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、見たい放送を選んで [決定] を押してください。



データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。
視聴中の番組の録画が始まると、データ画面が消えます。
- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→110、123)

1 データ放送のある番組を選局し、を押す

2 見たい項目を選び、を押す

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンで操作してください。

データ画面を消すには
[データ] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

1 を押す

2 放送中の番組を選び、を押す

番組表の見方について (→29)

別の放送の番組表を見るには

[◀][▶] を押し続ける

- [地上][BS][BS4K][CATV] を押しても別の放送に切り替わります。

3 「今すぐ見る」を選び、を押す

お知らせ

- 番組表に 8K 放送の放送局も表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

はじめに

メニュー

テレビ

視聴

テレビ放送を見る (続き)

3桁チャンネル番号を入力して選局

- 1 テレビ視聴中に、**[3桁入力]** を押す
- 2 **[1の数字]** ~ **[10の数字]** を押して、チャンネルを入力する
例) 101 の場合…[1] → [10] → [1]
 - 画面が表示されている間に入力してください。
- 3 同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:
見たい放送局を選び、**[決定]** を押す



- ☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
(地上デジタル) (→27「枝番選局」)

お好みチャンネル

お好みチャンネルは、放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

- 1 テレビ視聴中に、**[お好み選局]** を押す
 - 2 放送局を選び、**[決定]** を押す
- チャンネルの登録
- ① 登録したい放送局を視聴中に、**[お好み選局]** を押す
 - ② **[サブメニュー]** を押す
 - ③ **[登録]** を選び、**[決定]** を押す
 - ④ **[はい]** を選び、**[決定]** を押す
 - リストの一番下に登録されます。
- (最大 48 チャンネル)

■ チャンネルの取り消し

- ① **[お好み選局]** を押す
- ② 取り消す放送局を選び、**[サブメニュー]** を押す
- ③ **[取消]** を選び、**[決定]** を押す
- ④ **[はい]** を選び、**[決定]** を押す

🔔お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- 地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す (表示は約 20 秒後に自動消去します)

例)
リモコンの数字ボタン



放送の種類とチャンネル
放送開始時刻と終了時刻
受信中の番組名

☞ 番組の情報を消すときは

番組の情報を表示中に、**[画面表示]** を押す

音声を切り換える

音声切換
[音声切換] を押す

- 押すごとに、放送の内容によって音声切り換わりします。

🔔お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

字幕
[字幕] を押す

- 押すごとに、字幕の表示の入 / 切を切り換えます。

はっきり再生する ゆっくり / はっきり再生する (0.8 倍速)

聞こえにくい高音域を明瞭にし、音声をはっきりと聞き取りやすくします。また、「ゆっくり / はっきり再生」にすると、番組をHDDに一時的に記録することによって、通常よりも遅い速度で再生します。

① テレビ視聴中に、を押す

② 項目を選び、を押す

☞ ゆっくり / はっきり再生を終了するには

① **【■ 停止】**を押す

② 「はい」を選び、**【決定】**を押す
(一時的に記録した番組は削除されます)

お知らせ

- 4K放送およびエンコード方式がHEVCのCATVデジタル放送では、ゆっくり / はっきり再生はできません。
- 電源を切ると、ゆっくり / はっきり再生は終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできません。
 - ・ ゆっくり / はっきり再生と2番組録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - ・ ゆっくり / はっきり再生が8時間を超えたとき
 - ・ HDDの容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、ゆっくり / はっきり再生を実行することはできません。
- ゆっくり / はっきり再生中は、放送中の番組より遅い速度で再生するため、放送中の番組との間に時間差が生じます。
- ゆっくり / はっきり再生中は、音声はPCMになります。
- はっきり効果の強さを設定したり、はっきり再生を常時有効に設定することもできます。(→134)

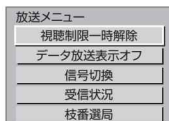
放送内容などの設定

① テレビ視聴中に、を押す

② 「放送メニュー」を選び、を押す

③ 設定項目を選び、を押す (→ 右記へ)

例)



お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 (→128) を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 設定する項目を選び、設定する  お知らせ ● 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは →22)
受信状況	受信状況 (信号品質) が確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例: 「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 放送局を選び、【決定】を押す ☞ 主選局を変更するには 主選局にしたい放送局を選び、 【緑】 を押す

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

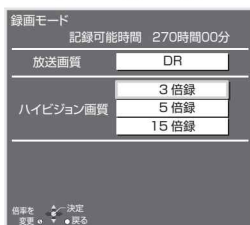
1 **地上 BS BS4K CATV** を押す

2 **1** **あ** ~ **12** **あ** または **チャンネル** を押して、
チャンネルを選ぶ

3 **録画モード** を押す

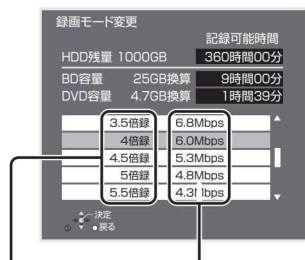
4 **録画モード** を選び、**決定** を押す

例)



- ハイビジョン画質または 4K 画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更できます。

例)



記録時間の倍率 情報量(ビットレート)※

- ※ 数値が大きいほど画質は良くなります。
- ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。
- 4K 画質モードの倍率や情報量は、4K 放送 (33 Mbps) を 4KDR モードで録画した場合との比較を表しています。

5 **録画** を押す

本体
表示窓



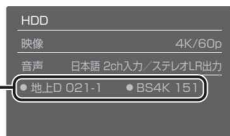
「録画 1」または「録画 2」、「録画 3」が点灯

6 **録画の終了方法を選び、決定** を押す

録画中の番組の確認

画面表示 を押す

例) 複数の番組を録画中



録画を止める

1 **停止** を押す

2 「はい」を選び、**決定** を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組を放送切換やチャンネル切換を行ってテレビ画面に表示させてください。

一時停止/復帰

一時停止 を押す

- もう一度押す、または【録画 ●】を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→ 175)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 50)
- エンコード方式がHEVCのCATVデジタル放送は、「放送画質」で録画されます。
- BS4K を 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- ディスクやUSB-HDD へは録画できません。
 - ・予約録画はできます。(DVD は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→ 52) できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 従来のアナログ放送と同様のDVD画質の番組は、選択した録画モードにかかわらず、画質はDVD 画質相当で録画されます。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 複数の番組を録画するには
 - 手順 1 ~ 6 で別の番組を録画してください。
 - ・複数の番組を録画中のチャンネル / 放送切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
 - ・番組の同時録画について (→ 52)

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。

例) 全チャンネル表示

選択中の番組紹介

放送局からののお知らせ

パネル広告: データを押すと詳細表示

放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示

放送局の3桁チャンネル番号

リモコンのチャンネルボタン番号

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

リモコンのボタンの動き

現在の録画モード (→22)

予新: 録画予約中の番組 (→160)

選択中の番組

文字サイズなどを変更

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

お知らせ

●番組表のデータ受信について

本機の番組表は、放送局から送られてくる番組表のデータとGガイドから送られてくる番組表のデータを基に表示しています。それぞれの番組表のデータを受信するタイミングは異なります。

- ・放送局から送られてくる番組表のデータは、その放送局を視聴するとすぐに受信することができます。
- ・Gガイドから送られてくる番組表のデータは、電源「切」時に受信します。(時間帯によっては受信できるまでに1日程度かかる場合があります)

- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- 番組表に8K放送が表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS BS4K CATV を押す

- [◀▶]を押し続けても、別の放送に切り換わりません。

番組表の見方 (続き)

表示の切り換え

番組表の表示を変更することができます。

停止
■ を押す

表示チャンネル数を変更するには

[◀◀][▶▶] を押す

文字のサイズを変更するには

[青][赤] を押す

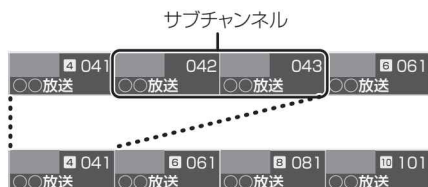
●文字サイズは3段階に切り換えることができます。

番組詳細の表示を切り換えるには

[緑] を押す

サブチャンネル表示を切り換えるには

[黄] を押す



お知らせ

●サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

青 (前日) 赤 (翌日) を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

一時停止/番組表
⏸ を押す

2 日付を選び、決定 を押す

お知らせ

●本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→128)を「入」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。(2021年12月現在、1ヵ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

1 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

2 黄 を押す

時間帯の切り換え

◀◀ または ▶▶ を押す

その他の表示設定

1 番組表表示中に

サブメニュー
S を押す

2 項目を選び、設定する

新番組／特番お知らせ	新番組や特番を一覧で表示します。(→39)
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているPo1から36までのチャンネルを表示します。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
表示CH	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→26)で登録されている放送局が表示されます。
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(→36)
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。
視聴制限一時解除	暗証番号(→128)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。

番組表を使って予約録画する

HDD **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD** (録画用フォーマット)

🔧 4K 放送の予約録画について (→33)

- DVD には予約録画できません。
- エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送は、ディスクに予約録画できません。

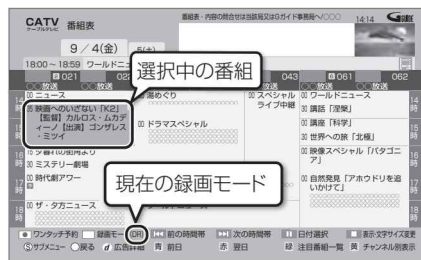
ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れたと下記のような画面が表示されますので、**[戻る]** を押して画面を消してください。



ディスクへは、1 番組のみ予約できます。
(録画モードは DR モードでのみ録画できます)

1 番組表を押す

2 番組を選ぶ



🔧 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][BS4K][CATV] を押す

🔧 現在の録画モードを変更するには
[録画モード] を押す

🔧 番組を検索するには
(→36、37)

3 決定を押す

決定 の代わりに **録画** を押すと、
現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(**予約** が表示されます)

- HDD に予約します。
- 手順 4、5 の操作は不要です。
- エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送は、「放送画質」で予約されます。



4 「番組予約へ」を選び、決定を押す



表示マークについては (→160)
多重音声の番組には以下のマークが表示されます。

信号 : マルチ音声 主+副 : 二重音声

- 「関連情報」を選ぶと、選択している番組に関連した情報から番組を検索します。(→36)
- 「番組詳細内容」の取得には時間がかかる場合があります。

番組表を使って予約録画する（続き）

5 項目を選び、決定を押す

予約内容を確認してください。

番組予約
録画先 : HDD
録画モード : DR
スマホ転送番組の作成 : する (ネットワーク経由)
画質 : 650kbps (360p)
この設定内容で番組予約しますか？
この番組だけを予約する
毎週予約する
カテゴリでまとめて予約する
録画モードを変更する
スマホ転送番組を設定する
詳細設定へ
項目選択 決定 戻る

- ディスクや USB-HDD に予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリでまとめて予約する：

お好みの番組を自動で登録 (→44)

録画モードを変更する：

録画モードを変更（変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

スマホ転送番組を設定する：

スマートフォンなどへ転送するための番組を作成 (→99)

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更 (→33)

詳細設定
予約を登録する
録画先 : BD
録画モード : DR
毎週予約設定 : しない
スマホ転送番組の設定
イベントリレー : する しない
信号設定
マイラベル設定 : しない
時間指定予約へ
● 番組の時間変更に従って録画されます。追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。
項目選択
設定変更 決定 戻る

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→41)

■ まとめ表示について まとめ HDD USB-HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(→58)

(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■ 前回の番組を消去して録画するには

(自動更新) HDD

「自動更新」(→33)を設定しておく、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、録画一覧表示中、HDD の番組を再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

● お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、手順 1 ～ 5 の操作を繰り返してください。予約済みの番組を重複して予約することはできません。
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)
- USB-HDD に 4K 放送を予約したい場合や複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用してください。(→148)
- 本機で録画した USB-HDD の番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

4K 放送の予約録画について

- HDDとUSB3.0対応のUSB-HDDにのみ予約できます。(USB3.0 非対応の USB-HDD とディスクには予約できません)
- 4K 放送、2K 放送に関わらず、エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送は、ディスクに予約できません。HDD を選択してください。
- 同時に 3 番組録画できます。
- 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- 1.5 ～ 15 倍録モードで録画できません。

詳細設定をする

32 ページ手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する (→ 下記へ)

詳細設定	
予約を登録する	
録画先	HDD
録画モード	DR
毎週予約設定	しない
スマホ転送番組の設定	
イベントリレー	する [しない]
信号設定	
マイラベル設定	しない
時間指定予約へ	
●番組の時間変更に追従して録画されます。追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。	
項目選択	
決定	
戻る	

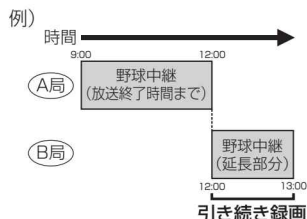
2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定を押す

スマホ転送番組の設定

イベントリレー

録画時にスマホ転送番組も作成するように設定をします。(→99)

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)



お知らせ

- 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が“BD”の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード (→22) を設定します。 ●BD に予約録画する場合は、録画モードは DR モードとなります。
毎週予約設定	「毎週予約」(→32) を設定する ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。

番組表を使って予約録画する（続き）

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① 項目を選び、設定する ② [戻る] を押す  お知らせ - 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。（詳しくは →22） - 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧（→53）で番組を探すのに便利です。設定は録画後に変更することもできます。（→69） ラベルを選び、[決定] を押す - 選択したラベルが録画一覧にならない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 - マイラベル名は変更することができます。（→56「分類ラベル設定」） - 一度に録画一覧に設定できるマイラベルは4つまでです。
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。（→40「時間指定予約」）

番組表での予約の取り消し / 修正

- ① **予**が表示されている番組を選び、を押す
- ② 項目を選び、を押す

予約修正

9月4日（金）20:00～21:00の1回のみの予約です。
予約を取り消すか修正方法を選んでください。

予約を取り消す

1 回のみの予約に修正する

毎週予約に修正する

月～金の予約に修正する

月～土の予約に修正する

毎日予約に修正する

詳細設定する

カテゴリーでまとめて予約する

項目選択

 決定

 戻る

- ☞ 「詳細設定する」を選んだ場合
「番組予約」のときは（→33「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（→40「時間指定予約」）
- ☞ 「カテゴリーでまとめて予約する」を選んだ場合（→44）

録画中の予約録画を止める

- 1 テレビ視聴中に
停止
を押す
●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。
- 2 「はい」を選び、を押す

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

緑を押す

2 放送を選び、**決定**を押す

- 各放送の全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。

例)



インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→128)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。

(2021年12月現在、注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、決定を押す



カテゴリー

- ☞カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[録画 ●]を押す

- 「予」が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、「まとめ」番組になります。

- ☞放送を変更するには
[緑]を押す(→手順2へ)

4 番組を選び、**決定**を押す



カテゴリー

- ☞前後のページを見るには
[◀][▶]を押す
- ☞他のカテゴリーを表示するには
[青][赤]を押す
([一時停止]を押してカテゴリーを選択することもできます)
- ☞放送を変更するには
[緑]を押す(→手順2へ)
- ☞録画モードを変更するには
① [録画モード]を押す
② 録画モードを選び、[決定]を押す

5 「番組予約へ」を選び、**決定**を押す

(「番組予約」のときは→32 手順5)
(「時間指定予約」のときは→40 手順3)

録画

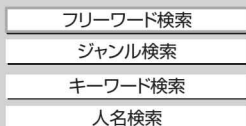
番組表を使って予約録画する (続き)

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に
「**検索**」を押す

2 「番組表の検索」を選び、**決定**を押す

3 検索方法を選び、**決定**を押す



ジャンル検索 キーワード検索 人名検索

4 検索条件を選び、**決定**を押す
●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ 放送ごとに表示するには
[地上][BS][BS4K][CATV]を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには
[青](前日)[赤](翌日)を押す
(検索結果画面表示中に、[II一時停止]を押して日付を選択することもできます)

5 番組を選び、**決定**を押す

6 「番組予約へ」を選び、**決定**を押す (→32 手順 5)

☞ 検索する放送種別を変更する場合：
上記手順 4 の前に

- 1 【サブメニュー】を押す
- 2 「放送種別」を選ぶ
- 3 検索したい放送を選び、[決定]を押す

フリーワード検索

「フリーワード」の検索条件 (5 件まで) を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容 (→31 手順 4) の文字情報から検索します。
- 「フリーワード」を登録していない場合は手順 4 から、登録している場合は手順 6 から操作してください。

4 **緑**を押す

5 文字を入力する (→108)

- 入力した文字が、「フリーワード」として登録されます。

上記手順 4、5 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

☞ 登録したフリーワードを変更するには

- 1 検索条件を選び、[決定]を押す
- 2 「フリーワード編集」を選び、[決定]を押す
- 3 文字を入力する (→108)

☞ 登録した検索条件を削除するには

- 1 検索条件を選び、[黄]を押す
- 2 「はい」を選び、[決定]を押す

6 登録したフリーワードを選び、**青**を押す

- 検索結果が表示されます。

☞ 放送ごとに表示するには

[地上][BS][BS4K][CATV]を押す

☞ 別の日の検索結果を表示するには

[青](前日)[赤](翌日)を押す
(検索結果画面表示中に、[II一時停止]を押して日付を選択することもできます)

7 番組を選び、**決定**を押す

8 「番組予約へ」を選び、**決定**を押す (→32 手順 5)

☞ 検索する放送種別を変更する場合：
上記手順 6 の前に

- 1 【サブメニュー】を押す
- 2 「放送種別」を選ぶ
- 3 検索したい放送を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせ、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 を押す

2 「検索する」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 検索条件を設定する (→38)



- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤]を押して「指定しない」にすることもできます)

- ☑設定した検索条件をリセットするには
[青]を押す

4 すべての設定が終了したら、を押す



お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、番組の検索ができません。

予約する(「番組表」選択時)

- 4 番組を選び、を押す
- 5 「番組予約へ」を選び、を押す (→32 手順 5)

再生する(「録画一覧」選択時)

- 4 番組を選び、を押す

編集する(「録画一覧」選択時)

- 4 番組を選び、を押す
(→67「番組を編集する」手順 3)
☑チャプターを編集するには
[サブメニュー]を押して「チャプター一覧へ」を選び、[決定]を押す (→72 手順 4)

消去する(「録画一覧」選択時)

- 4 番組を選び、を押す
- 5 「消去」を選び、を押す

録画

番組を検索する（続き）

検索条件について

検索対象	予約録画したい番組を検索する場合は、画面上で「番組表」を選び、再生・編集したい番組を検索する場合は、画面上で「録画一覧」を選んでください。
録画先	録画番組のある録画先 「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンクで接続された機器の中から番組を検索することができます。
検索単位	「番組」または「シーン」単位で検索
放送種別	放送の種類 「お好み」は、「お好みチャンネル」(→26)で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード 🔍フリーワードの登録について(→右記) - 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→31 手順 4)の文字情報から検索します。 - インターネットに接続すると、ディモラから旬のキーワード(青色表示)を取得することができます。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名
期間	番組を録画した日時

検索条件によって表示される項目は異なります。

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

- ① 「新規登録」を選び、**決定**を押す
- ② 項目を選び、設定する
 - 🔍文字入力(→108)

フリーワード：

入力文字の関連番組を検索します。

除外ワード：

入力文字の関連番組を検索対象から除外します。

検索方法：

検索時の組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

- ③ 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定**を押す

🔍インターネットから取得したキーワード

(青色表示)を登録するには

キーワード(青色表示)を選び、[緑]を押す

🔍登録したフリーワードを変更するには

- ① 変更したいフリーワードを選び、[緑]を押す
- ② 項目を選び、設定する
 - 🔍文字入力(→108)

🔍登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、[黄]を押す

新番組 / 特番 / 初放送の確認や予約をする

HDD **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD** (録画用フォーマット)
本機は新番組や特番、テレビ初放送の映画を一覧で表示できます。

表示マーク	表示条件
新番組: 新	「新」、<新>、<新番組>、<新シリーズ>の表示がある番組
特番 (地上 D): 特	放送時間が 1 時間 45 分以上で、番組開始時刻が 18 時から 23 時 59 分までの地上デジタルの番組
初放送 (映画): 初	「初放送」、「地上波初」など「初」の表示がある映画の番組

1 を押す

2 「新番組 / 特番おしらせ」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 番組を選び、**決定** を押す

決定 の代わりに を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。

- HDD に予約します。
- エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送は、「放送画質」で予約されます。

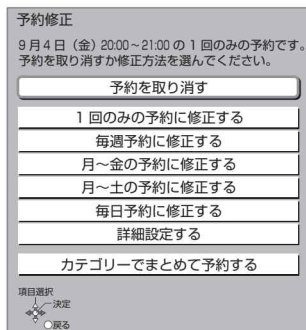


- 前後のページを見るには
[◀◀][▶▶] を押す
- 他のジャンルを表示するには
[赤] を押す
- 放送を変更するには
[青] を押す
- 「新番組」、「特番 (地上 D)」、「初放送 (映画)」それぞれで表示するには
[緑] を押す
- 録画モードを変更するには
① [録画モード] を押す
② 録画モードを選び、[決定] を押す

4 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す
(→32 手順 5)

■ 予約済みの項目を修正する

- が表示されている番組を選び、 を押す
- 項目を選び、**決定** を押す



「詳細設定する」を選んだ場合
(→33 「詳細設定」)

お知らせ

- 新番組を [録画 ●] で予約をした場合、第 1 話しか予約されません。毎週予約に変更する場合は、もう一度 [録画 ●] を押して毎週予約に修正をしてください。
- 表示条件が 2 つ以上重なる番組の表示マークは、「新番組」、「初放送 (映画)」、「特番 (地上 D)」の優先順位で表示します。

録画

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD BD-RE BD-R USB-HDD（録画用フォーマット）

1 予約確認を押す

2 録画を押す

3 予約内容を設定する
（→ 右記「時間指定予約」へ）

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」
を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 暗証番号に関する表示が出たとき
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（→128）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、**戻る**を押すと予約できます。
- 番組追従機能（→48）は働きません。
- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

予約内容の設定

時間指定予約

- ① 項目を選び、設定する（→ 下記へ）
- ② 設定が終了したら、
左記手順 4 へ

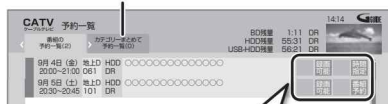
録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 （→33「毎週予約設定」）
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（→22）を設定します。
スマホ転送番組の設定 HDD	スマホ転送番組作成の設定をします。 （→33）
番組名入力	● 文字入力について（→108） ● 入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル 設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（→34）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- [◀][▶]を押して、「カテゴリまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。
(→45「カテゴリまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し」手順5)



予約状況がマークで表示されます。

- 「」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約でHDDの残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- 表示マークについては(→161)

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

お知らせ

- [音声切換]を3秒以上長押しすると、音声ガイドの設定画面が表示されます。

予約の取り消し

を押す

予約内容の修正

- 1 を押す
- 2 「修正」を選び、を押す
(「番組予約」のときは →33「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは →40「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

- 1 を押す
 - 2 「毎週一覧」を選び、を押す
- 予約の「重複」がある場合に[決定]を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(→49)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める(一時解除)

- 1 を押す
 - 2 「予約実行切」を選び、を押す
- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
 - [サブメニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由(CATV)で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号(→128)を入力して視聴制限を一時解除します。

- 1 を押す
- 2 「視聴制限一時解除」を選び、を押す
- 3  ~  で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

- 1 を押す
 - 2 「履歴一覧表示」を選び、を押す
- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- 1 を押す
 - 2 「履歴削除」を選び、を押す
 - 3 「はい」を選び、を押す
- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

自動予約する

おまかせ録画する

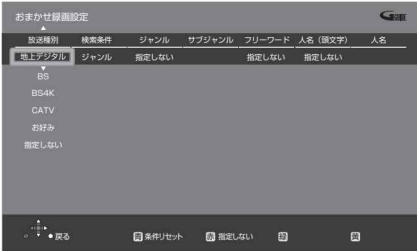
設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- 予約先は **[HDD]** になります。
- 録画モードは4K放送は4K 2倍録モード、地上デジタル、BS/CATV 放送は 5 倍録モード、エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送は放送画質で予約録画されます。
- 録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→43) で設定してください。
- おまかせ録画は最大 1 2 個まで登録できます。
🔍 自動予約機能で予約可能な番組数について (→50)

- 1 を押す
- 2 「おまかせ録画」を選び、を押す
 - 表示がない場合は **[◀▶]** でページを切り換えてください。
- 3 「未登録」を選び、を押す
 - 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、**[青]** を押してください。



4 録画条件を設定する (→ 右記)



5 すべての設定が終了したら、を押す

■ 録画条件について

放送種別	放送の種類 ● 「お好み」は、「お好みチャンネル」(→26) で登録されている放送局です。
検索条件 ^{※1}	「ジャンル」、「カテゴリー」、「ディモラおまかせ」の切り換え ● 「ディモラおまかせ」に設定すると、録画履歴の傾向からお客様の興味がありそうな番組や、ディモラのサービスに登録された録画機器で、多く録画された番組または話題になった番組を自動で録画予約します。
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
カテゴリー ^{※2}	放送番組に関連したキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
サブカテゴリー	「カテゴリー」の詳細
フリーワード	登録したワード 🔍 フリーワードの登録について (→38) ● インターネットに接続すると、ディモラから旬のキーワード(青色表示)を取得することができます。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名

※ 1 放送データが未取得の場合は、「カテゴリー」への切り換えはできません。
※ 2 選択項目は放送データの取得状況によって変わります。

- 🔍 **お知らせ**
- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→43)
 - 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→50 「自動予約する番組の優先順位について」)

自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。

自動消去は本機の電源「切」時に実行します。

42 ページ手順 2 のあと

③ 一時停止/前送り を押す

④ 項目を選び、決定 を押す

- 自動消去の対象から外したい番組は、「プロテクト設定」(→ 右記) または「おまかせ録画から除外」(→ 44) を設定してください。
- 「HDDの残量が少なくなったら自動消去する」の場合、録画日時が古い順に最大 20 番組を自動消去します。

お知らせ

- 本機の電源「入」時や予約録画中などは、自動消去は実行されません。

録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

42 ページ手順 2 のあと

③ 登録したおまかせ録画を選び、赤 を押す

④ 録画モード (→ 22) を設定する

- 「放送種別」を指定していない場合、4K 放送と地上 D/BS/CATV 放送それぞれの録画モードを設定してください。エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送は放送画質で録画されます。

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

42 ページ手順 2 のあと

■ 予約済み番組を確認する

③ 確認したい項目を選び、決定 を押す

④ サブメニュー を押す

⑤ 「登録済み予約」を選び、決定 を押す

- 予約番組を修正したい場合：
「登録済み予約」では確認のみできます。
予約された番組を修正したい場合は、
予約一覧 (→ 41) で修正してください。

■ 登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

③ 登録した項目を選び、緑 を押す

④ 「はい」を選び、決定 を押す

- 予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→ 41) で取り消してください。

おまかせ録画した番組を再生する

1 再生 を押す

2 「おまかせ録画」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、決定 を押す

4 番組を選び、決定 を押す

おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 3 のあと

④ 消去したい番組を選び、黄 を押す

⑤ 「消去」を選び、決定 を押す

- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。
再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロテクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 3 のあと

④ 番組を選び、緑 を押す

⑤ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

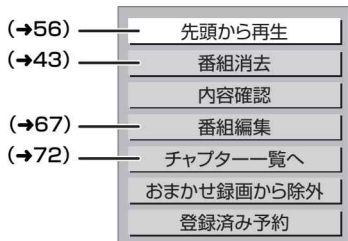
- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、その番組もプロテクト設定 / 解除されます。

自動予約する (続き)

おまかせ録画一覧の便利な機能

43 ページ「おまかせ録画した番組を再生する」の手順3のあと

- ④ 番組を選び、を押す
- ⑤ 項目を選び、を押す (→ 下記へ)



内容確認	番組の内容が確認できます。  画面を消すには [決定]を押す
おまかせ録画 から除外	おまかせ録画一覧で表示させなく します。 「すべて」ラベル (→54) からは 番組を見ることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組 を表示します。

お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「」が表示されます。
- 録画一覧 (→53) の「すべて」ラベルでは  番組として、まとめ表示されます。
 - ・  の番組を消去した場合、おまかせ録画一覧でも番組は表示されなくなります。

関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

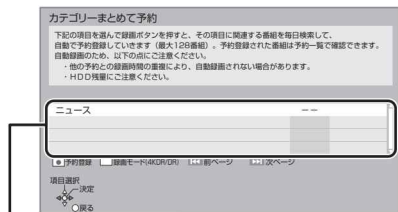
- **[HDD]** に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- ② 自動予約機能で予約可能な番組数について (→50)

選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

- 1 番組予約画面 (→32 手順 5) 表示中に「カテゴリーでまとめて予約する」を選び、を押す
- 選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

- 2 表示されている項目を選び、を押す



選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は、[録画モード]を押して、録画モードを選んでください。

- 3 「予約する」を選び、を押す

カテゴリーから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリーの番組を自動で予約録画します。

1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、を押す

4 「カテゴリーまとめて検索」を選び、を押す

5 「検索する」を選び、を押す

6 検索対象から項目を選び、を押す

7 項目を選び、を押す



- 録画モードを変更する場合は、[録画モード]を押して、録画モードを選んでください。

🔍カテゴリーの番組一覧を表示する場合
手順7で[決定]を押す

カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、を押す

4 「カテゴリーまとめて検索」を選び、を押す

5 「登録した予約を確認する」を選び、を押す

録画

■ 予約済み番組を確認する

6 確認したい項目を選び、を押す

- 予約番組を修正したい場合：

- ① 修正したい番組を選び、
[録画 ●]を押す
- ② 項目を選び、[決定]を押す
詳細設定について (→33)

(予約番組を修正すると、カテゴリーまとめて予約の番組ではなくなります)

■ 登録済みの項目を取り消す

6 登録した項目を選び、を押す

7 「はい」を選び、を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→41) で取り消してください。

🔔お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→50 「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

自動予約する (続き)

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BS デジタル

番組名に「新」、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18 時～23 時 59 分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- [HDD] に DR モードで予約します。

1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、を押す

4 「新番組おまかせ録画」を選び、を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする

新番組おまかせ録画の設定

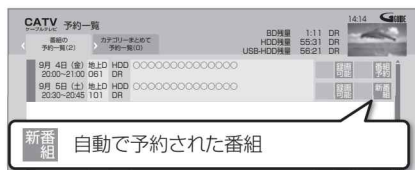
夜ドラマ (地上D)	入	切
夜ドラマ (BS)	入	切
アニメ (地上D)	入	切
アニメ (BS)	入	切

“入”に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
・録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
・HDD 残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。

項目選択
設定変更  戻る

予約された新番組の確認

予約確認
を押す



④ 予約内容を修正するには (→41)

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→50「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

ニュース番組を自動で予約録画する

地上デジタル

指定したチャンネルのニュース番組を自動で予約録画することができます。

録画されたニュースは、「最新ニュース」や「ニューストピックス」として見ることができます。

- [HDD] に 7 倍録モードで予約録画されます。
- ニューストピックスをご利用になるには、インターネットに接続して、ディモラの会員登録が必要です。

サービス登録について (→189)

自動予約機能で予約可能な番組数について (→50)

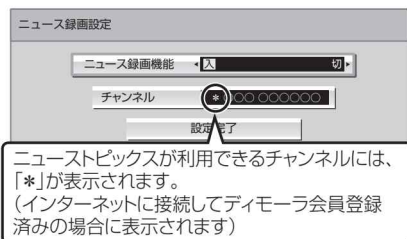
ニュース録画設定

1 を押す

2 「ニュース録画設定」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 項目を選び、設定する



ニュース録画機能：

「入」に設定すると、ニュース番組の自動録画を有効にします。

チャンネル：

チャンネルを選びます。

4 設定が終了したら、 「設定完了」を選び、を押す

最新ニュースを再生する

録画されたニュース番組の中から最新の番組を再生することができます。

1 を押す

2 「最新ニュース」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

ニューストピックスを再生する

録画されたニュース番組の中から話題のニュースを順番にシーン一覧で表示します。

1 を押す

2 「ニューストピックス」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 見たいシーンを選び、を押す

- 選んだシーンから再生されます。

お知らせ

- 録画されるニュース番組は以下のようになります。
 - ・放送時間が 15 分以上の番組が予約録画されます。
 - ・番組編集はできません。
 - ・録画後 48 時間以上経つと、自動で消去されます。
 - ・番組を残したい場合は、ダビングなどで保存してください。(→76)
 - ・録画一覧 (→53) では以下のように表示されます。
 -  番組として、まとめ表示されます。
 - 番組には「」が表示されます。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→50「自動予約する番組の優先順位について」)
- シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみに対応しています。(2021 年 12 月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、ディモラのホームページをご覧ください。(→189)

録画

予約録画の便利な機能

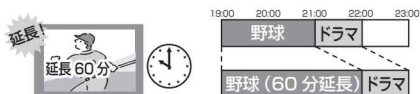
ディスクやUSB-HDDの残量不足などに対応 (代替録画)

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクやUSB-HDDに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始からHDDに録画します。

番組追従機能

■ 野球中継などの番組延長に対応

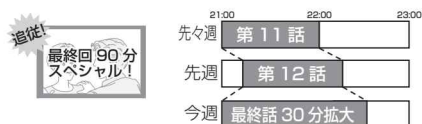
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3時間までの変更に対応)



- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始 / 終了時刻の3時間までの変更に対応)



- 番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

🔒 番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→40)

🔒 お知らせ

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

🔒 お知らせ

- 時間指定予約では番組追従機能は働きません。
- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

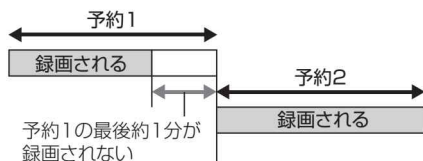
予約時の電源の入 / 切について

電源の入 / 切にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできません。(録画に影響はありません)

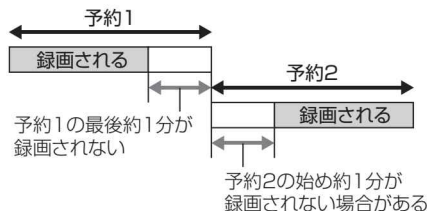
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき
- USB3.0 非対応の USB-HDD に予約しているとき



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されない場合があります。

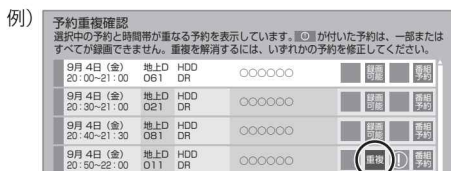
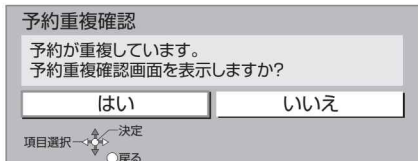


- 前の予約の録画終了時刻に近づく、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき (32 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

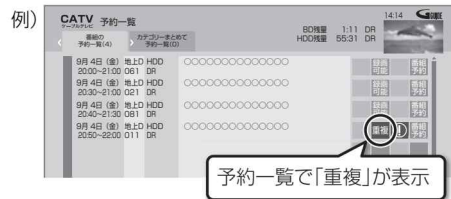
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。

開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

- LAN 経由の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ (続き)

自動予約機能で予約可能な番組数について

- 新番組おまかせ録画は 16 番組まで可能です。
- 以下の録画予約は、合計 128 番組まで可能です。
 - ・おまかせ録画 (→42)
 - ・カテゴリまとめて予約 (→44)
 - ・ニュース録画 (→47)

自動予約する番組の優先順位について

本機は、以下の優先順位で予約します。
予約の重複が起こった場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。

- ① 検索条件が「ジャンル」または「カテゴリ」のおまかせ録画 (→42)
- ② カテゴリまとめて予約 (→44)
- ③ 新番組おまかせ録画 (→46)
- ④ 検索条件が「ディモラおまかせ」のおまかせ録画 (→42)
- ⑤ ニュース録画 (→47)

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画 (→52) できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、BS4K 放送、地上デジタル、CATV デジタル放送、BS デジタル、CS デジタル放送の順で番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

再放送の録画について

「おまかせ録画」や「カテゴリまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第 2 話」や「#2」などの話数を含む番組 (連続ドラマやアニメなど) を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。

(ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します)

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」(→133)を「録画する」に変更してください。

画質と記録時間について

4K 画質モードの場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、4KDR モードなど高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

ハイビジョン画質モードの場合

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード (4 倍録～ 15 倍録) で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR モードや 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

4K 画質モードの録画について

- 4K 放送の番組を 4K 画質モードで予約録画する場合は、いったん 4KDR モードで録画します。
- エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の場合は、4K 画質モードでの予約録画ができません。

DR モード切り換えについて

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、4K 放送番組の視聴、再生やダビング、お部屋ジャンプリnkなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **BD-V** 再生時

再生を開始します。

ハイビジョン画質で録画中の番組を
DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

- 変換前に一部の編集を行うことはできません。
- ☑変換が終了しているか確認するには (→70)

また、1.5 ～ 15 倍録モードで複数の番組を録画中、HDD の残量が少ないときは再生やダビングなどができない場合があります。

録画モードと記録時間の倍率について

例)

録画モード変更		記録可能時間
HDD 残量	1000GB	360時間00分
BD 容量	25GB 換算	9時間00分
DVD 容量	4.7GB 換算	1時間39分
3.5倍録	6.8Mbps	
4倍録	6.0Mbps	
4.5倍録	5.3Mbps	
5倍録	4.8Mbps	
5.5倍録	4.3Mbps	

記録時間の倍率 情報量(ビットレート)※

※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

4K 画質モードの倍率や情報量は、4K 放送 (33 Mbps) を 4KDR モードで録画した場合との比較を表しています。

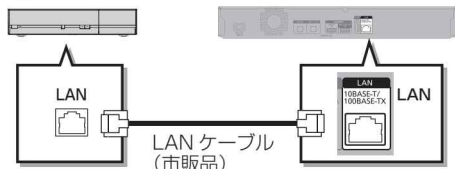
☑録画モードと記録時間の目安 (→175)

他のCATV セットトップボックスから本機に録画する

ネットワークを使って予約する (LAN 録画)

対応チューナー/
当社製CATV
セットトップボックス

本体背面



ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- ネットワーク接続と設定をする（安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください）（→110、111、123）
お部屋ジャンプリンク設定（→125）
- 4K 放送番組の録画はできません。

- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。（→41）
- ・ 「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
- ・ 視聴制限のある番組や接続している CATV セットトップボックスによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

【■ 停止】を押す

- ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

HDD

本機に接続したCATVセットトップボックス側で ネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはCATVセットトップボックスの説明書をご覧ください。

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。
- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・ 予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。（本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります）
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

録画

番組の同時録画について

本機でできる最大の予約録画の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

- 1 ～ 4 番組目の録画順は自由です。

表の見方

地上・BS・CATV放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続



- ※ 1 4K 画質モードを選んで録画した場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の場合は、録画モードは変換できません。
- ※ 2 LAN 経由 (CATV) の番組は、HDD にのみ録画できます。



ディスクに録画する場合は、DRモードで1番組ずつ録画します。
複数の番組を同時に録画することはできません。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
 - ・ディスクからHDDへダビング中
 - ・HDDからHDDへダビング(複製)中
 - ・USB-HDDからHDDへダビング中
 - ・LAN 経由 (CATV) で録画中に新たにLAN 経由の録画はできません。
 - ・ピエラリンク (HDMI) を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
 - ・USB3.0 非対応のUSB-HDDに同時録画する場合

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

例)

4K 放送を 4KDR モード、4K 画質モードで録画した番組には **4K** が表示されます。

ラベル

●[◀][▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

●表示を変えるには (→56)

選択中のメディア

残量 / 録画モード

●変更するには (→28)

表示変更ができるラベル
(→56「分類ラベル設定」)

録画番組の録画モード

●「→4K ○○倍録」、「→○○倍録」
が表示中は、録画モード 変換が
終了していません。(→70)

選択中の番組

ページ数

●[◀◀][▶▶] を押すと、前後のペー
ジに表示を切り換えることができ
ます。押したままにすると、素早く
切り換わります。

表示マークについては (→162)

(見たいシーン (ダビング (シーソー一覧 (番組編集 (番組消去
マーカー→57) →74) →57) →67)

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示

(画像は電源「切」時に作成されます)

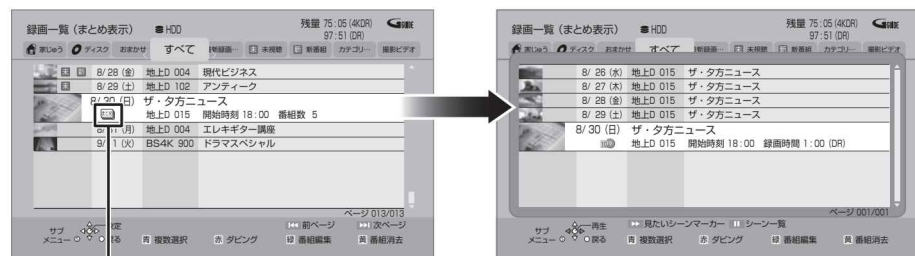
●表示される画像を変更するには (→69「サムネイル変更」)

●「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット) の場合、画像は表示されません。

録画
再生
編集

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では **まとめ** 番組として表示されます。



まとめ 番組を選び、**決定** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される残量は、DRモードはBSデジタル放送を24 Mbpsで録画したものとして、4KDRモードは4K放送を33 Mbpsで録画したものとして計算されています。(→175)
- 録画一覧は、録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

録画一覧について (続き)

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

 家じゅう		「お部屋ジャンプリnk」(→107) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(→138) を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他の当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）の番組を再生した場合、接続機器側の「レート変換モード」は動きません。映像が途切れたり停止する場合は、アプリ一覧の「お部屋ジャンプリnk」から再生してください。
 ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。
 USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
 HDD	おまかせ	おまかせ録画 (→42) で録画された番組
	すべて	すべての番組
	マイラベル [®]	「マイラベル設定」(→34, 69) で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(→56 「分類ラベル設定」)
	ドラマ、映画などの「ジャンル」 [*]	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	最新録画番組 [®]	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	 未視聴 [®]	録画してまだ見ていない番組 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「 未視聴」から除外されます。
	 新番組 [®]	新番組おまかせ録画 (→46) で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新番組」から除外されます。
	カテゴリー まとめて番組 [*]	カテゴリーまとめて予約 (→44) で録画された番組
	撮影ビデオ	●ディスクや USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD）(→83) ●「動画の編集」を行った MP4 (→90)

※分類ラベル設定 (→56) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

録画した番組を再生する

録画した番組を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例) **BD-RE**



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、**[決定]**を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 を押す

2 番組を選び、**[決定]** を押す



- **[まとめ]** 番組を選んで、**[決定]**を押すと、**[まとめ]** 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- 表示マークについては (→162)
- 録画中番組の再生について
 - ・ HDDやUSB-HDDに録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
 - ・ 録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生) ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。
- 他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生
 - ① **[アプリ]**を押す
 - ② 「メディアを使う」を選び、**[決定]**を押す
 - ③ 「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、**[決定]**を押す
 - ④ 「プレイリストを見る」を選び、**[決定]**を押す
- 3D 映像を楽しむには (→61)
- **[録画一覧]**を押すと**[BD-V]**や**[DVD-V]**の再生が始まる場合、**[ドライブ切替]**を押してドライブを HDD に切り換えてください。

再生・編集

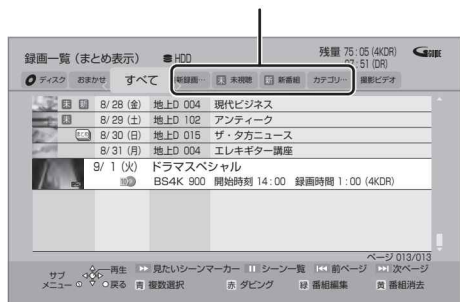
録画した番組を再生する (続き)

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

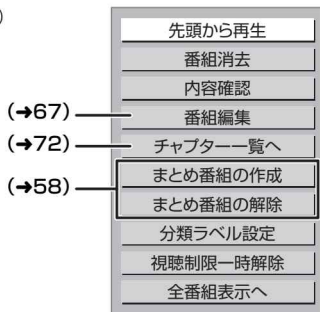
- ① 番組を選び、を押す

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから[サブメニュー]を押してください。



- ② 項目を選び、を押す (→ 下記へ)

例)

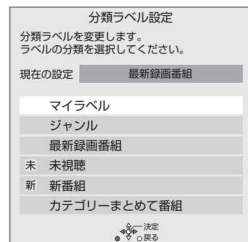


先頭から再生 HDD USB-HDD	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、スマホ転送番組も消去されます。 消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。 「消去」を選び、[決定]を押す
内容確認	番組の内容が確認できます。

分類ラベル設定

HDD

録画一覧に表示するラベルを変更します。



表示させたいラベルを選び、
[決定]を押す

- 「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。
- 「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。
 - ① 設定するマイラベルを選び、[決定]を押す
 - ② 「名称変更」を選び、[決定]を押す
(ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください)
 - ③ ラベル名を入力する (→108)

視聴制限一時解除

HDD **USB-HDD**

「制限項目設定」(→128) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

全番組表示へ

HDD **USB-HDD**

表示を切り換えます。
●SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

一覧を更新 更新を中止

- 「家じゅう」ラベル選択時のみ

「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

見たいシーンだけを再生する (見たいシーンマーカー)

HDD **USB-HDD** (録画用フォーマット)

見たいジャンルのシーンの先頭にチャプターマークを設定することができるので、見たいシーンマーカーでスキップボタンを押すと見たいシーンを簡単に見つけることができます。

この機能を使うためには、インターネット接続とディモラサービスへの機器登録が必要です。

🔗サービス登録について (→189)

録画一覧画面上で

① 番組を選び、**▶▶** を押す

- 見たいシーンマーカー画面が表示されます。

② 再生したいシーンを選び、**決定** を押す

- ☒が表示されます。この操作を繰り返し、シーンを選びます。

③ 「再生」を選び、**決定** を押す

- 選んだシーンが番組内にない場合は、再生できません。

見たいシーンから再生する (シーナー一覧)

HDD **USB-HDD** (録画用フォーマット)

インターネットに接続すると、録画した番組のシーナー一覧を表示することができます。シーナー一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

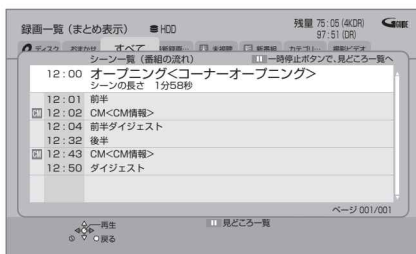
ディモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

🔗サービス登録について (→189)

録画一覧画面上で

① 番組を選び、**一時停止/前送り** を押す

- シーナー一覧が表示されます。



再生
・
編集

ディモラ会員登録している場合：

② 見たいシーンを選び、**決定** を押す

- 選んだシーンから再生が始まります。

🔗見どころ一覧を表示するには

上記手順 ① のあと、[**一時停止**] を押す

- 見どころ一覧で、項目を選び、[**決定**] を押すと、その場面の再生が始まります。

🔗お知らせ

- 見たいシーンマーカーやシーナー一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2021 年 12 月現在) また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、ディモラのホームページをご覧ください。(→189)
- 以下の番組では見たいシーンマーカーやシーナー一覧は表示できません。
 - ・BD からダビングした番組
 - ・シーン情報のない番組
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、見たいシーンマーカーやシーナー一覧は表示できません。
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

録画した番組を再生する (続き)

まとめ 番組について

HDD **USB-HDD** (録画用フォーマット)
毎日・毎週予約や、カテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧画面で **まとめ** 番組として表示されます。

- **まとめ** 番組は、**まとめ** 番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する (まとめ再生)

まとめ 番組を選び、再生/3連続  を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、**まとめ** 番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- **まとめ** 番組名を変更 (→67) しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

- 1 番組を選び、青  を押す
 - ☒ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。
- 2 すべて選んだあと、サブメニュー  を押す
- 3 項目を選び、決定  を押す (→ 下記へ)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、 まとめ 番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき)

- 4 決定  を押す

お知らせ

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、まとめ番組の編集はできません。

再生メニューについて

番組を視聴または再生中に、再生メニューを使用すると、選んだ項目に従って録画した番組を表示することができます。

1 再生メニューを押す

2 メニューを選び、決定を押す

録画一覧(→53)の
メニューなどを表示

シーソー一覧
(→57)を表示



似たものおすすめ(→右記)を表示

画面上部で選んだ項目に関連した番組を一覧表示



- 番組を選んで[決定]を押すと、再生します。
- [データU]を押すと、番組内容の確認ができます。

再生メニューを消すには
[再生メニュー]を押す

似たものおすすめを使って番組を探す

HDD

再生中の番組とよく似たジャンルの番組を検索して、あなたにお勧めします。

左記手順2で「似たものおすすめ」を選んだあと

3 [◀][▶]を押して、番組などを選び、決定を押す

再生が始まります。



次のおすすめ一覧を選ぶには
[◀][▶]を押す

再生
・
編集

お知らせ

- 以下の番組は「似たものおすすめ」で検索されません。
 - ・ 録画中の番組
 - ・ 3D 番組
 - ・ 視聴制限のある番組
 - ・ 番組の画像(サムネイル)が作成されていない番組など

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合 項目を選び、**決定**を押す



🔍メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中：[サブメニュー]を押して、
「トップメニュー」を選ぶ
停止中：[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す

([サブメニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

🔍ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中：[録画一覧]を押す

- 停止中に[1]～[10]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V：2桁入力 **BD-V**：3桁入力

🔍お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[■ 停止]を押して停止させてください。
- [録画一覧]を押すと録画一覧が表示される場合、[ドライブ切換]を押してドライブをBDに切り換えてください。
- Dolby Atmos® や DTS:X® に対応したBDビデオを楽しむには (➡134)

Ultra HD ブルーレイを楽しむ

本機は Ultra HD ブルーレイの再生に対応しています。

著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(➡110、123)

Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために

4K/HDR で視聴するためには、HDCP2.2*¹、4K/60p/4:4:4、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR 信号に対応する機器や端子に接続してください。

- HDCP2.2に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換*²して出力します。また、ディスクによっては正しく再生できない場合があります。
- 4K/60p/4:2:0 まで対応の機器や端子に接続した場合、60p 素材の再生はHDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。
- 4K/60p に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で出力します。
- HDR に対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。また、ディスクによっては2K 解像度での出力、または正しく再生できない場合があります。

※1 HDCP とは不正コピー防止技術の1つです。2.2 はバージョンを表します。

※2 ダイナミックレンジ変換とは、HDR 映像信号を、HDR 入力に対応していないテレビに適した映像信号に変換する機能です。

🔍お知らせ

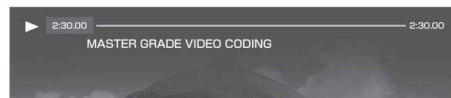
- 4K/60p/4:4:4 に対応するためには18 Gbps 対応のHDMI ケーブルが必要です。
- Ultra HD ブルーレイの再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・ゆっくり / はっきり再生 (0.8 倍速) や早見再生 (1.3 倍速) はできません。
 - ・早送り1速時の音声は出力されません。

マスターグレードビデオコーディング対応のディスクを楽しむ

スタジオマスターと同等の高階調映像をお楽しみいただけます。

- 「MASTER GRADE VIDEO CODING」(→132)を「入」に設定してください。
- 再生すると、自動的にマスターグレードビデオコーディングとして再生されます。

[画面表示]を押すと、以下の表示が出ます。
(表示は約20秒後に自動消去します)



表示を消すときは

表示中に、[画面表示]を押す

お知らせ

- マスターグレードビデオコーディングとしての再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・ゆっくり / はっきり再生 (0.8 倍速) や早見再生 (1.3 倍速) はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live は、外部メモリー (ローカルストレージ) に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに USB 機器 (USB メモリー) を利用します。

- 1 ネットワーク接続と設定をする (→110、123)
- 2 「BD-Live インターネット接続」(→132)を「有効」または「有効 (制限付き)」に設定する
- 3 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する
- 4 ディスクを入れる

- USB 機器に記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。

[アプリ] ボタン→「メディアを使う」→
「USB 機器」→「BD ビデオデータ消去」で消去を行う

お知らせ

- アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BD ビデオ副音声・操作音」(→134)を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。(→64)

3D 映像を楽しむ

(3D 対応テレビと接続時のみ)

- テレビ側で3Dの設定など必要な準備を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

- 「3D 設定」(→135)
- 「3D ディスクの再生方法」(→132)

再生中の番組の 3D 設定をする

- 「3D 設定」(→66)

再生中のいろいろな操作

停止

停止
を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(お部屋ジャンプリンクで再生した場合も含む)

- **[HDD]** **[USB-HDD]** : 番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク : 前回止めた位置のみを記憶
 - ・ 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると解除されます。(**[BD-V]** の場合、前回止めた位置を記憶しているディスクもあります)
 - ・ **[BD-V]** **[DVD-V]** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

一時停止/10段階
を押す

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

 または  を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。(4KDRモードや4K画質モードの番組の再生中、Ultra HD ブルーレイやMP4 動画再生中、市販のBD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中、「1080/60p」の表示がある番組の再生中は音声は出ません)

スキップ

再生中、または一時停止中に

 または  を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク (→71) がある場合は、その場面に飛びます。

30 秒先へ飛び越す / 10 秒前へ戻す

30 秒先へ飛び越す

30秒送り
を押す

10 秒前へ戻す

30秒送り
 を 2 秒以上押す

- **[DVD-V]** 正しく働かない場合があります。

早見再生 (1.3 倍速)

再生/1.3倍速
 を約 1 秒以上押す

- もう一度 **[▶ 再生/1.3倍速]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 以下の場合にはできません。
 - ・ Ultra HD ブルーレイ
 - ・ 市販のBD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中
 - ・ 4KDR モード、4K 画質モードの番組およびエンコード方式がHEVCのCATVデジタル放送の番組
 - ・ 「1080/60p」の表示がある番組
 - ・ **[RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・ **[MP4]** (取り込んだ動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

 または  を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ働きます。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- 音声は出ません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

 (左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り (戻し) します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、コマ戻しはできません。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- Ultra HD ブルーレイでは、働かない場合があります。

はっきり再生

ゆっくり / はっきり再生 (0.8 倍速)

音声をはっきりと聞き取りやすくします。また、「ゆっくり / はっきり再生」にすると、通常よりも遅い速度で再生します。

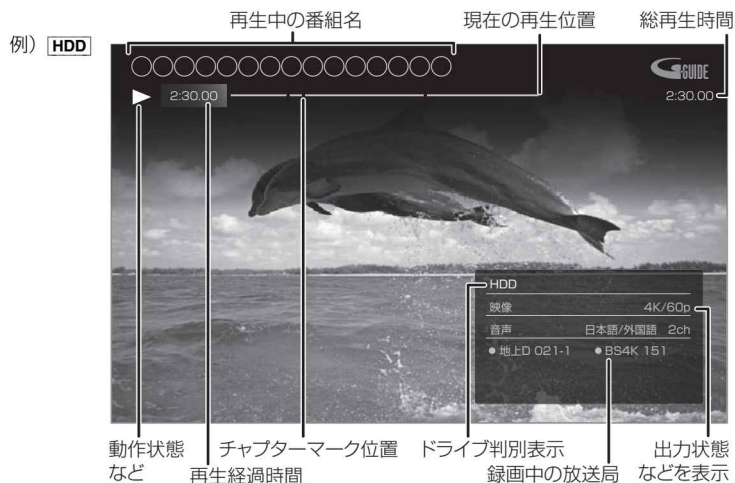
① **ゆっくり** を押す

② **項目**を選び、**決定**を押す

- ゆっくり / はっきり再生中に **[▶再生]** を押すと、通常速度のはっきり再生になります。
- 以下の場合、ゆっくり / はっきり再生はできません。
 - ・市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・4KDR モード、4K 画質モードの番組およびエンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の番組
 - ・Ultra HD ブルーレイ
 - ・**[RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・**[MP4]** (取り込んだ動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- ゆっくり / はっきり再生中は、音声は PCM になります。
- はっきり効果の強さを設定したり、はっきり再生を常時有効に設定することもできます。(→134)

操作の状態の表示

画面表示 を押す (表示は約 20 秒後に自動消去します)



🔍 操作の状態を消すときは

操作の状態を表示中に、**[画面表示]** を押す

🔍 **お知らせ**

- ディスクや再生状態 (停止中など) によっては、一部できない操作があります。

音声や字幕の切り換え

音声切換 ☐ または ☐ 字幕 ☐ を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。

(詳しくは →64)

- **[BD-V]** **[DVD-V]** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。

🔍 **お知らせ**

- 他社製機器から記録した番組は、字幕表示の入/切ができない場合があります。

再生設定をする

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中に サブメニュー を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度「サブメニュー」を押してください。

2 「再生設定」を選び、決定を押す

3 メニューを選び、決定を押す

例) **BD-V**



4 設定項目を選び、決定を押す

- 再生する番組やディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

録画した番組の再生時の音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

字幕スーパーを切り換えたい場合は、「字幕設定」(→128) で設定してください。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声 (L/R) を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ 字幕設定：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ 字幕スタイル
- ▶ 字幕位置
- ▶ 字幕輝度

アングル

アングルを選びます。

リピート

(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ 番組
- ▶ タイトル
- ▶ チャプター
- ▶ プレイリスト
- ▶ 全曲
- ▶ 1 曲

シャッフル（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 **AVCHD**

情報の表示のみ

主映像情報 **BD-V**

副映像設定 **BD-V**

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

画質設定



◀[▶]で「設定 1」/「設定 2」/「標準」を切り換えます。

- 「設定 1」/「設定 2」は、お好みの設定が登録できます。登録内容は BD ビデオおよび Ultra HD ブルーレイ再生時と、それ以外の場合で別々に記憶されます。(工場出荷時は「標準」と同じ設定です)
- 「標準」の設定は変更できません。

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ

HDR 調整

HDR の調整をします。

- ▶ **ダイナミックレンジ調整**^{※1※2}

(4K 放送番組、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを HDR 信号で再生時のみ)

- ▶ **ダイナミックレンジ変換調整**^{※1※2}

(4K 放送番組、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを通常の映像信号に変換して再生時のみ)

HDR (ハイダイナミックレンジ) 入力に対応していないテレビと接続した場合に、HDR 映像の明暗比 (ダイナミックレンジ) を変換して出力します。

- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

※1 設定値を大きくすると、全体的に明るくなります。設定値を小さくすると、HDR 映像の明暗比がより忠実に再現されます。

※2 4K 放送番組の場合は視聴時有効

輝度調整

映像の明るさ、黒レベル、白 / 黒階調を調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

色調整

色の濃さ、色あいを調整します。

- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいがほうが、より鮮明になります。

- ▶ 解像感 (輝度高域)
- ▶ 解像感 (輝度中域)
- ▶ 解像感 (色)
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいがほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減

詳細設定

- ▶ 輝度垂直帯域制限
- ▶ 輝度水平帯域制限
- ▶ 色垂直帯域制限
- ▶ 色水平帯域制限
- ▶ **プログレッシブ処理**

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
 - ▶ Auto
 - ▶ Video

画質設定を標準に戻す

選択している「設定 1」/「設定 2」の画質設定を工場出荷時の設定に戻します。

再生設定をする (続き)

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

▶ 切

▶ ナイトサラウンド[※]

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ ハイレゾリマスター (弱 / 中 / 強)[※]

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

(サンプリング周波数が96 kHz以下で記録された音声に有効)

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- ハイレゾリマスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

DSD-PCM 変換周波数設定

(音楽再生時のみ)

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

▶ 176.4 kHz

▶ 88.2 kHz

▶ 44.1 kHz

DSD LPF 設定

(音楽再生時のみ)

接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

自動音量調整[※]

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス[※]

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

- ※ 「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。
(→134) (音声は2チャンネルになります)

3D 設定

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

番組を消去する / 編集する

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1 を押す

2 番組を選び、を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→43)をご覧ください。
- まとめ**番組内の番組を消去する場合、**[黄]**を押す前に、**[決定]**を押して、**まとめ**番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで**[青]**を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には**[X]**が表示されます。
もう一度**[青]**を押すと選択を取り消します)

3 「消去」を選び、を押す

お知らせ

- まとめ**番組内の番組を消去して、残り1番組になった場合、**まとめ**番組は解除されます。
- HDD**の番組消去について
 - ・消去すると、スマホ転送番組も消去されます。
 - ・消去が完了しても、HDDの残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - ・**HDD** **BD-RE** **-RW VR** **USB-HDD**
消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - ・**-RW V**
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
 - ・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組を編集する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

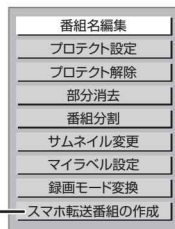
(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

1 を押す

2 番組を選び、を押す

3 項目を選び、を押す (→下記へ)

例) **HDD**



(→100) — スマホ転送番組の作成

お知らせ

- 編集量が多い場合、ディスクヘディングできないことがあります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、「部分消去」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」ができません。
- 「部分消去」「番組分割」を実行するとスマホ転送番組も消去されます。

番組名編集

文字入力 (→108)

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
 - ・**新**表示の番組
- 番組名を変更すると、スマホ転送番組の番組名も変更されます。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごと書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。

- R V** **-RW V** できません。
- 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**[決定]**を押す
- プロテクト設定すると「」が表示されます。

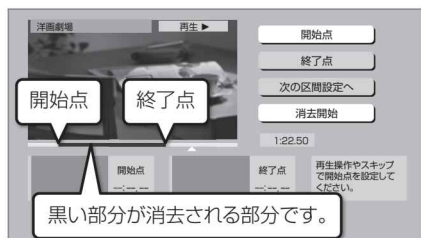
番組を消去する / 編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

- **[-R V] [-RW V]** できません。



「番組を編集する」(→67) 手順 1～3 のあと

- 4 **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
- 5 **「開始点」** を選び、消去する部分の開始点*で **[決定]** を押す
- 6 **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
- 7 **「終了点」** を選び、消去する部分の終了点*で **[決定]** を押す
 - 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す (→手順 5へ)
 - ・20区間まで設定できます。
 - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。
- 8 **「消去開始」** を選び、**[決定]** を押す
- 9 **「実行」** を選び、**[決定]** を押す
 - 部分消去すると、スマホ転送番組は消去されます。
 - 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
 - **「シームレス再生」(→133)** を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

番組分割

- **[-R V] [-RW V]** できません。



「番組を編集する」(→67) 手順 1～3 のあと

- 4 **「分割」** を選び、分割する場面*で **[決定]** を押す
 - **「プレビュー」** を選び、**[決定]** を押すと、分割する場面を確認することができます。
 - ☞ 場面を選び直すには
 - ① **「分割」** を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める
 - ② 分割する場面で、**[決定]** を押す
- 5 **「終了」** を選び、**[決定]** を押す
- 6 **「分割」** を選び、**[決定]** を押す
 - 分割した番組は、**「まとめ」** 番組になります。
 - 分割すると、スマホ転送番組は消去されます。
 - 分割すると、分割点の直前部分が一時再生されなくなります。
 - **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→62) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[⏏一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

※編集したい場面をうまく選ぶために

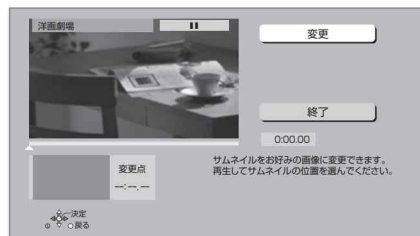
- ① 早送りやスロー再生など (→62) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[⏏一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD -R V -RW V USB-HDD

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

- **-R V -RW V** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



「番組を編集する」(→67) 手順 1～3 のあと

- 4 **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
- 5 **「変更」** を選び、お好みの場面^aで **[決定]** を押す
 場面を選び直すには
 ① **「変更」** を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める
 ② お好みの場面で、**[決定]** を押す
- 6 **「終了」** を選び、**[決定]** を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。



「番組を編集する」(→67) 手順 1～3 のあと

- 4 **ラベル** を選び、**[決定]** を押す
- 5 **「マイラベル設定」** を選び、**[決定]** を押す
- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。
- マイラベル名は変更することができます。(→56「分類ラベル設定」)

番組を消去する / 編集する (続き)

録画モード変換

HDD USB-HDD

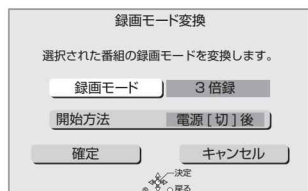
録画モード (→22) の変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 4KDR モード、4K 画質モードの番組を変換する場合、4K 1.5 倍録から 4K8~12 倍録モード、または 1.5 倍録から 15 倍録モードを選択できます。
- 上記以外の録画モードの番組を変換する場合は、1.5 倍録から 15 倍録モードのみ選択できます。
- エンコード方式がHEVCのCATVデジタル放送の場合、1.5 倍録から 15 倍録モードのみを選択できます。

「番組を編集する」(→67) 手順 1~3 のあと

- 4KDR モード、4K 画質モードを変換する場合、「4K 画質」または「ハイビジョン画質」を選び、[決定] を押す
- 画面上で「録画モード」を選び、[決定] を押す



- 倍率を選び、[決定] を押す
- 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

● すぐに：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は視聴や再生はできません。

● 電源 [切] 後：

電源「切」後、変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

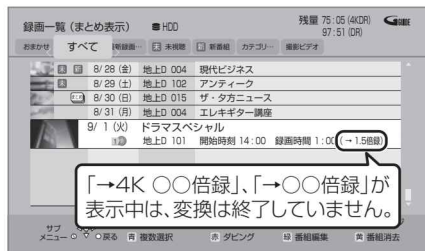
- 「確定」を選び、[決定] を押す
- 「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す
☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには

- 67 ページ「番組を編集する」手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ
- 「設定変更」または「設定取消」を選び、[決定] を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



お知らせ

- 15倍録モードの番組やHDDに取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- 4K8~12 倍録モードの番組は、ハイビジョン画質 (1.5 倍録から 15 倍録) へのみ録画モード変換することができます。他の 4K 画質モードへ録画モード変換することはできません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- エンコード方式がHEVCのCATVデジタル放送などの番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(→132) で記録したい音声を選んでください。
- 他社製機器で録画された番組は、4K 画質の録画モードに変換できません。

チャプターの作成・再生・編集

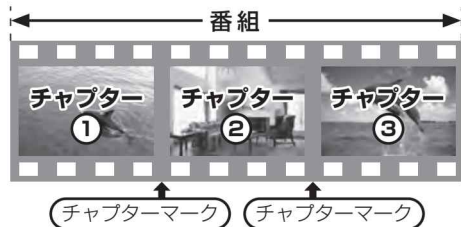
HDD **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

USB-HDD (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。スキップ (→62) すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(→132) を「入」にすると、デジタル放送の録画時にCMなどの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 4KDR モード、4K 画質モードなど、録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

チャプターマーク を押す
☐



削除

一時停止中に

① または を押して、削除したい場面に飛ぶ

② チャプターマーク を押す
☐

③ 「はい」を選び、 を押す



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能 (→62) や「サムネイル変更」(→69) ができなくなります。

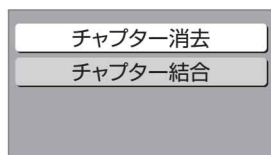
チャプターの作成・再生・編集 (続き)

チャプターを再生・編集する

- 1 を押す
- 2 番組を選び、を押す
番組を検索するには (→37)
- 3 「チャプター一覧へ」を選び、を押す
- 4 再生する：
チャプターを選び、を押す
編集する：
チャプターを選び、を押す
(→手順 5 へ)



- 5 編集する項目を選び、を押す
(→右記へ)



チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。
(元に戻すことはできません)



番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定]を押す

- チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- スマホ転送番組も消去されます。
- チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、チャプター消去ができません。

チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつながります。



前後のチャプターが結合されます。

「結合」を選び、[決定]を押す

番組のダビングについて

本機では、HDD、USB-HDD やディスクの間でダビングを行うことができます。
ダビング元とダビング先のメディアによって、ダビング方法やダビング速度などが異なります。

ダビング方向	ダビング方法
 HDD → ディスク	- かんたんダビング - 詳細ダビング - 再生中番組の保存
 USB-HDD → ディスク	詳細ダビング

高速ダビングができない条件

(1 倍速ダビングになる)

- VR 方式・ビデオ方式の DVD にダビングする場合

お知らせ

- 以下の場合、USB-HDD からダビングできません。
 - ディスクが DVD (VR 方式・ビデオ方式) の場合
 - USB-HDD が SeeQVault フォーマットの場合
- 4KDR/4K 画質/DR モードの番組や LAN 経由で録画した番組を DVD (AVCREC 方式) でダビングする場合、画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。
 - 番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。
 - 画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。
 - エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の番組は、4K 画質モードでのダビングはできません。

他機器での再生については (→142)

ダビング方向	ダビング方法
 HDD → USB-HDD	詳細ダビング
 USB-HDD → HDD	

録画用フォーマットの USB-HDD の場合、移動のみ可能です。

- ダビング元の番組は消去されます。
- HDD のスマホ転送番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は減りません。
- 以下の番組はダビングできません。
 - AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組
 - XP、SP、LP、FR モードの番組

SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合：

- コピー制限のある番組について
 - HDD からダビングするときは、HDD のダビング元の番組のダビング残り回数は 1 回減ります。USB-HDD の番組のダビング残り回数は 1 回になります。
 - HDD へダビングするときは、USB-HDD の番組は消去されます。
- 4KDR モード、4K 画質モードの番組はダビングできません。
- XP、SP、LP、FR モードの番組はダビングできません。

ダビング方向	ダビング方法
 ディスク → HDD	詳細ダビング
高速ダビングができない条件 (1 倍速ダビングになる) - BD に記録した XP、SP、LP、FR モードの番組をダビングする場合 - DVD ビデオ (ファイナライズ後のディスク) をダビングする場合	
お知らせ デジタル放送のダビングについて (ムーブバック) - DVD からはダビングできません。 - BD からは移動になります。(ディスクの番組は消去されます。ただし「BD-RE」のディスク残量は増えません)	
 BD → HDD	移動のみ可能
「BD-RE」「BD-R」以下の番組は移動できません。 - ディスク内で番組分割した番組 - 当社製ブルーレイディスクレコーダー (ディーガ) 以外の機器で記録や編集をした番組 「BD-R」ファイナライズしたディスク - 録画時間が 8 時間を超える番組	

ダビング方向	ダビング方法
 HDD → HDD  USB-HDD → USB-HDD	● 詳細ダビング ・ SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。
番組を複製して同じ番組を2つにします。	

お知らせ

- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。
- 写真・音楽用フォーマットの USB-HDD はダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → [BD-RE] [BD-R] [R] [RW]

HDDにある番組をディスクにダビングします。

- 操作の前に記録可能なディスクを入れてください。
- 4KDRモードまたは4K画質モードでダビングする場合は、[BD-RE] [BD-R] を使用してください。
- エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の番組は、4K画質モードでのダビングはできません。

1 [決定] を押す

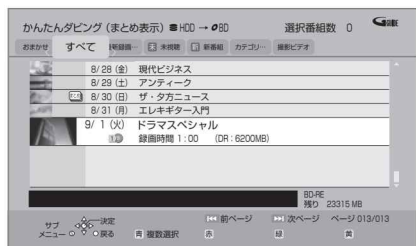
2 「残す」を選び、[決定] を押す

3 「かんたんダビング」を選び、[決定] を押す

- [R] 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
- 画質を選び、[決定] を押してください。

4 番組を選び、[決定] を押す

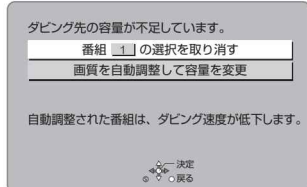
- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで[青]を押す操作を繰り返してください。
- (選んだ番組には ☒ が表示されます。
- もう一度[青]を押すと選択を取り消します)



④ かんたんダビングの画面の見方については (→75)

④ 選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

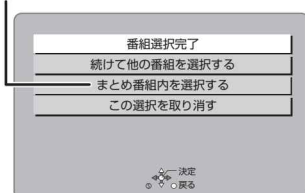
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、[決定] を押す

手順4でまとめ番組を選んだときのみ表示



他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(→手順4へ)

6 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

- オプション設定について (→75)

7 「はい」を選び、[決定] を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットしたあと、ダビングを始めます。

④ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→79)

④ ダビングの進行状況を表示するには

アブリー一覧の「残す」を選ぶと進行状況を確認できます。

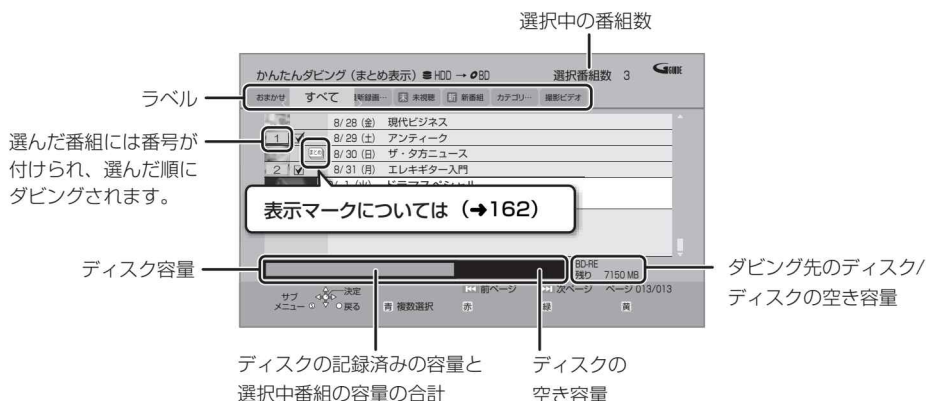
お知らせ

- ダビング中に番組の視聴や、録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。



- [DVD画質]で未フォーマットの[R] [RW]にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・[10]～[1]の番組が含まれている場合：VR方式
 - ・[10]～[1]の番組が含まれていない場合：ビデオ方式
- 1回にダビングできる番組は99番組までです。
- プロテクト設定 (→67) されている[1]の番組はダビングできません。
- [まとめ]番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー]を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- 4KDRモード、4K画質モードの番組とそれ以外の番組を同じディスクにダビングすることはできません。

かんたんダビングの画面の見方



- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→74 手順4) で

- 番組を選び、**メニュー** (S) を押す
- 項目を選び、**決定** を押す (→ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☒ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源 [切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ ([R] [RW] のみ)
視聴制限一時解除*	「制限項目設定」(→128) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え*	表示順を変更します。(全番組表示時のみ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※番組に ☒ が付いているときは機能の実行はできません。

お知らせ

- [R] [RW] 「オプション設定」(→ 左記) の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→147) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

- **HDD** ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**
USB-HDD (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **RAM VR** **-R AVCREC**
-R VR **-RW VR** ➡ **HDD**
- **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット) ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC**
USB-HDD (録画用フォーマット)
(SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、HDD にのみダビング可能です)
- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➡145)

1 を押す

2 「残す」を選び、 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、 を押す

4 項目を選び、**[▶]** を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



5 「ダビング開始」を選び、 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、 を押す

● ダビングを実行中に中止するには

- **[戻る]** を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (➡79)

お知らせ

- ダビング中に番組の視聴や、録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。
- 4KDR モード、4K画質モードの番組およびエンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の番組は、SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングできません。



ダビング方向

- 1 「ダビング元」を選び、 を押す
- 2 ダビング元を選び、 を押す
- 3 「ダビング先」を選び、 を押す
- 4 ダビング先を選び、 を押す

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は「まとめ」番組になります)
 - ・ コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります)
 - ・ **[1D]** 表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから **HDD** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。
- ディスクから **HDD** への画質変更ダビング中は、予約録画は実行できません。

録画モード

- 1 「録画モード」を選び、 を押す
- 2 録画するモードを選び、 を押す

元の画質	高速
4K画質	4K 2 倍録
	4K 4 倍録
	4K 8-12 倍録
ハイビジョン画質	オート (自動調整)
	3 倍録
	5 倍録
	1 倍録
	オート (自動調整)

記録先の空き容量に合わせて、録画モードを自動で選択してダビングします。

- **[サブメニュー]** を押して、録画モードの倍率を変更することができます。(➡50)

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (➡175)
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート (自動調整) を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

リスト作成（番組を選択する）

① 「新規登録」を選び、**決定**を押す

② 番組を選び、**青**を押す

- ・☒が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ・ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

決定 選択を取り消すには
番組を選び、**[青]**を押す

③ 選び終わったあと、**決定**を押す

お知らせ

- ・録画用フォーマットのUSB-HDDには、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません。
- ・ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

[R] **[RW]**へダビングするときのみ

① 「ファイナライズ」を選び、**決定**を押す

② 「入」または「切」を選び、**決定**を押す

[BD-RE] **[BD-R]** **[R AVCREC]**へ1.5～15倍録モードを選んでダビングするときのみ

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

① 「音声・字幕の記録」を選び、**決定**を押す

② 「モード1」または「モード2」を選び、**決定**を押す

- ・モード1：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- ・モード2：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(→64)で記録する内容を設定してください。

お知らせ

- ・「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(→147)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。
- ・4KDRモード、4K画質モード、DR HEVCの番組は「音声・字幕の記録」の設定が無効になります。複数の音声や字幕のある番組をダビングする場合は80ページをご覧ください。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面(→左記「リスト作成」手順①のあと)で



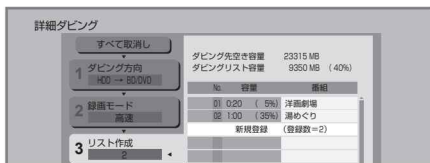
② 番組を選び、**サブメニュー**を押す

③ 項目を選び、**決定**を押す(→下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除 HDD USB-HDD	「制限項目設定」(→128)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え HDD USB-HDD	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。 ・SeeQVault フォーマットのUSB-HDDの場合はできません。

番組に☒が付いているときは機能の実行はできません。

リスト作成画面(→左記「リスト作成」)で



- ・登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、**[決定]**を押す
- ・リスト項目を入れ替える：
番組を選び、**[決定]**を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- ・リストの全消去や追加、消去、移動をする：
「サブメニュー」を押したあと、項目を選ぶ

番組をダビングする (続き)

ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

DVD-V (ファイナライズ後の **-R V** **-RW V**、
+R、+R DL、+RW) → **HDD**

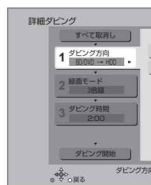
1  を押す

2 「残す」を選び、 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、 を押す

4 項目を選び、**[▶]**を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(→76)をご覧ください。



以下のように設定してください。

- ・「ダビング方向」: 「ダビング元」→「BD/DVD」
- ・「録画モード」: 「録画モード」を選ぶ
(1.5～15倍録のみ選べます)
- ・「ダビング時間」: ダビング時間を設定する
(→右記)

5 「ダビング開始」を選び、 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源
[切]」を選び、 を押す

- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

 トップメニューが表示された場合は
番組を選び、**[決定]**を押す

 好みの番組を再生するには

- ① **[録画一覧]**を押す
- ② 番組を選び、**[決定]**を押す

 ディスクの再生が始まらない場合は

- ① **[▶ 再生]**を押す
- ② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、**[決定]**を押す

 ダビングを実行中に中止 / 終了するには

[戻る]を3秒以上、もしくは**[■ 停止]**を押す

お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(→62)で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」(→132)の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時間

1 「時間設定」を選び、 を押す

2 「入」または「切」を選び、 を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

3 「録画時間」を選び、 を押す

4 「時間」または「分」を選び **[▲]****[▼]** で設定し、
 を押す

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にディスクへダビングすることができます。(1番組のみダビング)

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向: **[HDD] ➡ [BD-RE] [BD-R] [-R] [-RW]**

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➡145)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合:

- [-R VR] [-RW VR]** **[音声切換]** または **[字幕]** を押して、表示された再生設定画面 (➡64) で、記録したい音声や字幕を設定する

2 を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブメニュー]** を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、 を押す

4 「保存開始」を選び、 を押す

 ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

- 中止時の動作 (➡右記)

お知らせ

- [-R VR] [-RW VR]** 複数の音声を含んだ番組を2番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
・ **[音声切換]** または **[字幕]** を押して、表示された再生設定画面 (➡64) で、記録したい音声や字幕を設定する

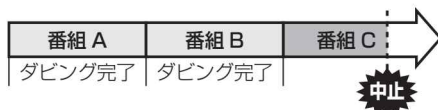
② かんたんダビング (➡74)、もしくは詳細ダビング (➡76) を実行する

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・Cの順にダビングして番組Cの途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。

番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

[BD-R] [-R] 番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組Cがダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

[-R V] [-RW V] に画質変更ダビングするときの動作

HDDの残量が少ないときは、ダビングできません。HDDの不要な番組を消去 (➡67) してからダビングしてください。

4KDR モードの番組をディスクに高速ダビングするときの動作

(「4KDR のダビング方式」 (➡132) を「ダビング方式2」に設定時のみ)

HDD や USB-HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD や USB-HDD の不要な番組を消去 (➡67) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (➡180) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
- [BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

番組をダビングする (続き)

複数の音声 (マルチ音声) や字幕情報を含んだ番組、サラウンド音声の番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下になります。

4KDR モード、4K 画質モード、DR HEVC の番組をダビングする場合

- **[BD-RE] [BD-R]** (高速でダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[BD-RE] [BD-R]** (4K 画質モードで画質変換ダビング時)
 - ・複数の音声は2つまで記録できます。
 - ・字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。〔4K 画質の音声 ch 数優先〕(→132) が「入」のとき)
- **[BD-RE] [BD-R]** (1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - ・再生中に「信号切換」(→64) で選んだあと、ダビングを行ってください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。
- **[R-AVCREC]** (1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - ・再生中番組の保存 (→79) でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

DR モード、1.5 ~ 15 倍録モードの番組をダビングする場合

- **[BD-RE] [BD-R] [R-AVCREC]** (高速、1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[R-VR] [RW-VR]** (HDD からダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - ・再生中番組の保存 (→79) でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
[BD-RE] [BD-R] [R-AVCREC] 詳細ダビングの詳細設定 (→77) で、「音声・字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(→64) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入/切はできません)

3D 対応の番組のダビングについて

- **[3D]** 表示のある番組を **[R-VR] [RW-VR]** に XP、SP、LP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
 - ・ **[BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下になります。

- **[BD-RE] [BD-R] [R-AVCREC]**
[USB-HDD] [R-VR] [RW-VR]
両方の音声进行録
- **[R-V] [RW-V]** 以下の設定に従って記録：
「DVD-Video 記録の設定」の「二重音声記録時の音声選択」(→132) を記録したい音声にする

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→132) に従って記録します。**[R-V] [RW-V]** へ記録するときには有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」(→132) に従って記録します。480i の映像を 1.5 ~ 15 倍録モードで記録するときには有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

4K4.5 倍録から 4K8~12 倍録のダビング

録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K8~12 倍録」に設定して **[BD-RE] [BD-R]** に画質変更ダビングはできません。

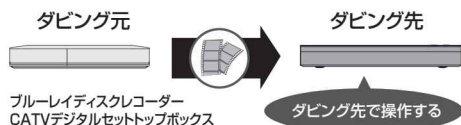
いったん録画モード変換 (→70) で「4K 4.5 倍録」から「4K8~12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。

ディーガやビエラなど他機器からダビングする

お引越しダビング

お引越しダビングに対応した当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）、CATV デジタルセットトップボックスや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組をダビングすることができます。他機器から本機にまとめて番組を移動するときに便利です。

- 本機は 4KDR モード、4K 画質モードの番組のお引越しダビングに対応しています。4KDR モード、4K 画質モードの番組のお引越しダビングは、ダビング元とダビング先の両方の機器が対応している必要があります。
- お引越しダビング非対応の機器の場合、お引越しダビングは利用できません。その場合は、BD-RE などのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。
- 写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット対応のディーガ、当社製 CATV デジタルセットトップボックスから写真を移動するときは、写真・音楽用フォーマットされた USB-HDD を使用して写真を移動することができます。
- ネットワーク接続と設定をする（→110、111、123）
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合（→125）
- 本機を元に視聴年齢制限のあるコンテンツをダビングする場合、視聴可能年齢（→129）を「無制限」または視聴制限年齢以上に設定する必要があります。



番組ダビングの設定をする

1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [◀▶] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク機能を使う」を選び、 を押す

4 「お引越しダビング」を選び、 を押す

5 「番組をダビングする」を選び、 を押す

6 接続する機器を選び、 を押す

7 ダビング元を選択する画面が表示された場合：
ダビング元を選び、 を押す

8 番組を選び、 を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には が表示されます。
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します）
- 他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

例)

番組お引越しダビング 番組一覧(全番組表示)					
ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。					
	番組名	放送日	放送時間	番組長	視聴可能
☒	総てビジネス	8/28 (金)	8:10 - 10:1	101	100
☐	エレキギター入門	8/29 (土)	8:10 - 10:1	101	100
☐	タカニユース	8/30 (日)	8:10 - 10:1	101	100

- ① **まとめ** 番組を選んだ場合は
まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。
- ② **すべての番組をダビングしたい場合は**
「一括ダビング」(→下記) してください。

9 接続機器がディーガ、当社製の CATV デジタルセットトップボックスの場合：
「ダビング元機器の番組」を
「残す」または「残さない」に設定する

接続機器が他社製レコーダーの場合：手順 10 へ

10 「設定する」を選び、 を押す
(→82「ダビングを実行する」へ)

■ 番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面（上記手順 8）で

① 番組を選び、 を押す

② 項目を選び、 を押す（→下記へ）

内容確認	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	すべての番組をダビングします。 （「はい」を選んで [決定] を押したあと → 上記手順 9 へ）
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※ 番組に が付いているときは機能の実行はできません。

ディーガやビエラなど他機器からダビングする (続き)

お知らせ

- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD からはダビングできません。
- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - プロテクト設定 (→67) されている ①② の表示がある番組
 - ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - XP、SP、LP、FR モードの番組
- ①② の表示がある番組は以下になります。
 - 81 ページ手順 9 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- ⑩⑪ ~ ⑫⑬ の表示がある番組は以下になります。
 - ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
- 一括ダビングの場合、ダビング元の番組のデータ容量によっては、ダビング完了までに時間がかかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 (⑩⑪ ~ ⑫⑬) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

HDD 内のすべての写真をダビングします。
写真を選んでダビングすることはできません。

- 接続する機器が写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット非対応機器の場合のみ操作できます。

81 ページ手順 4 のあと

5 「写真をダビングする」を選び、[決定] を押す

6 接続する機器を選び、[決定] を押す

7 「ダビングする」を選び、[決定] を押す (→ 右記「ダビングを実行する」へ)

お知らせ

- ダビング元の写真は削除されません。

ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



「クイックスタートモード」(→131) が「省エネ (時計表示無し)」の場合、点灯しません。

ダビングの状況を確認するには

- ① [アプリ] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ネットワーク機能を使う」を選び、[決定] を押す
- ④ 「お引越しダビング」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「番組をダビングする」または「写真をダビングする」を選び、[決定] を押す

ダビングを中止するには

上記手順 ⑤ のあとに、[黄] を押す

ネットワークを使ってダビングする

HDD

ビエラ※

当社製CATVデジタル
セットトップボックス



ビエラなどの機器とネットワーク接続すると、接続した機器から本機の HDD にダビングすることができます。

※ USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

- ネットワーク接続と設定をする
(→110、111、123)

お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合 (→125)

ビエラなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。



ビデオカメラから取り込む

撮影ビデオ(AVCHD、MP4)を取り込む

USB

ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラ

AVCHD、MP4、
MP4(4K動画)



当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」*や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。

※ 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組

- MP4の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。

取り込む動画

AVCHD

再生方法

写真 / 動画一覧
および
録画一覧*^{※1}
(→55、88)

動画の編集*^{※3}

MP4

写真 /
動画一覧*^{※2}
のみ
(→88)

※1 録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- AVCHD (1080/60p) : 「AVCHD PRO」
- 写真 / 動画一覧で編集した MP4*^{※3} : 「AVC VIDEO」

※2 取り込んだ MP4 が本機で再生できない場合もあります。

※3 「動画の編集」で選べる動画は、ビデオの圧縮方式が H.264 の MP4 動画のみ

お知らせ

- DVD に取り込んだ AVCHD 動画を他の AVCREC 非対応機器で再生したい場合

・一度 HDD に取り込んだあと、DVD 画質 (XP、SP、LP、FR モード) でディスクにダビングしてください。

- ファイル取り込みした MP4 を他の機器で再生するには

① 「動画の編集」 (→90) で動画を変換する

② ディスクにダビングする

・「動画の編集」で選べる動画は、ビデオの圧縮方式が H.264 の MP4 動画のみです。

ダビング



ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む (続き)

かんたん取り込み

USB

USB ➡ HDD

1 USB 機器を接続する (➡151)

2 USB 機器側で設定が必要な場合： USB 機器側で、本機と USB 接続するための 設定をする

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [アプリ] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、

 **決定** を押す

お知らせ

- **AVCHD** 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- **AVCHD** 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDD のフォーマット」(➡133) を行くと、削除されます。
- **AVCHD** 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」(➡85) を行ってください。
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

選んで取り込み

USB

ディスク

取り込み方向：

● **USB** ➡

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC**

● AVCHD を記録したディスク ➡ **HDD**

● MP4を選んで取り込む場合は、「写真/動画一覧から取り込む」(→87) をご覧ください。

■ USB 機器から取り込む場合

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

1 USB 機器を接続する (→151)

2 USB 機器側で設定が必要な場合： USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

例)



● USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。

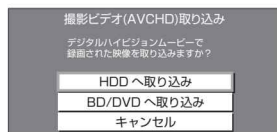


下記操作で表示することもできます。

- ① **[アプリ]** を押す
- ② **「メディアを使う」** を選び、**[決定]** を押す
- ③ **「USB 機器」** を選び、**[決定]** を押す

3 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、**[決定]** を押す

4 HDD に取り込む場合： 「HDD へ取り込み」を選び、**[決定]** を押す ディスクに取り込む場合： 「BD/DVD へ取り込み」を選び、**[決定]** を押す



5 動画を選び、**[青]** を押す

● ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

例)

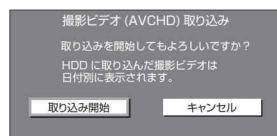
撮影ビデオ (AVCHD) 取り込み					HDD 残量	87105 MB
USB → HDD					選択可能	0 MB (0%)
No.	撮影日	曜日	チャンネル	番組名		
001	3/5	(木)	AVCHD	2015.3.5		
002	3/6	(金)	AVCHD	2015.3.6		
003	3/7	(土)	AVCHD	2015.3.7		
004	3/8	(日)	AVCHD	2015.3.8		
005	3/9	(月)	AVCHD	2015.3.9		
006	3/10	(火)	AVCHD	2015.3.10		
007	3/11	(水)	AVCHD	2015.3.11		

☒ 選択を取り消すには
動画を選び、**[青]** を押す

6 選び終わったあと、**[決定]** を押す

7 「取り込み開始」を選び、**[決定]** を押す

例)



● 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

ビデオカメラから取り込む (続き)

■ ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① **【アプリ】** を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、**【決定】** を押す
- ③ 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**【決定】** を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、**決定** を押す

3 動画を選び、**青** を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。
- **青** 選択を取り消すには
動画を選び、**【青】** を押す

4 選び終わったあと、**決定** を押す

5 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 1つの動画に99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位で動画として表示されます。(ただし99シーンを超えるときは分割します) 同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- ディスクから**HDD**への取り込み中は、予約録画は実行できません。

ネットワークを使って取り込む (コピー)

ネットワーク接続

HDD

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラ

AVCHD



本機では、「DIGA コピー」に対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ (AVCHD) と写真を本機の HDD に取り込むことができます。

- ネットワーク接続と設定をする (→110、111、123)
お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合 (→125)

カメラ側でコピー操作を行う

- 「DIGA コピー」の機能については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 本機が以下の場合は取り込みません。
 - ・複数の番組を録画中
 - ・LAN 経由 (CATV) の番組を録画中
 - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリnk機能など、ネットワークを利用する機能を使用中
- 取り込み中に複数の番組の予約録画が始まると、取り込みを中断します。

写真や動画を取り込む

本機では、写真や動画（AVCHD、MP4）の取り込みや再生をすることができます。

写真について

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **USB**

USB-HDD（写真・音楽用フォーマット、SeeQVaultフォーマット）、+R、+R DL、+RW

- **CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。
- 本機では、4K 対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず4K画質で写真を再生します。
・「出力解像度」(→135)を「オート」に設定してください。

動画（AVCHD、MP4）について

デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- ビデオカメラなどからHDDに取り込んだ動画 (→83)
- ディスクやSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに記録されたAVCHD
- BD-RE、BD-R、写真・音楽用フォーマットやSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに記録されたMP4

再生できるMP4動画については(→173「MP4動画」)

写真や動画を取り込む

写真・撮影ビデオかんたん取込

USB ➔ **HDD**

1 USB 機器を接続する (→151)

2 USB 機器側で設定が必要な場合： USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

(例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① **【アプリ】** を押す
- ② **「メディアを使う」** を選び、**【決定】** を押す
- ③ **「USB 機器」** を選び、**【決定】** を押す

3 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、

決定 を押す

- 既に取り込んだ写真や動画は、重複して取り込みません。(内蔵 HDD に記録された写真や動画のディレクトリ名／ファイル名／ファイル更新日／ファイルサイズがすべて一致するファイルは取り込みません)

写真／動画一覧から取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **USB**

USB-HDD（写真・音楽用フォーマット、SeeQVaultフォーマット）、+R、+R DL、+RW ➔ **HDD**

1 を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は **【◀◀】** **【▶▶】** でページを切り換えてください。

3 ディスク・**USB**・**USB-HDD**： 「ブルーレイ (BD) / DVD」、「USB 機器」 または「USB-HDD」を選び、**決定** を押す

4 「写真／動画を見る」を選び、**決定** を押す

5 写真／動画一覧から写真や動画を選び、 を押す

- 選んだ写真や動画には  が表示されます。
操作を繰り返します。

6 選び終わったあと、 を押す

7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

写真や動画を再生する

1  を押す

2 [HDD] :
「写真／動画を見る」を選び、 を押す
(→手順 5へ)

ディスク・[USB]・[USB-HDD] :

「メディアを使う」を選び、 を押す

●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 ディスク・[USB]・[USB-HDD] :
「ブルーレイ (BD) / DVD」、**「USB 機器」**
または**「USB-HDD」**を選び、 を押す

4 ディスク・[USB]・[USB-HDD] :
「写真／動画を見る」、「撮影ビデオ
(AVCHD) を見る」または**「録画一覧を見る」**を選び、 を押す

5 再生する写真または動画を選び、 を押す
(例) [HDD]



[HDD] 下記から表示したい項目を選んでください。

 : すべて (日付順)

 : おまかせアルバム (→89)

 : お気に入り (→91)

 : 被写体 (→89)

 : 作成したアルバム (→91)

 : ネットワークカメラ (→94)

 : 保存用ディスク (→93)

●メディアから画面を表示させた場合は、フォルダ表示の画面になります。

●[AVCHD] トップメニューもしくは撮影ビデオ (AVCHD) 一覧が表示されます。

 動画再生中の操作については (→62)

 おまかせアルバム、作成したアルバムのダイジェスト再生するには
おまかせアルバム、作成したアルバムを選んで、
[▶ 再生] を押す

 再生中の写真を回転させるには

①再生中に [サブメニュー] を押す

②「右 90° 回転」または「左 90° 回転」を選び、
[決定] を押す

 再生を止めるには

- 写真／動画一覧に戻るには、[■ 停止] を押す
- 静止画にするには、[|| 一時停止] を押す

 写真や動画の書き出しや取り込みをするには
[赤] を押す (→87、92)

 写真や動画をお気に入り登録／解除するには
[緑] を押す

 写真や動画を消去するには

消去したい写真や動画を選んで、[黄] を押す

お知らせ

- [MP4] 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- ビットレートが100 Mbpsを超えるMP4動画は正しく再生できない場合があります。
- メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD に写真や動画を取り込むと安定して再生することができる場合があります。
- 写真／動画一覧から「AVCHD 3D」を再生すると 2D で再生します。3D で再生するには録画一覧から再生してください。
- 本機では 3D 写真は 2D で表示します。
- 本機では写真の編集はできません。

おまかせアルバムについて

HDD

おまかせアルバムとは、「京都へのおでかけ」や「10月10日のウェディング」など、写真や動画を1つのアルバムとして自動でまとめて表示する機能です。

おまかせアルバムは、HDDに取り込まれた写真／動画が以下の条件を同時に満たす場合に、自動作成されます。

- 日、月、季節、年単位のいずれかの撮影期間に18個以上の写真／動画がある場合
- スマートフォンなどで撮影したGPS情報が付加された写真を含む場合、または特定の被写体／イベントに自動分類される写真／動画を含む場合

おまかせアルバムは最大5個まで一時的に保存されます。さらに新しいおまかせアルバムが作成されると古いものから削除されます。おまかせアルバムを保存しておきたい場合は、アルバムとして残してください。(→91)

■ ダイジェスト再生について

ダイジェスト再生は、1つのおまかせアルバムの中から18個の写真／動画を自動選出してダイジェストで再生します。旅の思い出などを約1分間のダイジェストで振り返ることができます。

🔍 ダイジェスト再生をするには

写真／動画一覧で、おまかせアルバムを選択した状態で【▶再生】を押す

🔍 再生を止めるには

- 写真／動画一覧に戻るには、【■停止】を押す
- 再生を一時停止にするには、【⏸一時停止】を押す

自動分類について

HDD

HDDに取り込まれた写真や動画の撮影内容を分析し、被写体やイベントごとに自動分類します。

分類する被写体やイベントには、以下の種別があります。

(被写体)	(イベント)
人物	誕生祝い
動物	結婚式
犬	発表会
猫	入学式・卒業式
車	スポーツ
飛行機	運動会
電車	おでかけ
花	
食べ物	など
など	

🔍 お知らせ

- 自動分類およびおまかせアルバムの作成は、本機の電源が「切」のときに自動で実行されます。
- 写真／動画の自動分類の精度は100%を保証するものではありません。内容によって正しく分類されない場合があります。
- おまかせアルバムや被写体／イベントは、写真や動画を選んでアルバムへ追加したり、分類結果を削除変更することはできません。



写真や動画を再生する (続き)

写真 / 動画一覧のいろいろな機能

写真 / 動画一覧表示中に操作します。

- 1 写真、動画または日付などの項目を選び、
 を押す

- 2 項目を選び、 を押す

内容確認	写真や動画の情報を表示します。
情報を更新	選択したフォルダ内に記録された写真 / 動画の表示内容を更新できます。
アルバムとして残す	おまかせアルバムをアルバムとして残します。
書き出し	写真や動画をディスクなどに書き出します。
取り込み	写真や動画を HDD に取り込みます。
消去	写真や動画、アルバムを消去します。
アルバムへの追加	選択した写真や動画をアルバムへ追加します。
アルバム名の変更	選択したアルバムの名前を変更します。
動画の編集	選択した動画を編集可能な形式に変換します。 ● 録画一覧で編集ができるようになります。(→67)
連続再生の設定	写真や動画の連続再生に関する設定を変更します。 「写真の表示間隔」「表示効果」「リピート設定」「メッセージ表示」の設定ができます。
写真 / 動画切換	「写真と動画を表示」「写真のみ表示」「動画のみ表示」に切り換えることができます。
コンテンツ表示の設定	ネットワーク経由で取り込んだ写真や動画を「すべて (日付順)」に表示するかどうかを設定します。
保存設定	写真や動画を保存する設定を変更します。
保存待ちの状態にする	選択した写真や動画を再度ディスクへ保存することができます。
撮影時刻の表示設定	撮影時刻を表示するかどうかを設定します。
フォルダ表示へ	フォルダ表示に切り換えます。
日付順表示へ	日付順表示に切り換えます。

写真や動画をお気に入りに登録する

写真や動画をお気に入りに登録すると、「お気に入り」にまとめて表示することができます。

- お気に入りに登録すると、ネットワークカメラからの動画が自動消去される設定になっていても、登録した動画は自動消去されなくなります。

写真 / 動画一覧表示中に

1 写真や動画を選び、を押す

- 選んだ写真や動画には  が表示されます。

 お気に入りを解除するには

写真や動画を選び、[緑] を押す

- 選んだ写真や動画からは、 が消えます。

アルバムを作成する

写真 / 動画一覧ではお気に入りの写真や動画を集めてアルバムを作成することができます。

アルバムを新規に作成する

写真 / 動画一覧表示中に

1 「アルバムを作成する」を選び、を押す



「アルバムを作成する」

2 アルバム名を入力する

 文字入力 (→108)

写真や動画をアルバムに追加する

写真 / 動画一覧表示中に

1 写真や動画を選び、を押す

-  が表示されます。操作を繰り返します。

 選択を取り消すには

写真や動画を選び、[青] を押す

2 を押す

3 「アルバムへの追加」を選び、を押す

4 追加したいアルバムを選び、を押す

おまかせアルバムをアルバムとして残す

おまかせアルバムは5個まで一時的に保存されます。新しいおまかせアルバムが作成されると古いものから削除されます。おまかせアルバムを保存しておきたい場合は、アルバムとして残してください。

1 おまかせアルバムを選ぶ

2 を押す

3 「アルバムとして残す」を選び、を押す

アルバムの編集や消去、再生

作成したアルバムの削除や名前の変更をすることができます。

- 「消去」(→90)
- 「アルバム名の変更」(→90)
- ダイジェスト再生 (→88)

写真や動画を書き出す

写真や動画を書き出す

写真を書き出す場合：

HDD → **BD-RE** **BD-R** **USB**※
USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
SeeQVault フォーマット)

動画を書き出す場合：

HDD → **BD-RE** **BD-R** **USB**※
USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
SeeQVault フォーマット)

※ USB 機器は USB メモリーのみ

1  を押す

2 「写真／動画を見る」を選び、 を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り
換えてください。

3 写真 / 動画一覧から写真または動画を選び、
 を押す
●選んだ写真や動画には  が表示されます。
操作を繰り返します。

4 選び終わったあと、 を押す

5 書き出し先を選び、 を押す

6 「書き出し開始」を選び、 を押す

お知らせ

- BD-R の写真再生のみに対応している当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）で再生するためには、ディスクに写真のみを記録した状態でファイナライズしてください。(→147)
- 書き出し先にすでに同じ名称のディレクトリおよびファイルが存在する場合は、そのファイルは書き出されません。

写真や動画をディスクに保存する

BD-RE **BD-R** 写真／動画一覧にある写真や動画をディスクに保存することができます。

- 4K (MP4) を保存する場合は、**BD-R** の4倍速以上のディスクを使用してください。

写真／動画の保存用ディスクを作成する

1 新しいディスクを入れる

- 購入後、一度も使用していない未フォーマットのディスクを入れてください。
- BD 管理でフォーマットしたディスクは、保存用ディスクとして使用することはできません。

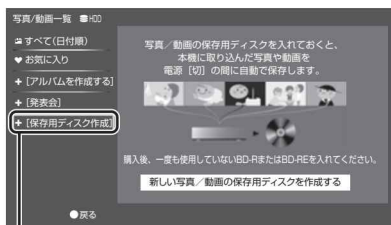
2 を押す

3 「写真／動画を見る」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

4 「保存用ディスク作成」を選び、

 を押す



「保存用ディスク作成」

5 画面に従って操作する

保存する

電源「切」時に自動で保存します。

(「保存待ち写真／動画」の中にある写真や動画を自動で保存します)

今すぐ保存するには

- ① [アプリ] を押す
- ② 「写真／動画を見る」を選び、[決定] を押す
- ③ [サブメニュー] を押す
- ④ 「保存設定」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「保存機能」を選び、[決定] を押す
- ⑥ 「入」を選び、[決定] を押す
- ⑦ 「今すぐ保存」を選び、[決定] を押す
- ⑧ 「開始」を選び、[決定] を押す

保存済の写真や動画の確認や取り込みをするには

- ① [アプリ] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、[決定] を押す
- ④ 実行したい項目を選び、[決定] を押す

保存設定を変更するには

- ① [アプリ] を押す
- ② 「写真／動画を見る」を選び、[決定] を押す
- ③ [サブメニュー] を押す
- ④ 「保存設定」を選び [決定] を押す
- ⑤ 設定する項目を選び [決定] を押す
 - 保存機能の入／切
 - 保存時間帯の設定
 - など

お知らせ

- ディスクの紛失などで写真や動画をディスクに再度保存する場合は、「保存待ちの状態にする」で設定してください。
- 自動で保存する場合、「クイックスタート」(→131)を「入」に設定しておくことをお勧めします。
- 保存用ディスクでの録画やダビングはできません。
- 以下の場合、保存はできません。
 - ・他機器で作成した写真／動画の保存用ディスク
- 本機以外の機器 (パソコンや本機以外のブルーレイディスクレコーダーなど) で保存用ディスクに書き込みや消去などの操作をした場合、ディスクの情報が失われて本機で保存用ディスクとして使えなくなる場合があります。
- 保存用のディスクは、高湿度、高温、直射日光などを避け、できるだけ外部からの力がかからない環境で保管してください。

ネットワークカメラの動画を本機で受信する

当社製の本機に対応したネットワークカメラの動画を本機で受信することができます。

- ネットワークカメラの機能を利用するには、ネットワークの接続と設定 (➔111、123) が必要です。

ネットワークカメラの設定をする

ネットワークカメラの動画を本機で受信するには、以下の設定をしてください。

「ネットワークカメラ連携機能」(➔139) を「入」に設定する

受信した動画を自動的に消去するには

「自動消去設定」(➔139) で消去する期日を指定してください。

- ・自動消去の対象から外したい動画は、「お気に入り登録」(➔91) をしてください。

動画を受信する

登録したネットワークカメラから動画が送信されると、本機側で動画を自動的に受信します。

- 受信した動画は、写真/動画一覧で確認することができます。

お知らせ

- ネットワークカメラで撮影後、本機の状態によっては受信するまでに時間がかかる場合があります。
- ネットワークカメラで撮影した映像は、合計で最大40000 ファイルまで本機に記録することができます。上限を超えると、新たに撮影された映像は記録されません。新たに記録するためにはネットワークカメラの映像の中から不要な映像を消去するか、「ネットワークカメラ連携設定」の「自動消去設定」(➔139) を有効にしてください。
- ネットワークカメラから受信した動画などのデータは、本機と同じホームネットワークに接続されたDLNA 対応機器から再生をすることができます。ネットワークカメラの設定、設置場所、および無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）などのホームネットワークのセキュリティ設定にお気をつけください。
- ネットワークカメラ対応機器のペアリングを解除するには、「ネットワークカメラ連携設定」(➔139) から行ってください。

音楽 CD を再生する /HDD に取り込む

CD

音楽 CD を再生する

1 音楽 CD を入れる

- 本機をネットワークに接続すると Gracenote サーバーから最新のタイトル情報を自動で取得します。(ネットワークに接続していない場合は、本機内蔵の Gracenote データベースからタイトルを取得します)

2 「音楽を再生する」を選び、**決定**を押す

音楽CDの1曲目から自動的に再生が始まります。

表示マークについて (→97)



- ④ 別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、**[決定]**を押す
- ④ 音楽を停止するには
[■ 停止]を押す
- ④ テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには
[ピエリンク対応のテレビ (ピエラ) とアンプ (スピーカー) を接続している場合のみ表示]
[青]を押す
- ④ シャッフルの設定をするには
[赤]を押す
- ④ リピートの設定をするには
[緑]を押す
- ④ ハイレゾリマスターの設定をするには
[黄]を押す

音楽再生のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



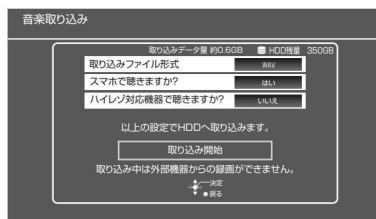
- 以下の「再生設定」を行うことができます。
音楽一覧表示中に、**[サブメニュー]**を押して、
「再生設定」を選び、**[決定]**を押す
・「基本設定」(→64)の「リピート」「シャッフル」
・「音声詳細設定」(→66)の「音質効果」「自動音量調整」

HDD に取り込む

1 音楽 CD を入れる

2 「HDD へ取り込む」を選び、**決定**を押す

3 項目を設定する



- ハイレゾで聴く場合は、「ハイレゾ対応機器で聴けますか?」を選び、**[データD]**を押して「ハイレゾで聴くための詳細設定」を行ってください。

4 「取り込み開始」を選び、**決定**を押す

お知らせ

タイトルの自動取得について

- タイトルが見つからなかったときは、「不明なアルバム」として表示されます。
- 情報が似ているために間違ったタイトル情報を取得することがあります。

録音について

- CDの全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- コピーコントロールCDなど、CD規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- CDからHDDへのデジタル録音には、SCMS(シリアル・コピー・マネージメント・システム)という制限があります。著作権保護のため、この制限があるCDからHDDへのデジタル録音はできません。

9

写真・動画・音楽

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す

音楽ファイルを再生する

HDD

USB-HDD (写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

1 を押す

(→ **HDD** 手順 4 へ)

2 **USB-HDD** : 「メディアを使う」を選び、 を押す

3 **USB-HDD** : 「USB 機器」または「USB-HDD」を選び、 を押す

4 「音楽を聴く」を選び、 を押す

5 曲を音楽一覧から選び、 を押す

- **HDD** **[▶]** (リモコンの右ボタン) を押すと「次の曲」の内容を表示することができます。「次の曲」には「音楽一覧」から選んだ曲や再生した曲が登録されます。またこれから再生される曲の順番を確認することができます。

表示マークについて (→97)



 別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、**[決定]**を押す

 音楽を停止するには
[■ 停止]を押す

 ギャップレス再生をするには
[データ ①]を押す
● **[データ ①]**を押すと、選択中の曲からギャップレス再生を開始します。ギャップレス再生中は、一曲のみリピートおよびシャッフルは無効です。

 テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには
[ビエラリンク対応のテレビ (ビエラ) とアンプ (スピーカー) を接続している場合のみ表示]
[青]を押す

 シャッフルの設定をするには
[赤]を押す

 リピートの設定をするには
[緑]を押す

 ハイレゾリマスターの設定をするには
[黄]を押す

 曲もしくはアルバムを「次の曲」のリストに追加するには
[録画 ●]を押す

お知らせ

- ギャップレス再生は、選択中のトラックの先頭から曲間を空けずに連続で再生します。
ライブやコンサートの音源を収録したアルバムなど (曲間をつなげて収録している音楽ファイル) の再生時に有効です。
 - ・データの状態によってはトラックの変わり目に小さなノイズが発生する場合があります。
- ファイルによってはアルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報が登録できない場合があります。その場合は、フォルダから該当の曲を選んで再生してください。(ギャップレス再生はできません)

いろいろな操作や設定

- 以下の項目の設定を行うことができます。

① 曲やフォルダ、プレイリストなどを選び、



を押す

② 項目を選び、設定する

- 設定できる項目は、音楽 CD や音楽ファイルによって異なります。

ギャップレス再生	曲間を空けずに連続で再生します。
次に再生	選択した曲を「次の曲」で、現在再生している曲の次に再生するよう設定します。
あとで再生	選択した曲を「次の曲」のリストに追加します。
“次の曲”から除外	選択した曲を「次の曲」から除外します。
プレイリストに追加	選択した曲やアルバムをプレイリストに追加します。
プレイリストの名前を変更	プレイリストの名前を編集します。
曲の情報編集	曲の情報を編集します。
消去	選択したアルバム、曲、フォルダ、プレイリストを削除します。
情報を更新	アルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報を更新します。
状態を更新	アルバム、曲、フォルダを消去した場合に、プレイリストの情報を更新します。
メディアへ書き出す	曲を HDD からディスクや写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD に書き出します。
HDD に取り込む	曲を HDD に取り込みます。 (→98)
スマホ再生用ファイル (AAC) 作成	選択したアルバム、曲をスマートフォンで再生できるようにします。 ●音楽 CD から取り込んだ曲のみ可能
ハイレゾリマスターファイル作成	選択したアルバム、曲をハイレゾ音源で再生できるようにします。 ●音楽 CD から取り込んだ曲のみ可能
再生設定	再生設定を表示します。(→64)
テレビのみ電源 [切]	ピエラリンク対応のテレビ (ピエラ) とアンプ (スピーカー) を接続している場合、テレビの電源を切った状態でアンプから音楽の再生を続けることができます。

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



表示マークについて

(グレー)	シャッフル [切]
(白)	シャッフル [入]
(グレー)	リピート [切]
(白)	リピート [1 曲]
(白)	リピート [全曲]
※1	音質効果 [切]
※2	ハイレゾリマスター [弱]
※2	ハイレゾリマスター [中]
※2	ハイレゾリマスター [強]

※1 ハイレゾ対応機器接続時にハイレゾ音源を出力した場合に表示

※2 ハイレゾ対応機器からの音声出力時に表示

お知らせ

- 再生可能なファイル形式 (→174)
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に本機の電源が切れます。



写真・動画・音楽

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

音楽ファイルを取り込む / 書き出す

- **BD-RE** **BD-R** **USB**^{*1} **USB-HDD**^{*2} → **HDD**
- **HDD** → **BD-RE** **BD-R** **USB**^{*1} **USB-HDD**^{*2}

※ 1 USB 機器は USB メモリーのみ

※ 2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD

音楽ファイルを本機 HDD に取り込んだり、HDD からディスクなどに書き出したりすることができます。

- ディスクや USB-HDD に書き出す場合はバックアップ用としてお使いください。

音楽ファイルを取り込む

1  を押す

2 「メディアを使う」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 **BD-RE** **BD-R** :
「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、 を押す

USB、**USB-HDD** (写真・音楽用フォーマット) :

「USB 機器」を選び、 を押す

USB-HDD (SeeQVault フォーマット) :

「USB-HDD」を選び、 を押す

4 「音楽を聴く」を選び、 を押す

5 フォルダや音楽一覧から曲を選び、 を押す

6 「HDD に取り込む」を選び、 を押す

7 「取り込み開始」を選び、 を押す

音楽ファイルを書き出す

1  を押す

2 「音楽を聴く」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「フォルダ」を選び、 を押す

4 曲を選び、 を押す

5 「メディアへ書き出す」を選び、 を押す

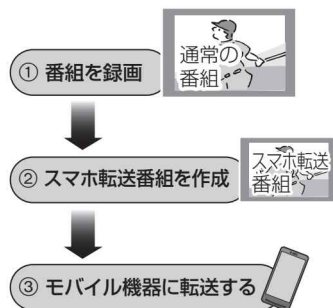
6 書き出し先を選び、 を押す



7 「書き出し開始」を選び、 を押す

録画した番組をモバイル機器に転送する

モバイル機器（スマートフォンなど）に転送するには、HDD に録画した番組からスマホ転送番組を作成する必要があります。



画質について

再生できる画質は転送する機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。

選択できる画質

3.5 Mbps(720p)
1.5 Mbps(720p)
650 kbps(360p)
400 kbps(180p)
150 kbps(180p)

お知らせ

● スマホ転送番組について

- ・通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組分割」を行うと、スマホ転送番組は消去されます。
- ・本機では、スマホ転送番組の再生・編集はできません。

● 多重音声の記録について

多重音声の番組からスマホ転送番組を作成する場合、以下のようになります。

- ・マルチ音声の番組
 - 「信号切換」の「音声」(→64) で設定した音声 1 つ
- ・二重音声の番組
 - 「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」(→132) の設定に従う

スマホ転送番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

スマホ転送番組の設定 **HDD**

番組の予約録画時にスマホ転送番組を作成する場合、以下の画面でスマホ転送番組の設定を行ってください。

- 番組予約 (→32 手順 5)
- 詳細設定 (→33 手順 1)
- 時間指定予約 (→40 手順 3)

お知らせ

- スマホ転送番組は、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(→34) で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成されるスマホ転送番組のアスペクトは 16:9 になります。



録画した番組をモバイル機器に転送する (続き)

録画した番組から作成する

スマホ転送番組の作成

HDD

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

- 1  を押す
- 2 作成する番組を選び、 を押す
- 3 「スマホ転送番組の作成」を選び、 を押す
- 4 「画質」を選び、設定する
- 5 「開始方法」を選び、設定する

●すぐに：

下記手順 ⑦ の設定後すぐに、作成を開始します。
作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●電源 [切] 後：

電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

- 6 「作成する」を選び、 を押す
- 7 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、 を押す

 作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

 を押す

 作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ③ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

 作成が終了しているか確認するには



スマホ転送番組一覧 (→101) で「作成待ち」が表示されている場合、スマホ転送番組の作成は終了していません。

お知らせ

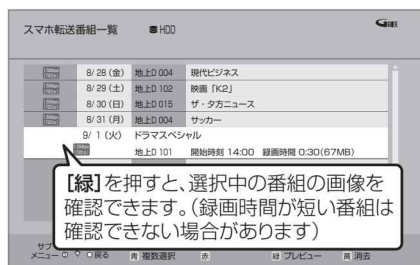
- ダビングできない番組の場合、スマホ転送番組は作成できません。
- HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、スマホ転送番組は作成できません。
- スマホ転送番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・二重音声：「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」(→132)
 - ・マルチ音声：「信号切換」の「音声」(→64)
 - ・チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
 - ・字幕：「信号切換」の「字幕」(→64)(「電源 [切] 後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

ネットワーク経由で転送する

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方は、ご使用になるモバイル機器のアプリなどをご確認ください。

スマホ転送番組の確認と消去

- 1 を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す
- 3 「残す」を選び、 を押す
- 4 「スマホ転送番組一覧」を選び、 を押す
- 5 番組を選び、 を押す



- 6 項目を選び、 を押す (→ 下記へ)

スマホ転送番組 消去	スマホ転送番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
視聴制限一時 解除	「制限項目設定」(→128) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているので、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合やスマホ転送番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- 表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組・スマホ転送番組はHDDから消去されます。



ダビングの残り可能回数は同じ

お知らせ

- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送するスマホ転送番組の合計より少し大きくなります。
- 通常の番組を再生中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置(→62「続き再生メモリー機能」)とチャプターマーク(→71)を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・ 作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・ 位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定(→67)されている「1回だけ録画可能」のスマホ転送番組は、転送できません。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ (ビエラ) またはアンプを HDMI 経由で接続すると連動操作を行うことができます。

- 本機はビエラリンク (HDMI) Ver.4 に対応しています。

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは
本機と HDMI ケーブル (市販品) を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

■ 設定

①「ビエラリンク制御」(→135) を「入」にする

② 接続した機器側 (テレビなど) で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する

③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を入/切したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する (接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

● お知らせ

- ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

表示マークについて

Ver.0以降

: 接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク (HDMI) に対応している場合に操作できます。

- テレビやアンプのビエラリンクのバージョンは、各機器の取扱説明書をご確認ください。

ECO スタンバイ

Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 電源「切」時に時計表示されなくなります。

設定を有効にするには

- 「ECO スタンバイ」(→135) を「入」にする

テレビの電源と連動させる

Ver.1以降

本機とテレビの電源操作を連動させることができます。

設定を有効にするには

- 「ビエラリンク制御」(→135) が「入」の場合：
 - ・ 本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
 - ・ テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
- 「電源オフ連動」(→135) が「入」の場合：
 - ・ 本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
- 「ビエラリモコンで操作」(→135) が「入」の場合：
 - ・ テレビの電源を「入」にすると本機の電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
- 接続したテレビでも電源に連動する設定を行ってください。
詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

音声の出力先を切り換える

Ver.1以降

ビエラとアンプと接続している場合、本機の音声出力先を切り換えることができます。

- 切り換えるには、「ビエラリンク制御」を「入」にしてください。(→135)

- ①  を押す
 - 表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。
- ② 「スピーカー切換」を選び、 を押す
- ③ 音声出力先を選び、 を押す

● お知らせ

- ビエラリンク (HDMI) を使用するには、接続したテレビ側、アンプ側の設定が必要です。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビのリモコンで本機を操作する

Ver.3以降

テレビのリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。

切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

設定を有効にするには

- 「ビエラリモコンで操作」(→135)を「入」にしてください。

テレビのリモコンで操作できるボタンは？

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー]

[番組表][地上][BS][CS][4K]

[チャンネルへ、▼][字幕][データ①]

[元の画面][音声切換]と数字ボタン、色ボタンなど
ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用で
きるボタンが異なる場合があります。

詳しくはビエラの取扱説明書または電子説明書
(VIERA 操作ガイド)をご覧ください。



ビエラのリモコン（例：TH-43HX850）

お知らせ

- 本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラのリモコンで本機を操作することができます。
- 本機を操作するときは、ビエラのリモコンをテレビに向けてください。

便利機能

ビエラリンク（HDMI）を使う（続き）

■ 番組表を表示する

[番組表]を押す

- 番組表の詳細操作は、29、31 ページをご覧ください。

■ 放送を選ぶ

[地上][BS][CS][4K]を押す

- ボタンの名称は本機リモコンと異なります。
 - ・ [地上]：地上デジタル放送
 - ・ [BS]：BS デジタル放送
 - ・ [CS]：CATV デジタル放送
 - ・ [4K]：BS4K 放送

■ チャンネルを選ぶ

[チャンネルへ、▼]または数字ボタンを押す

- ボタンの名称は本機リモコンと異なります。

■ ケーブルテレビ放送の画面に戻る

[元の画面]を押す

■ データ放送を見る

[データ*i*]を押す

■ 音声や字幕を切り換える

視聴中に音声や字幕表示の切り換えなどができます。

[音声切換]または[字幕]を押す

■ サブメニューボタンを使う

テレビの番組を視聴中：

[サブメニュー]を押す

サブメニュー画面が表示され、以下のボタンを押すとそれぞれの操作を行うことができます。

[赤]：録画一覧の表示 (→55)

[緑]：放送の切り換え

[黄]：アプリー一覧の表示 (→18)

番組の再生中：

[サブメニュー]を押す



テレビのリモコンで早送り・早戻し（サーチ）、停止などの操作ができます。

- [▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー]で操作することができます。

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、アンプから出力されるサウンドが、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは動きません。

設定を有効にするには

- 「オートサウンド連携」(→135) を「入」にする

インターネットサービスを利用する

本機では、インターネットを利用してディモラなどのサービスを楽しむことができます。

- 以下の場合は利用できません。また、サービス利用中に以下の状態になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
 - ・ ネットワークを使って録画
 - ・ ダビング中
- ネットワーク接続と設定をする (→111、123)

お知らせ

- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- Web ブラウザは利用できません。

動画配信サイトなどのサービスを利用する

動画コンテンツの閲覧などのさまざまなサービスを楽しむことができます。

1



を押す

2

「テレビでネット」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3

項目を選び、を押す

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

 サービスを終了するには

- [地上][BS][BS4K][CATV] を押す

マイアプリボタンから動画配信サイトなどのサービスを利用する

【マイアプリ】 ボタンに登録されている動画コンテンツなどのサービスを楽しむことができます。

1

を押す

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

 【マイアプリ】 ボタンにアプリを登録するには

- 「マイアプリボタン設定」 (→130) を設定する



便利機能

お部屋ジャンプリンクを使う

お部屋ジャンプリンク機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。
- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

別室のテレビなどで見る

(本機をサーバーとして使用する)

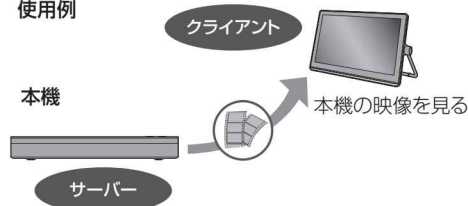
- ネットワーク接続と設定をする(→110、111、123)
- お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合(→125)

HDD **USB-HDD** (録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組や写真、音楽の再生、USB-HDD に録画した番組の再生、受信した放送の視聴ができます。

- 「サーバーモード」(→138)の設定によって、クライアント側で再生できるコンテンツは異なります。

使用例



録画番組や AVCHD の再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」(→138)を「モード 1」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

録画番組・AVCHD・動画・写真や音楽を再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」(→138)を「モード 2」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。
- 4K 放送の番組は大量のデータを転送するため、無線 LAN では安定して再生できない場合があります。有線 LAN で接続することをお勧めします。
- 本機の電源「入」時に、BS4K 放送の録画番組および 4K CATV デジタル放送の録画・放送番組を変換しながら配信することはできません。
- エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の録画・放送番組は、変換せずに配信することができません。ただし、録画番組は事前に録画一覧で録画モードをハイビジョン画質にすることで配信できる場合があります。

「ビデオを見る」のとき

- 取り込んだ MP4 は再生できません。(→83)
- 4K 放送の番組を再生しているときは、他の機器から再生できません。

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定(→117)で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。
- 録画禁止 (デジタル X COPY) の番組を見ることはできません。
- 本機が 2 番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り換えはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

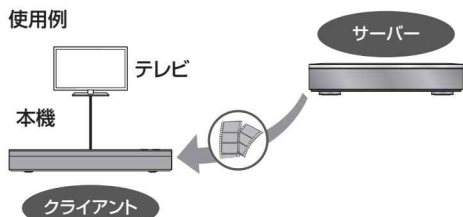
映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」(→138)を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。さらに「画質モード」(→138)で調整することができます。ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - ・早送り・早戻しができない
 - ・XP、SP、LP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からお部屋ジャンプリnk対応の当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）などの HDD にある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする (→110、111、123)
- 接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリnk」または「ピエラリnk (LAN)」で登録する）
（本機の実作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1～3 の実作を行ってください）

1 を押す

2 「お部屋ジャンプリnk」を選び、 を押す
● 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 接続する機器を選び、 を押す

例)



- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の実作をしてください。

お知らせ

- お部屋ジャンプリnk対応の当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）の番組を再生する場合、【音声切換】または【字幕】を押すと、「音声切換」「字幕切換」や「電波状態表示」（無線接続時のみ）を行うことができます。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の実画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリnkで接続されたすべての機器の実画番組をまとめて表示できます。(→54)
- 再生機器によっては、早送りなど再生中の実作が正しく働かない場合があります。

よくあるご質問

お部屋ジャンプリnkがつかない

- お部屋ジャンプリnkを使うためにはネットワーク接続が必要です。ネットワーク設定を行い、画面の案内に従って実作してください。(→123)

パソコンや他社機器とお部屋ジャンプリnkはできますか

- DLNA に対応した他社のテレビやレコーダーは番組の再生が可能です。パソコンはデジタル放送番組を再生するための専用ソフトが必要です。ただし、接続する機器やコンテンツによって再生できない場合があります。

録画中もお部屋ジャンプリnkはできますか

- 同時動作の制限によりお部屋ジャンプリnkができない場合があります。(→157)

お部屋ジャンプリnk再生画面が途中で止まったり、動いたりする

- 無線 LAN をお使いの場合は、電波状態によっては安定した再生ができない場合があります。LAN ケーブル（有線）での接続をお勧めします。(→111)

便利機能

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、フォルダ名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)



- 1 **青 赤 緑 黄** で文字の種類を選ぶ
●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

- 2 **入力する文字を選び、決定を押す**
●この手順を繰り返し、文字を入力します。
●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
●文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで「決定」を押すと、その文字が入力されます。

- 3 **入力が終わったら、停止を押す**

- 4 **「はい」を選び、決定を押す**

数字ボタン [1] ~ [9]、[11] でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① [3] を押す
●「さ」行に移動します。
- ② [3] を 2 回押し、[決定] を押す
●「す」が入力文字表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

- [▶再生] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す
●[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[||一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
- ② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ② 語句を選び、[黄] を押す
- ③ 「消去」を選び、[決定] を押す

リモコンボタン方式で文字入力する

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1.あ ~ 12.じ で文字を入力する

- ボタンを押すたびに、文字が変わります。
(例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押し)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

接続1

すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいってください。



接続と設定

※ 1 高画質な 4K 放送を視聴していただくには、4K 対応テレビ（HDMI 2.0/HDCP2.2 対応端子搭載）に接続してください。

※ 2.4K 対応テレビに接続する場合は、HDMI 規格に準拠した「プレミアムハイスピード HDMI ケーブル」が必要です。

 お知らせ

- ケーブル入力端子、分配出力端子に F 型接栓を接続するときは、緩まない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- ケーブル入力端子には、ケーブルテレビ宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- 分配出力端子には、BS アンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。
- HDMI ケーブルが端子から外れないようにしっかりと接続してください。

接続2 ネットワーク接続の準備をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続(→右記~111)とネットワーク設定(→123)を行ってください。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

本機は、電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

- ブロードバンド環境へ接続するためには、ご加入のケーブルテレビ局と新たにご契約が必要になる場合があります。また、ご使用の環境によりブロードバンド機器がご使用になれない場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

宅内ネットワーク機能

- お部屋ジャンプリンク(→106)
- ネットワークを使って予約録画(→51)
- ネットワークを使ってダビング(→81、82)
- ネットワークカメラ機器連携(→94)

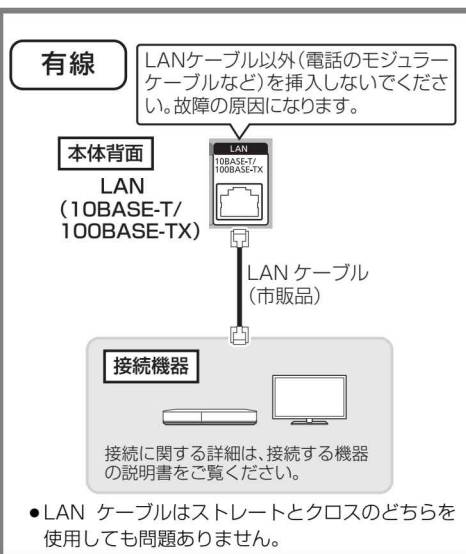
インターネット機能

- Ultra HD ブルーレイを楽しむ(→60)
- インターネットサービス(→105)
- 1ヵ月の番組表や注目番組を受信(→30、35)
- デジタル放送の情報サービスを利用
- BD-Liveを楽しむ(→61)
- 音楽タイトル情報やアーティスト情報の最新情報を取得(→95)

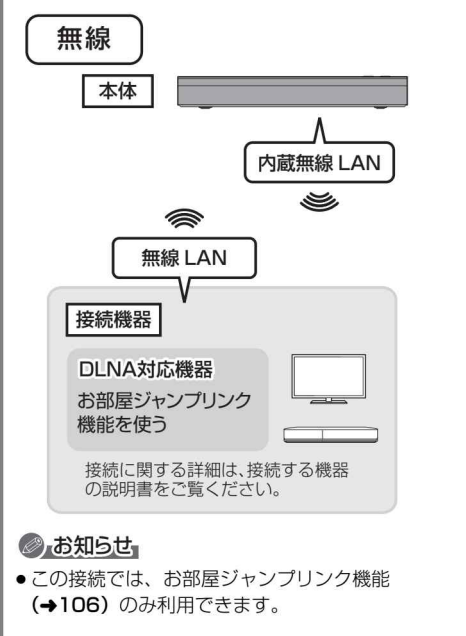
お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離れてみてください。それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリ5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター (アクセスポイント) に接続してください。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備(有線 LAN ルーター、回線端末装置)に接続してください。

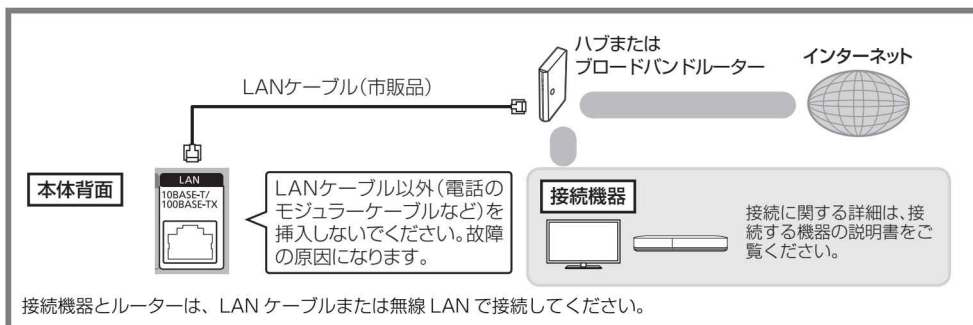
各機器と直接接続する



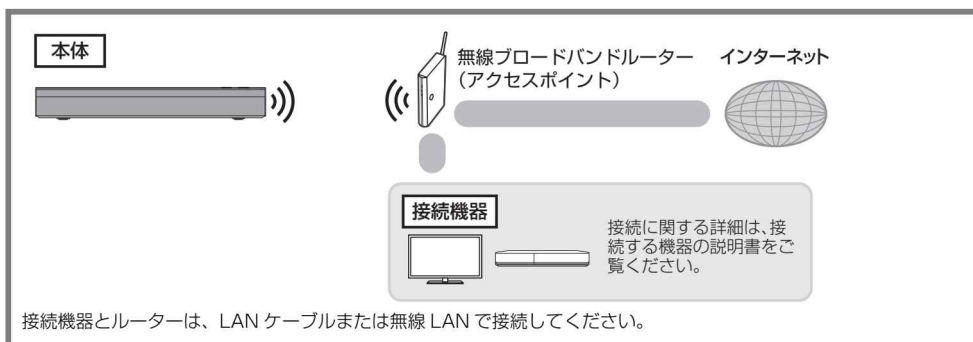
各機器と直接無線 LAN で接続できます。



ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する



無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使って接続する



お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）は 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) のものをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
 - 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
 - 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク (SSID[®]) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- ※無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

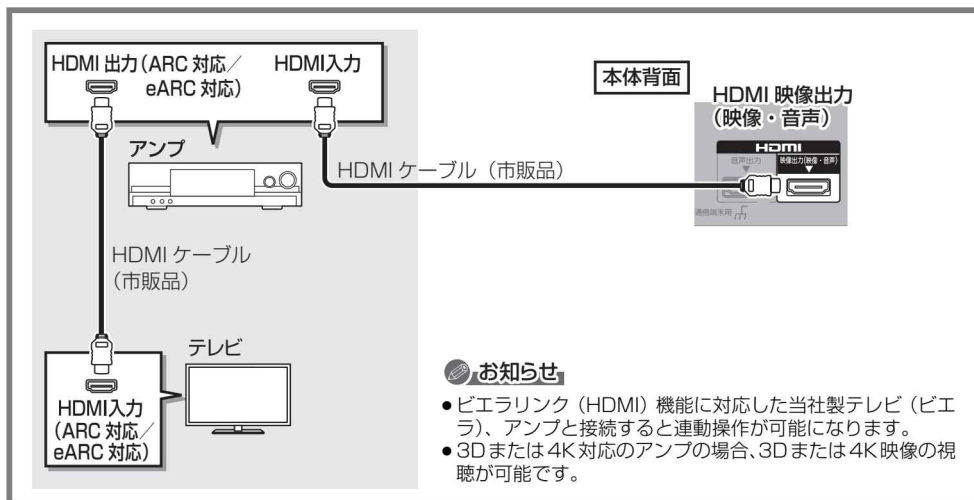
免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
- 本機がお手元ない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

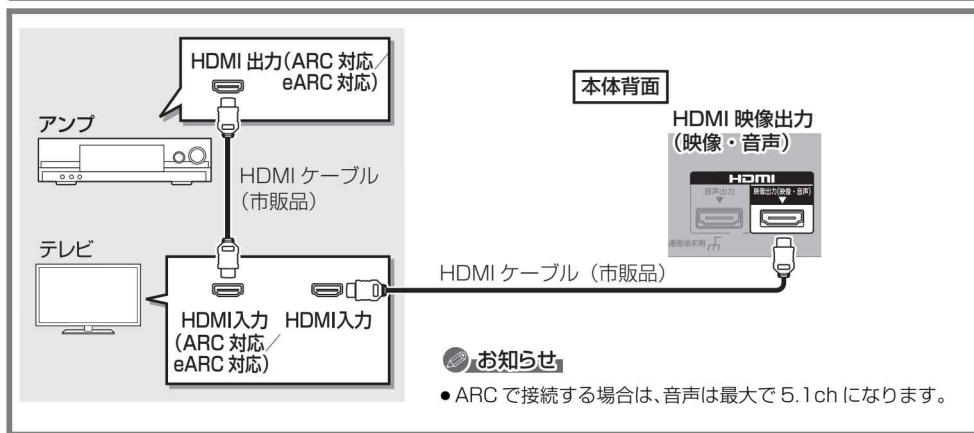
接続3 テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する

HDMI 映像出力（映像・音声）端子にアンプを接続する

ピエラリンク（HDMI）機能を利用するには



3D または 4K 非対応のアンプと接続して、3D または 4K 映像を視聴するには

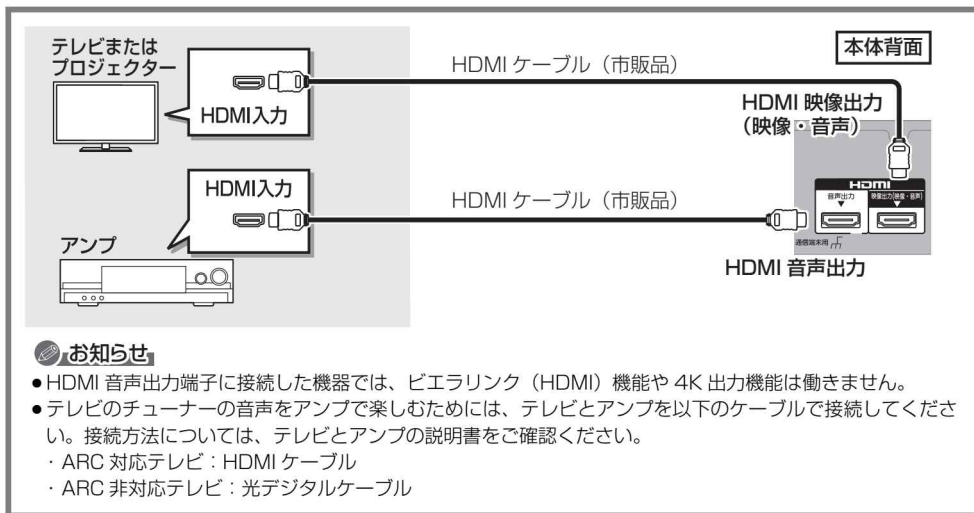


お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」または「eARC 対応」の表示がないテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。
- Ultra HD ブルーレイ再生時は、「Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために」(→60)をご確認ください。

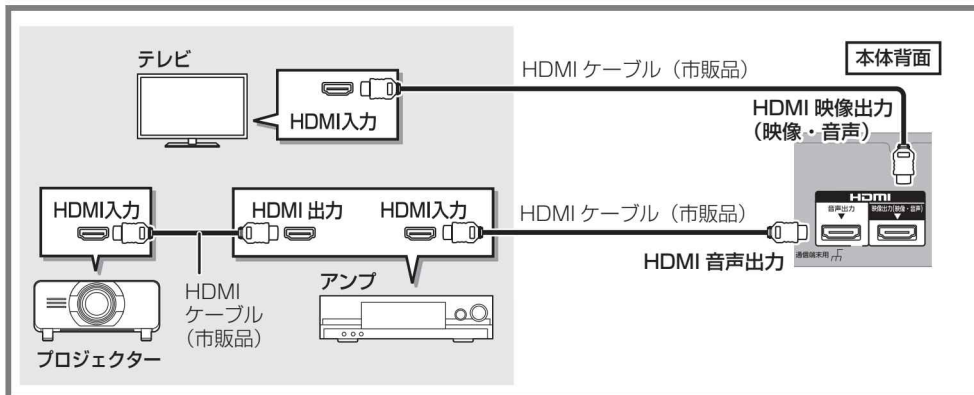
接続3 テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する（続き）

HDMI 音声出力端子にアンプを接続する（より高音質で楽しむ）



- 「HDMI 接続設定」(→135) で以下のように設定してください。
 - ・ 「映像出力端子設定」：アンプで音声を聴きたい場合は「オート（映像のみ／映像＋音声）」、テレビで音声を聴きたい場合は「映像＋音声」に設定
 - ・ 「音声出力端子設定」：「音声のみ」に設定

HDMI 端子でテレビとアンプとプロジェクターを接続するには



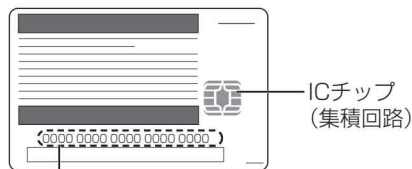
- 「HDMI 接続設定」(→135) で以下のように設定してください。
 - ・ 「映像出力端子設定」：「オート（映像のみ／映像＋音声）」に設定
 - ・ 「音声出力端子設定」：テレビで映像を視聴したい場合は「音声のみ」、プロジェクターで映像を視聴したい場合は「映像＋音声」に設定（「映像＋音声」に設定した場合、HDMI 映像出力端子および HDMI 音声出力端子から 3D、4K、HDR で出力できません）
- Ultra HD ブルーレイ再生時は、「Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために」(→60) をご確認ください。

接続4 C-CAS カードを挿入する

C-CAS カードについて

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により C-CAS カードが必要になります。

C-CASカード裏面

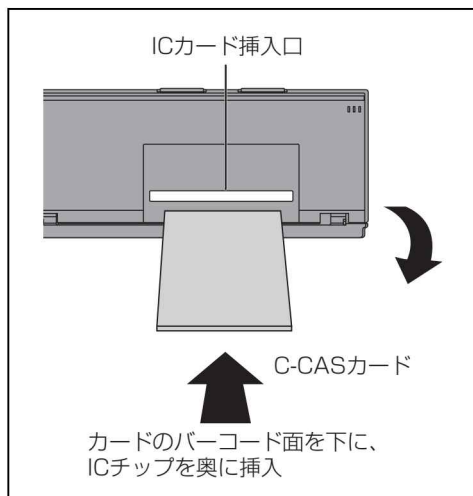


C-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、IC カードを奥まで差し込む



🔌 C-CAS カードのテストをするとき (→120)

🔌 C-CAS カードを抜くとき

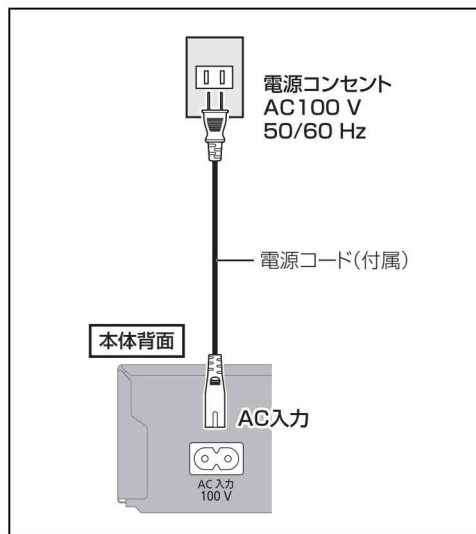
- ① 電源プラグを電源コンセントから抜く
 - ② ゆっくりと C-CAS カードを抜く
- C-CAS カードには、IC (集積回路) が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
 - C-CAS カードを抜き差ししたときは、3 秒以上経ってから、C-CAS カードテストを行ってください。(→120)
 - C-CAS カードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

🔧お知らせ

- C-CAS カードは以下のことに注意して取り扱ってください。
 - 折り曲げたり、変形させない。
 - 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
 - 分解加工は行わない。
 - 重いものを置いたり、踏みつけたりしない。
 - IC (集積回路) 部には手をふれない。
- 本機専用の C-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えると C-CAS カードは機能しません。

接続5 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、
接続してください。



お知らせ

電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、電源コードはICカードの抜き差し時や異常時以外は抜かないでください。

電源を切った状態でも、電力を消費しています。

設置設定をする

チャンネル設定をする

- 1  を押す
- 2 「放送設定」を選び、 を押す
• 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「設置設定」を選び、 を押す
- 4 「チャンネル設定」を選び、 を押す
- 5 修正したい放送を選び、 を押す
(BS、BS4K、CS、CATV、JC-HITS の場合
→118 ページへ)
- 6 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、 を押す
(→ 右記または 118 ページへ)

地上デジタル（初期スキャン）

受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

- 7  を押し、方式切換の画面が表示されたら、「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選び、 を押す
- 8 お住まいの地域を選び、 を押す
- 9 設定が終了したら、 を押す

地上デジタル（再スキャン）

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

- 7 設定が終了したら、 を押す



接続と
設定

設置設定をする (続き)

地上デジタル (マニュアル)

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po: 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**▼**を押してください。

CH: テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

117 ページ手順 1～6 のあと

7 修正したい行 (Po) を選び、**決定**を押す

8 表示チャンネル (CH) を修正し、**戻る**を押す

9 設定が終了したら、**戻る**を押す

🔍チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① **緑**を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、**決定**を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、**決定**を押す
- ④ 入れ換えが終わったら**戻る**を押す

BS、BS4K、CS、CATV、JC-HITS

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BSプレミアム	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日1	テレビ

Po: 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**▼**を押してください。

CH: テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

117 ページ手順 1～5 のあと

6 修正したい行 (Po) を選び、**決定**を押す

7 表示チャンネル (CH) を修正し、**戻る**を押す

8 設定が終了したら、**戻る**を押す

🔍チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① **緑**を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、**決定**を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、**決定**を押す
- ④ 入れ換えが終わったら**戻る**を押す

選局画面のチャンネル表示を制限する

番組表の表示やチャンネル選局、お好みチャンネルの表示を視聴できるチャンネルのみに制限します。

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示されない場合があります。

- 1 を押す
- 2 「放送設定」を選び、を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「設置設定」を選び、を押す
- 4 「チャンネル設定」を選び、を押す
- 5 「チャンネル制限」を選び、を押す
- 6 「制限する」を選び、を押す
- 7 「はい」または「いいえ」を選び、を押す
- 8 設定が終了したら、を押す

🔊 チャンネル制限をしないときは
手順 6 で「制限しない」を選ぶ

地域設定を修正する

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

- 1 を押す
- 2 「放送設定」を選び、を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「設置設定」を選び、を押す
- 4 「地域設定」を選び、を押す
- 5 「県域設定」を選び、お住まいの都道府県を選ぶ
 - 「地域設定削除」を選ぶと、工場出荷時の状態に戻ります。
 - 伊豆、小笠原諸島地域は → 「東京都島部」
 - 南西諸島鹿児島県地域は → 「鹿児島県島部」
- 6 「郵便番号」を選び、を押す
- 7    でお住まいの地域の郵便番号を入力し、を押す
- 8 「はい」を選び、を押す

設置設定をする (続き)

C-CAS カード / ACAS チップのテストをする

カードを挿入して 3 秒以上経ってから行ってください。

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、C-CAS カードが必要になります。

1 を押す

2 「放送設定」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、を押す

4 「C-CAS カードテスト」または「ACAS チップテスト」を選び、を押す

- 「C-CAS カードテスト」が NG の場合、カードの挿入を確認してください。(→115)
- 「ACAS チップテスト」が NG の場合、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

リモコン設定をする

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。(電源の入 / 切、テレビ / ビデオの切り換え、音量調整)



電源

電源を押しながら、2桁の番号(→右記)を

1 ~ **10**を押して入力する

例) 01の場合…[10] → [1] 10の場合…[1] → [10]
11の場合…[1] → [1] 12の場合…[1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 工場出荷時はパナソニック(新1)に設定されています。
- 同一メーカーで設定が2種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号
パナソニック(新1)	11	三菱(1)	51
パナソニック(新2)	12	三菱(2)	52
パナソニック(旧)	13	三菱(3)	53
パナソニック(新3)	14	三菱(4)	54
パナソニック(新4)	15	富士通ゼネラル(1)	55
ビクター	21	富士通ゼネラル(2)	56
東芝(1)	25	三洋(1)	61
東芝(2)	26	三洋(2)	62
日立(1)	31	三洋(3)	63
日立(2)	32	三洋(4)	64
日立(3)	33	NEC(1)	65
日立(4)	34	NEC(2)	66
SONY(1)	35	AIWA	71
SONY(2)	36	FUNAI(1)	72
パイオニア	41	LG	73
シャープ(1)	45	オリオン(1)	74
シャープ(2)	46	オリオン(2)	75
シャープ(3)	47	オリオン(3)	76
シャープ(4)	48	ハイセンス(1)	77
		ハイセンス(2)	78
		ハイセンス(3)	79
		EPSON	81
		FUNAI(2)	82

お知らせ

- 接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
- 電池の交換などで設定が「パナソニック(新1)」に戻った場合は、再設定してください。
- 一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
- 当社製テレビの場合、「パナソニック(新3)」または「パナソニック(新4)」に設定すると、[入力切換]を押すことで入力の切り換えおよびテレビの放送に切り換えができます。切り換えることができない場合は、「パナソニック(新1)」、「パナソニック(新2)」、「パナソニック(旧)」のいずれかに設定してください。

接続と設定

リモコン設定をする (続き)

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製機器があるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 を押す

2 「初期設定 / リモコン設定」を選び、
を押す

●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「設置設定 / リモコン設定」を選び、
を押す

本機側のモードを設定する

4 「リモコンモード」を選び、を押す

5 「リモコン 1」または「リモコン 2」、
「リモコン 3」を選び、を押す

リモコンモードの設定

本体とリモコンを同じリモコンモードに合わせます。
まず、本体側のリモコンモードを選択して決定ボタンを押してください。

リモコン1
リモコン2
リモコン3

リモコン側のモードを設定する
リモコンのモードの設定をします。

6 を押しながら、1 のあとに続けて
1  または 2 、3 を押す

[1]のあとに続く
ボタンは、ここに
表示されている
数字のボタンを
押してください。

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。

- 決定ボタンを押しながら「1」、を押してください。
リモコン側の設定が完了します。
- 続いて、リモコンを本体に向け、
画面表示が切り換わるまで
決定ボタンを押し続けてください。
(約3秒)

7 リモコンを本体に向けて、を3秒以上押す

8 を押す

🔊 本体表示窓に“U30”と表示されたとき

本体とリモコンのリモコンモードが合っていないため、操作できません。[決定]を押しながら、[1]のあとに続けて、表示されたリモコンモード番号の数字ボタンを押してください。


リモコンモード番号

🔊お知らせ

- 電池の交換などで設定が「リモコン1」に戻った場合は、再設定してください。(→166)

ネットワークの設定をする

LANケーブルまたは無線LANを使ってネットワーク接続するための設定です。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

1 を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「LAN 接続形態」を選び、を押す

4 「有線」または「無線」、「無線親機」を選び、を押す

(→ 右記または 124 ページへ)

- 「無線親機」にすると、本機をアクセスポイントに設定して、お部屋ジャンプリnk対応の機器を直接接続することができます。
- 「無線親機」を選び、さらにインターネットをご利用になる場合は、本機とブロードバンドルーターを有線接続してください。

有線で接続する場合

LAN ケーブルで接続する場合、「接続テスト」を行って、ネットワークの接続・設定が正常か確認してください。

左記手順 1 ～ 4 のあと

5 「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」を選び、を押す

6 「接続テスト」を選び、を押す

- 「NG」が表示された場合、ネットワークの接続(→110)と「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」(→137)を確認してください。



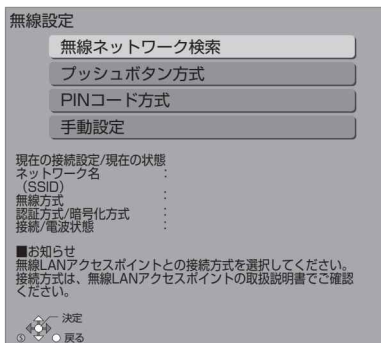
ネットワークの設定をする (続き)

無線で接続する場合

123 ページ手順 1 ~ 4 のあと

5 「無線／無線親機設定」を選び、**決定**を押す

6 接続方法を選び、**決定**を押す



7 画面に従って、設定を行う

●お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機または無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるか確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、LAN 通信設定を再度行ってください。
- 無線で接続する場合は、802.11ac または 802.11n (5 GHz) をお使いの上、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク設定

1  を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す
• 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「お部屋ジャンプリンク設定」を選び、 を押す

4 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、 を押す

5 「入」を選び、 を押す
• レート変換モードの設定画面が表示される場合があります。(→ 右記)
• 「クイックスタート」(→131) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
• 無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

6 「アクセス許可方法」を選び、 を押す

7 「手動」または「自動」を選び、 を押す
• 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
• 「手動」の場合 (→ 右記手順 8へ)

左記手順 7 で「手動」を選んだ場合

8 「機器一覧」を選び、 を押す

9 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す

10 「アクセス許可」を選び、 を押す
• 最大 16 台まで登録できます。

🔍 再生するコンテンツを変更するには [当社製テレビ (ビエラ) や当社製ブルーレイディスクレコーダー (ディーガ) と組み合わせの場合のみ]

- ① 手順 3 のあと「サーバーモード」を選び、 を押す
- ② 項目を選び、 を押す

🔍 登録している機器のアクセス許可を取り消すには (「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

- ① 手順 9 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す
- ② 「アクセス許可取消」を選び、 を押す

🔍 「レート変換モード」を変更するには、映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。

- ① 手順 3 のあと「レート変換モード」を選び、 を押す
- ② 「オート」「入」または「切」を選び、 を押す

🔍 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- ① 手順 3 のあと「本機の名称」を選び、 を押す
- ② 項目を選び、 を押す
• 一覧から選んで変更
• 文字入力して変更 (→108)

🔍 お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは
手順 5 で「切」を選ぶ
• 「リモートプレーヤー機能」が「入」になっている場合は「切」にしてください。(→139)

🔍 お知らせ

• ビエラなどからダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク連携する機器の設定をする (続き)

スマートフォン、携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

宅外リモート接続機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

1  を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

●表示がない場合は[◀][▶]でページを切り換えてください。

3 「宅外リモート接続設定」を選び、 を押す

4 「宅外リモート接続機能」を選び、 を押す

宅外リモート接続設定

宅外リモート接続機能 

機器パスワード初期化

機器ID確認

宅外リモート接続機能を「入」にすると、
外出先からスマートフォンで番組を視聴したり、

機器ID：

パソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

「個人情報リセット」(➡129)や「初期設定リセット」(➡131)をすると機器パスワードは自動で変更されます。

5 「入」を選び、 を押す

●「入」にすると、「クイックスタート」(➡131)は自動的に「入」になります。

🔌「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続 (➡110、111)、「IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定」(➡137)を確認してください。

🔌機器パスワードを初期化するには

- ① 手順3のあと「機器パスワード初期化」を選び、
[決定]を押す
- ② 「する」を選び、[決定]を押す

宅外の機器から視聴する

リモートプレーヤー設定

宅外の機器から本機の放送、録画番組などを視聴できるリモート視聴機能です。

●詳しくは、下記サポートサイトでご確認ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_catv-support_catvremoteplayer
(2022年9月現在)



- 「リモートプレーヤー機能」を「入」にするには、「お部屋ジャンプリンク機能」(➡125)を「入」にしてください。
- 「宅外リモート接続機能」を「切」にするには、先に「リモートプレーヤー機能」を「切」にしてください。(➡139)
- ご加入のケーブルテレビ局によってはご使用できない場合があります。
- 録画禁止(デジタルX COPY)の番組や、4Kの放送、4Kの録画番組は、リモート視聴することができません。

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

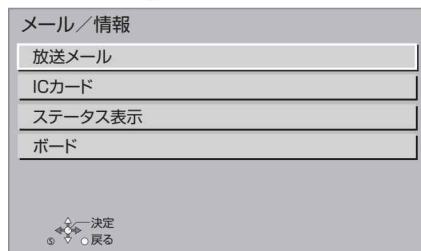
1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、を押す
●表示がない場合は[][]でページを切り換えてください。

3 「設定する・その他の機能」を選び、
を押す

4 「メール／情報」を選び、を押す

5 項目を選び、を押す



放送メール

ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。

IC カード

C-CAS カードの番号や ACAS 番号などを確認することができます。

 情報を切り換えるには

- [青]：ACAS チップの情報を表示
- [赤]：C-CAS カードの情報を表示
- [緑]：CATV-ID の情報を表示

ステータス表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

 その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

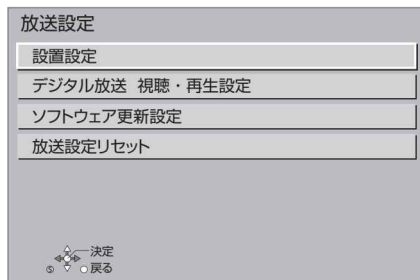
放送設定を変える（放送設定）

1 を押す

2 「放送設定」を選び、を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 変更したい項目を選び、を押す



4 設定項目を選び、を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定 【 】は工場出荷時の設定です

チャンネル設定 (→117)

番組表設定

Gガイド地域設定

番組表の設定地域を確認できます。

- 通常は変更しないでください。

Gガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1カ月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定 (→111、123) が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 2021年12月現在、番組情報を取得できる放送局はNHK、スター・チャンネル、WOWOWのみです。

地域設定 (→119)

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- 工場出荷時の状態に戻ります。

C-CAS カードテスト (→120)

ACAS チップテスト (→120)

デジタル放送 視聴・再生設定

【 】は工場出荷時の設定です

字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。

設定しても番組によって無効になる場合があります。

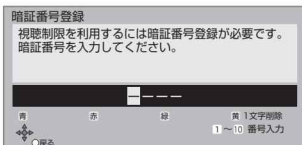
字幕 【切】

字幕言語 【日本語】

文字スーパー 【切】

文字スーパー言語 【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、129 ページの制限項目の設定を行ってください。

視聴可能年齢

【無制限】

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は、番組表などで「・・・」と表示され、視聴するためには暗証番号の入力が必要です。

制限解除有効期限

【電源 OFF まで】

チャンネルスキップ設定

視聴できるチャンネルを制限することができます。

- 【決定】を押して選んだチャンネルは選局できなくなります。(番組表にも表示しません)
スキップ設定したチャンネルを選び【決定】を押すと、スキップ設定を解除します。
- 【青】を押すと、スキップ設定を一時解除します。(電源切まで)
- 【黄】を押すと、スキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

暗証番号を入力してください。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

【すべて】

デジタル放送で【チャンネル へ、▼】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。

二重音声設定

【主】

二重音声の設定ができます。

電源を「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、設定した音声になります。

選局入力方式

【プリセット】

チャンネルを選ぶとき、3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ(「3桁入力」)か、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号を選ぶ(「プリセット」)かを設定します。

チャンネルアップダウン

【ネットワーク】

【チャンネル へ、▼】を押して順送りする方法を設定します。

- 「シームレス」は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送をまたいで選局します。
- 「ネットワーク」は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送内で選局します。

ソフトウェア更新設定

【 】は工場出荷時の設定です

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。(→141)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→127「放送メール」)

放送設定リセット

個人情報リセット

初期設定と放送設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、予約内容も消去します。ケーブルテレビ局への返却などで本機の使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDD や USB-HDD の番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDD のフォーマット」(→133) や「録画用 USB-HDD のフォーマット」(→133)を行ってください。

接続と設定

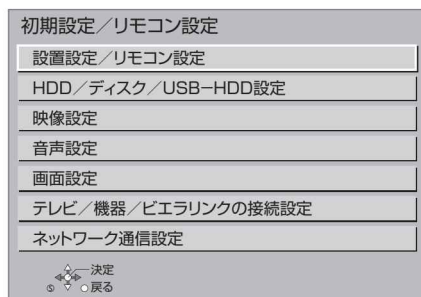
本機の設定を変える（初期設定 / リモコン設定）

1  を押す

2 「初期設定／リモコン設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 変更したい項目を選び、 を押す



4 設定項目を選び、 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定／リモコン設定

【 】は工場出荷時の設定です

自動電源オフ

【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード (→122)

【リモコン 1】

マイアプリボタン設定

【マイアプリ】を押して起動できるアプリを設定することができます。

音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」(→134)は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままです）

音声ガイド機能

【切】

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート設定／本体時計表示

クイックスタート

【入】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)

- 待機時消費電力は増えます。
 - 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に1回程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません)
 - 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
 - ・「宅外リモート接続機能」(→138)：「入」
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」(→138)：「入」
 - ・「ネットワークカメラ連携機能」(→139)：「入」
- 「切(時計表示無し)」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

【標準】

クイックスタート(→上記)が「入」時の設定をします。

- 「標準」の場合
 - ・テレビの無信号自動オフ機能が動かない場合があります。
 - ・電源「切」時に本体表示窓が点灯します。
- 「省エネ(時計表示無し)」の場合
 - ・「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
 - ・電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

初期設定リセット

設定を工場出荷時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・DVD-Videoの視聴制限
- ・BD-Videoの視聴可能年齢
- ・USB-HDDの登録
- ・LAN接続形態
- ・無線／無線親機設定
- ・IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定
- ・お部屋ジャンプリンク設定の本機の名称
- ・家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧
- ・ネットワークカメラ連携設定の接続機器一覧
- ・リモコンモード

ソフトウェア更新(ネットワーク)

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - ・本機の電源を切る
 - ・電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

【入】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
(更新は電源「切」時に行います)

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。



接続と設定

本機の設定を変える（初期設定 / リモコン設定）（続き）

HDD / ディスク / USB-HDD 設定

【 】は工場出荷時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限^{*1} 【8 すべて視聴可】
DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定できます。この設定したレベルによって制限対象となる DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1} 【無制限】
年齢制限がある BD ビデオ（Ultra HD ブルーレイも含む）の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【1】～【10】で年齢を入力できます。設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Live インターネット接続^{*1} 【有効（制限付き）】
BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

HDR10 + 設定 【入】
シーンごとにテレビ側で最適なトーンマッピングを自動的に調整します。

MASTER GRADE VIDEO CODING 【入】
(MGVC 対応の **[BD-V]**)
スタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像で再生します。(→61)

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】
3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語^{*2} 【日本語】
再生時の音声を選びます。
●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2} 【オート】
再生時の字幕言語を選びます。
●「オート」は、「音声言語」の言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2} 【日本語】
テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】
[BD-RE] **[BD-R]** **[RAM AVCREC]** **[R AVCREC]**
ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画 (AVCHD) が混在したディスクで再生する動画を設定します。
●「入」はハイビジョン動画 (AVCHD) を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録 / ダビング設定

ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】
二重音声（ニカ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】
480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 **[R-V]** **[RW-V]**

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】
二重音声（ニカ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】
記録時のアスペクトを設定します。

4KDR のダビング方式 **[ダビング方式 1]**

4KDR で録画した番組をブルーレイディスクに高速ダビングするときのダビング方式を設定します。他機器で再生できないときは、設定を変更してダビングすると再生できる場合があります。

- 「ダビング方式 1」の場合
 - ・4K 放送の放送方式 (TLV 方式) のままディスクにダビングします。
 - ・TLV 方式に対応していない再生機器では再生できません。
- 「ダビング方式 2」の場合
 - ・4K 放送番組を TS 方式に変換してディスクにダビングします。
 - ・TS 方式に対応していない再生機器では再生できません。

4K 画質の音声 ch 数優先 【切】
「切」の場合、記録される音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。
「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できますが、実際に録画できる時間は残量表示よりも短くなることがあります。

高速ダビング速度 **[最高速モード]**

高速モードでのダビング速度を設定します。
(高速記録対応ディスクの場合など)

ムーブバックエラー制御

【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター

【入】

デジタル放送録画時にCMなどで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他****」の場合、*には[1]～[10]で言語番号(→140)を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

動画編集時の変換画質

【高画質モード】

動画の編集(→90)を行うときの画質を設定します。

再放送の録画

【録画しない】

「おまかせ録画」(→42)や「カテゴリーまとめて予約」(→44)で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去

番組をすべて消去します。

写真／動画ファイルの全消去

本機のHDDに取り込んだ写真、MP4取り込みの動画ファイル、音楽CDから取り込んだ曲をすべて消去します。

HDDのフォーマット

HDDの初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDDの登録(→149)

市販のUSB-HDDを登録します。

USB-HDDの取り外し(→150)

市販のUSB-HDDを本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずにUSB-HDDを取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

録画用USB-HDDのフォーマット

写真・音楽用USB-HDDのフォーマット

SeeQVault対応のフォーマット(→150)

市販のUSB-HDDの初期化を行います。

USB-HDD登録の取り消し(→150)

USB-HDDの登録を取り消します。

すべてのUSB-HDD登録の取り消し(→150)

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

※ 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

映像設定

【】は工場出荷時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

本機の設定を変える（初期設定 / リモコン設定）（続き）

音声設定

【 】は工場出荷時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

音声 が Dolby Audio™ (Dolby® Digital、Dolby Digital Plus™、Dolby® TrueHD) のときに有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby Audio	【PCM】
DTS/DTS-HD	【PCM】
AAC	【PCM】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→183)をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）

【自動切換】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

- Dolby Atmos® や DTS:X® に 対応した BD ビデオを楽しむには

上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。

- ・Dolby Audio : 「Bitstream」
- ・DTS/DTS-HD : 「Bitstream」
- ・BD ビデオ副音声・操作音 : 「切」

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(→上記) が「Bitstream」 のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合、 「ノーマル」 で出力されます。
 - ・ **AVCHD** 再生時
 - ・ **BD-V** 副音声や操作音を含んでの再生時

シアターモード

【切】

市販の BD ビデオや DVD ビデオ、音楽 CD、お部屋ジャンプリンクの再生時に HDD や USB-HDD の回転を止めて、より視聴に適した環境で映画や音楽を楽しむことができます。

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

はっきり再生設定

はっきり再生 (→27、63) の設定をします。

はっきり効果の強さ

【弱】

はっきり効果の強さを設定します。

はっきり効果の常時設定

【切】

「入」にすると、【ゆっくり】を押さなくても、常時ははっきり効果が有効になります。

- 「デジタル出力」(→左記) が「PCM」になります。

画面設定

【 】は工場出荷時の設定です

画面表示動作（オート）

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。

- 黒帯部分を明るくします。

「[出力解像度] (→135) が「480p 固定」以外するとき

本体表示窓の明るさ

【電源連動】

本体表示窓の明るさを調節します。

- 電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(→131)

テレビ／機器／ビエラリンクの接続設定

【 】は工場出荷時の設定です

3D 設定

3D 番組の出力方法 【3D】
3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示 【入】
3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御 【入】
ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

電源オフ連動 【切】
ビエラと本機の電源を連動するように設定します。

ビエラリモコンで操作 【切】
ビエラのリモコンで本機を操作するかどうかの設定をします。

オートサウンド連携 【入】
ビエラリンク (HDMI) Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ 【入】
ビエラリンク (HDMI) Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。
●「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」(→131) が「切(時計表示無し)」のときと同じように動作します。
ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

HDMI 接続設定

出力解像度 【オート(※)】
接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。
●4K 対応テレビと接続する場合、通常は「オート」を選択してください。

※ 最高解像度を表示します。

HDMI 4K/60p 伝送モード 【高速(18Gbps)】
4K/60p 対応テレビに接続し、「出力解像度」(→左記)を「オート」に設定したときに、自動で 4K/60p 出力します。

「音声出力端子設定」(→下記)は「音声のみ」になります。

接続するテレビに合わせて設定します。

- 「高速(18Gbps)」:
4K/60p (4:4:4/8 bit) または (4:2:2/12 bit) 対応テレビと接続時
・HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない場合は、映像が正常に出力されません。
- 「通常(10.2Gbps)」:
4K/60p (4:2:0/8 bit) 対応テレビと接続時

24p 出力 **BD-V** **AVCHD** 【オート】
映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→左記)を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→左記)を「オート」または「1080i 固定」、「1080p 固定」に設定時に 1080/24p で出力されます。
24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

映像出力端子設定 【オート(映像のみ／映像＋音声)】
HDMI 映像出力端子からの音声出力するかどうかを設定します。

音声出力端子設定 【音声のみ】
HDMI 音声出力端子からの映像を出力するかどうかを設定します。

- 「映像＋音声」に設定すると以下の制限があります。
・HDMI 映像出力端子に接続した機器で 3D または 4K 映像は出力できません。
- アンプを HDMI 音声出力端子に接続している場合、「音声のみ」に設定していると、テレビから音声が出られない場合があります。

本機の設定を変える（初期設定 / リモコン設定）（続き）

HDMI 詳細設定

カラススペース 【YCbCr（オート）】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラススペース変換方法を選びます。

Deep Color 出力 【オート（10bit 優先）】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

ハイダイナミックレンジ出力 【オート】

素材や接続機器に従ってHDR（ハイダイナミックレンジ）映像で出力します。

SDR / HDR 変換 【入】

ネットワークサービスのコンテンツを再生時に、SDR（通常のダイナミックレンジ）コンテンツをHDR（ハイダイナミックレンジ）信号に変換し、コンテンツが切り換わるときの画面の乱れを抑えることができます。（コンテンツによっては効果が得られない場合があります）

HLG / PQ 変換設定 【切】

接続機器が HDR（HLG）方式に対応していない場合の HDR（HLG）方式の信号の出力方法を設定します。

25p/50p 出力 **BD-V** 【切】

25p/50p 出力対応テレビの接続時に、Ultra HD Blu-ray/BD-Video の 25p/50p/50i の素材を25p/50p で出力します。

HDCP 出力設定 【オート】

アンプ（スピーカー）経由でHDCP2.2 非対応のテレビと接続すると、一部の映像が黒画面になる場合があります。その場合は、「HDCP1.4 制限出力」に設定してください。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V** 【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下のLPCMサラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します）

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

ネットワーク通信設定

【 】 は工場出荷時の設定です

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態

【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

- 「無線親機」にすると、本機をアクセスポイントに設定することができます。

無線 / 無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」(→ 上記) が「無線」または「無線親機」時のみ有効

無線ネットワーク検索

プッシュボタン方式

PIN コード方式

手動設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

- 「LAN 接続形態」(→ 上記) が「無線」時のみ有効

プッシュボタン方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。（最大 8 台まで）

- 「LAN 接続形態」(→ 上記) が「無線親機」時のみ有効

設定変更

- 「LAN 接続形態」(→136)が「無線親機」時のみ有効

ネットワーク名 (SSID)

暗号化キー

無線方式

無線方式を選びます。ただし、選択された無線方式に無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の説明書をご覧ください。

帯域

[20 MHz]

帯域幅を設定します。

- 「無線方式」(→上記)が「802.11ac/n/a (5 GHz)」時のみ有効。
- 「80 MHz」で通信を行うと、80 MHz の帯域幅で高速に通信します。ただし、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

無線チャンネル

他機器との電波干渉があるときに、無線チャンネルを変更してください。

設定リセット

本機が無線親機のときの設定をリセットします。

IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

[入]

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP *サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→左記)を「切」にしたあと設定します。

- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

[入]

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、インターネットサービスが利用できなくなります。

プロキシアドレス

プロキシポート番号

[0]

接続テスト

本機の設定を変える（初期設定 / リモコン設定）（続き）

宅外リモート接続設定（→126）

- 宅外リモート接続機能 【切】
- 「入」にすると、「クイックスタート」（→131）は自動的に「入」になります。

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

お部屋ジャンプリンク設定（→125）

- お部屋ジャンプリンク機能 【切】
- 「入」にすると、「クイックスタート」（→131）は自動的に「入」になります。
 - 「切」にすると、「宅外リモート接続機能」（→上記）は自動的に「切」になります。

本機の名称

サーバーモード 【モード2】

アクセス許可方法 【自動】

レート変換モード 【切】

- 画質モード 【5 倍録画質】
- 「レート変換モード」（→上記）が「オート」または「入」時のみ有効。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

- 家じゅうラベルの表示 【切】
- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。（HDD が容量不足の場合、「入」にはできません）

- 自動更新 【入】
- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。（更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います）

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ネットワークカメラ連携設定

ネットワークカメラ対応機器から動画を受信する設定をします。

ネットワークカメラ連携機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→131)は自動的に「入」になります。

自動消去設定 【自動消去しない】

接続機器一覧

Cookie 削除

ウェブサイトから受け取ったCookieをすべて削除します。

引継ぎ情報の送信

本機交換の際、本機の設置設定情報をサーバーに送り新しい機器へ引き継ぐ機能です。ケーブル局の指示があった場合に操作してください。

リモートプレーヤー設定 (→126)

宅外の機器から本機の放送、録画番組などを視聴できるリモート視聴機能です。

- 詳しくは、下記サポートサイトでご確認ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_catv-support_catvremoteplayer
(2022年9月現在)



- ケーブルテレビ局によってはご使用できない場合があります。
- 録画禁止（デジタルX COPY）の番組や、4Kの放送、4Kの録画番組は、リモート視聴することができません。
- 「リモートプレーヤー機能」を「入」にするには、「お部屋ジャンプリンク機能」(→125)を「入」にしてください。
- 「リモートプレーヤー機能」を「入」にすると、「宅外リモート接続機能」(→126)は自動的に「入」になります。

本機の設定を変える（初期設定 / リモコン設定）（続き）

言語番号一覧

「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。（→132）

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	韓国(朝鮮)語:	7579	タイ:	8472	フェロー:	7079
アイマラ:	6589	カンナダ:	7578	タガログ:	8476	フランス:	7082
アイルランド:	7165	カンボジア:	7577	タジク:	8471	フリジア:	7089
アゼルバイジャン:	6590	キルギス:	7589	タタール:	8484	ブータン:	6890
アッサム:	6583	ギリシャ:	6976	タミル:	8465	ブルガリア:	6671
アフガル:	6565	クルド:	7585	チェコ:	6783	ブルターニュ:	6682
アフリカーンス:	6570	クロアチア:	7282	チベット:	6679	ヘブライ:	7387
アブハジア:	6566	グアラニー:	7178	中国語:	9072	ベトナム:	8673
アムハラ:	6577	グジャラト:	7185	ティグリニア:	8473	ベロロシア(白ロシア):	6669
アラビア:	6582	グリーンランド:	7576	テルグ:	8469	ベンガル(バングラ):	6678
アルバニア:	8381	グルジア:	7565	デンマーク:	6865	ペルシャ:	7065
アルメニア:	7289	ケチュア:	8185	トウイ:	8487	ポーランド:	8076
イタリア:	7384	ゲール(スコットランド):	7168	トルクメン:	8475	ポルトガル:	8084
イディッシュ:	7473	コーサ:	8872	トルコ:	8482	マオリ:	7773
インターリングア:	7365	コルシカ:	6779	トンガ:	8479	マケドニア:	7775
インドネシア:	7378	サモア:	8377	ドイツ:	6869	マダガスカル:	7771
ウェールズ:	6789	サンスクリット:	8365	ナウル:	7865	マライ(マレー):	7783
ウォロフ:	8779	ショナ:	8378	日本語:	7465	馬拉タ:	7782
ウクライナ:	8575	シンド:	8368	ネパール:	7869	マラヤーラム:	7776
ウズベク:	8590	シンハラ:	8373	ノルウェー:	7879	マルタ:	7784
ウルドゥー:	8582	ジャワ:	7487	ハウサ:	7265	モルダビア:	7779
ヴォラビュック:	8679	スウェーデン:	8386	ハンガリー:	7285	モンゴル:	7778
英語:	6978	スペイン:	6983	バシキール:	6665	ヨルバ:	8979
エストニア:	6984	スロバキア:	8375	バスク:	6985	ラオ:	7679
エスペラント:	6979	スロベニア:	8376	バシュト:	8083	ラテン:	7665
オーリヤ:	7982	スワヒリ:	8387	パンジャブ:	8065	ラトビア(レット):	7686
オランダ:	7876	スندا:	8385	ヒンディー:	7273	リトアニア:	7684
カザフ:	7575	ズールー:	9085	ビハール:	6672	リンガラ:	7678
カシミール:	7583	セルビア:	8382	ビルマ:	7789	ルーマニア:	8279
カタロニア:	6765	セルボクロアチア:	8372	フィジー:	7074	レトロマンズ:	8277
ガリチア:	7176	ソマリ:	8379	フィンランド:	7073	ロシア:	8285

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアダウンロード

電源「切」の状態で、ご加入のケーブルテレビ局から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- 工場出荷時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(→129「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

[→131「ソフトウェア更新（ネットワーク）」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

- 例) オンエアダウンロードによる
更新の実行中



- 例) ネットワークからのダウンロードによる
更新の実行中



- “1/5”などは進行状況です。
- “5/5”まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。



接続
と
設定

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE	BD-R
	 繰り返し記録	 1 回のみ記録
記録可能なディスク	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/片面3層(100 GB)	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/片面3層(100 GB)/片面4層(128 GB)
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	番組(4K 放送の番組を 4KDR モード、4K 画質モードで記録可能)、写真/動画(MP4)、音楽	
他の機器で再生するには	BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。 ● 以下の場合、再生できないときがあります。 ・ 1.5 ～ 15 倍録モードの番組 ・ 本機に取り込んだ動画(AVCHD、MP4) ・ LAN 経由で録画した番組 ● BDXL と LTH type の BD-R は再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 ● 2006 年春以前に発売された BD 機器では再生できません。 ● BD-RE、BD-R に書き出した動画(MP4)と音楽ファイルは再生保証していません。 ● 4KDR モード、4K 画質モード、DR HEVC の番組を記録した BD-RE、BD-R は、他機器では再生できない場合があります。	
備考	● DL、 BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0) の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)	

ディスクの種類	DVD-R DVD-R DL (片面2層)   1回のみ記録	DVD-RW  繰り返し記録
記録可能なディスク	片面1層 / 片面2層	Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで
記録方式	●AVCREC方式 ●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	●VR方式 (DVDビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVDビデオ規格)
記録できるコンテンツ	番組	番組
他の機器で再生するには	以下の条件に当てはまる機器で再生できます。 ●記録したディスクの再生に対応 ●記録したディスクの記録方式の再生に対応 AVCRECTM ・AVCREC方式の場合： 対応機器には右記のロゴが付いています。 対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 [R]はファイナライズ (→147) が必要です。 ・VR方式の場合： VR方式の再生に対応している必要があります。 ・ビデオ方式の場合： 記録後にファイナライズ (→147) が必要です。 ●デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRMに対応している必要があります。	
備考	●デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクが確かめてください。 ●ビデオ方式ではコピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 ●ビデオ方式ではデジタル放送は記録できません。	

- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
- DVDの記録方式は、本機でフォーマット(→145)することで設定されます。
- DVD-RAM ディスクの記録や編集はできません。

?

必要なとき

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

Ultra HD ブルーレイ 	Ultra HD ブルーレイを楽しむには (→60)
BD ビデオ 	映画や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。 「A」または「A」を含むもの 例)  ●リージョンコードは国により異なります。
DVD ビデオ 	映画や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 ただし、PAL方式のディスクは再生できません。 「2」（または「2」を含むもの）、 「ALL」が表示されたもの 例)  ●番号は国により異なります。
CD 	音楽や音声記録された市販ソフト (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) 写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)
+R +R DL (片面2層) +RW	他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。
DVD-RAM  DVD-R DVD-RW	[RAM] 他機器で番組を記録したディスク (AVCREC 方式または VR 方式の記録方式で記録されたディスク) 他機器でハイビジョン動画 (AVCHD) を記録したディスク ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 写真 (JPEG) を記録したディスク

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE 1)
- BD-RE (Ver. 1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式)
- HD DVD
- ビデオ CD
- SACD
- SVCD
- DVD オーディオ
- BD オーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト など

本機で記録できるようにする（フォーマット）

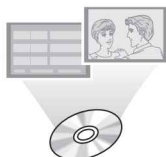
BD-RE BD-R R RW

新品または他の機器で使っていたディスク



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

- ディスクの記録方式とフォーマットについて
ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→143）

1 を押す

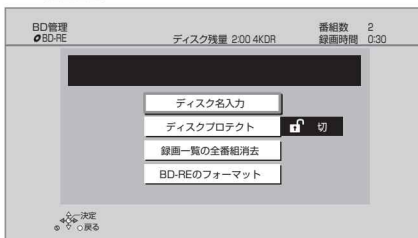
2 「メディアを使う」を選び、 を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）／DVD」を選び、 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、 を押す
●未使用の を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6 〜）

5 フォーマットの項目を選んで、 を押す

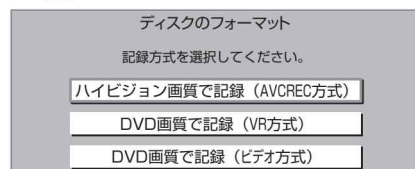
例)



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例)



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
- 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→146)を行うと記録方式を変更できません。
- 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- フォーマットは「HDDのフォーマット」(→133)で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

?

必要
な
と
き

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

1  を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

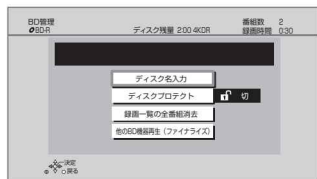
- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、決定を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

5 操作したい項目を選んで、決定を押す (→ 下記へ)

例) BD-R



ディスク名入力

BD-RE BD-R -R -RW

文字入力については (→108)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V -RW V

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



ディスクプロテクト

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

6 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

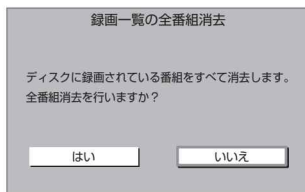
プロテクト設定すると  入 が表示



録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

例) BD-RE



6 「はい」を選び、決定を押す

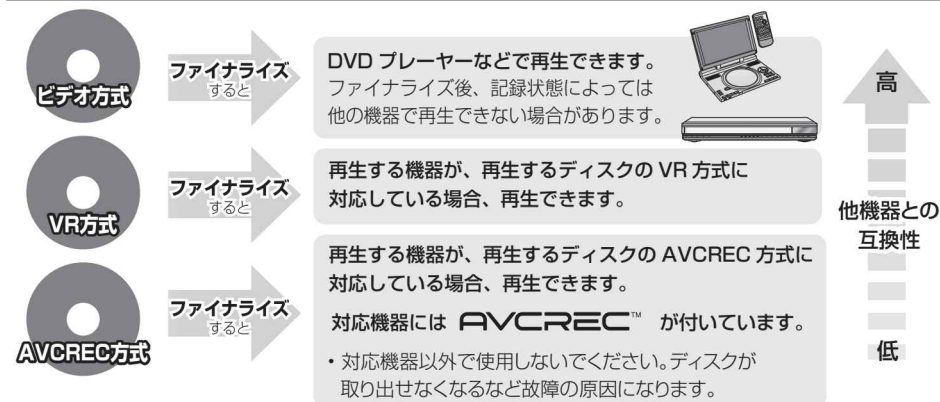
7 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

- BD-RE BD-R 写真は消去されません。
- BD-R -R AVCREC -R VR 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

[BD-RE] ファイナライズは不要です。



146 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

[R V] [RW V]

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

- ⑥ お好みの背景を選び、**決定** を押す



- ・トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（→69「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

[R V] [RW V]

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

- ⑥ 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**決定** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ） 他の BD 機器再生（ファイナライズ）

[R] [RW] [BD-R]

- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- [RW V] フォーマット（→145）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- [RW VR]「ファイナライズ解除」（→下記）を行うと、記録や編集ができます。
- [BD-R] ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

[RW VR]

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

?

必要なとき

USB-HDD の録画について

当社にて動作確認をしている USB-HDD をお使いください。

すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。

本機は、USB-HDD に番組を録画できます。

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、USB-HDD に複数の番組を同時に録画することができます。また、4K 放送の番組を予約録画することができます。(USB3.0 非対応の場合は、複数番組の同時録画や4K 放送の予約録画はできません)
- USB-HDD の説明書もよくお読みください。

SeeQVault^{※1} 対応の USB-HDD を使用すると

- 番組の予約録画はできませんが、番組や撮影ビデオ、写真、音楽をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応の当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）で再生やダビングをすることができます。(SeeQVault 対応の USB-HDD でも、録画用フォーマットで使用すると他の当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）で使用できません)



※1 「SeeQVault」(シーキューバルト) は、「さまざまな対応機器での再生互換性」と「強固なセキュリティ」を同時に実現するコンテンツ保護技術です。

- 当社で動作確認した USB ハードディスクの最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_catv-support_usb-hddlist
(2022 年 9 月現在)



USB-HDD の容量について

160 GB 以上 4 TB 以下

USB-HDD に記録できるコンテンツについて

フォーマット コンテンツ	録画用	写真・ 音楽用	SeeQVault
番組	○	×	○ ^{※2}
撮影ビデオ (AVCHD)	×	×	○
動画 (MP4)	×	○	○
写真	×	○	○
音楽	×	○	○

※2 ・予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は1回になります。

- ・「部分消去」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」、まとめ番組やチャプターの編集はできません。
- ・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去など再生以外の操作ができないことがあります。
- ・4KDR モード、4K 画質モード、DR HEVC の番組を記録することはできません。

接続する

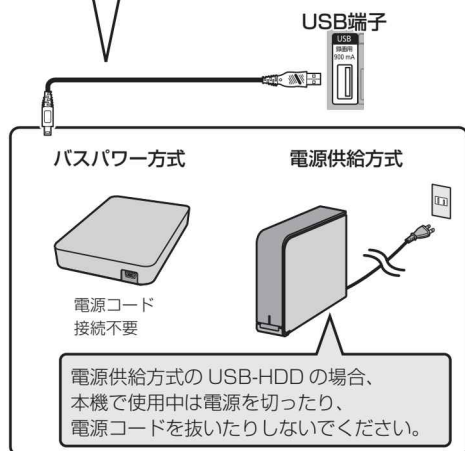
USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。

- USB-HDD は、本体背面の USB 端子に接続してください。（前面の端子に接続すると、録画できません）

USB 接続ケーブル

USB-HDD に付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。

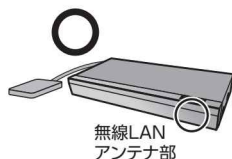
USB端子



- USB ハブを使用して接続しないでください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。そのため、お部屋ジャンプリンクやインターネット接続が不安定になる場合があります。以下のよう
に設置してください。
 - ・802.11ac または 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターと接続し、5 GHz で使用する
 - ・ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



録画用フォーマットで使用する

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

- 本機以外で使した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、画面に従って登録してください。

[アプリ] ボタン→「初期設定／リモコン設定」→「HDD / ディスク / USB-HDD 設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の登録」で登録を行う

お知らせ

- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

?

必要なとき

USB-HDD の録画について (続き)

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。

9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れたら、USB-HDD の登録画面が表示されます。

- ① 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、

 を押す

- ② 「実行」を選び、 を押す

- ③ 「登録」を選び、 を押す

- ④  を押す

USB-HDD 登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：

登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。

[アプリ] ボタン→「初期設定／リモコン設定」→「HDD／ディスク／USB-HDD 設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：

「USB-HDD の取り外し」(→ 右記)を行ったあと、実行してください。

[アプリ] ボタン→「初期設定／リモコン設定」→「HDD／ディスク／USB-HDD 設定」→「USB-HDD 設定」→「すべての USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD が本機に接続されている場合、該当の USB-HDD を取り外してください。

写真・音楽用フォーマットで使用する

写真・音楽用フォーマットした USB-HDD は他の写真・音楽用フォーマット対応の当社製ブルーレイディスクレコーダー（ディーガ）に接続して動画や写真、音楽の再生や取り込みを行うことができます。

[アプリ] ボタン→「初期設定／リモコン設定」→「HDD／ディスク／USB-HDD 設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」*で登録を行う

お知らせ

- SeeQVault 対応の USB-HDD は写真・音楽用フォーマットはできません。
- 写真・音楽用フォーマットをした USB-HDD は、番組を録画することはできません。

SeeQVault フォーマットで使用する

以下の操作は、SeeQVault 対応の USB-HDD 接続時のみ可能です。

[アプリ] ボタン→「初期設定／リモコン設定」→「HDD／ディスク／USB-HDD 設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「SeeQVault 対応のフォーマット」*で登録を行う

お知らせ

- 予約録画する場合は、「録画用フォーマットで使用する」(→149) で USB-HDD を登録してください。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

※ すでに他のフォーマットで使用している USB-HDD の場合、そのフォーマットを選んだあと、

[サブメニュー] を押して登録画面を表示してください。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

[アプリ] ボタン→「初期設定／リモコン設定」→「HDD／ディスク／USB-HDD 設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の取り外し」で取り外す

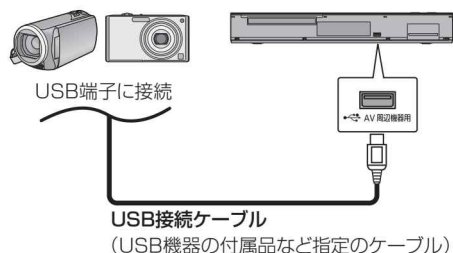
USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。

- USB リーダー& ライター、USB 電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合やUSB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使うUSB接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

USB 機器を接続する



背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合があります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

USB 機器の取り外しについて

写真・動画・音楽の取り込み中や、本体表示窓の“” (→15) 点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

?

必要なとき

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 電源を切る
(本体表示窓から「BYE」が消えるまで待つ)
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDD の回転が完全に止まってから (3 分程度待つてから)、振動や衝撃を与えないように動かす
(電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています)

お手入れ

本体およびリモコン

- 本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
 - 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。仕様環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー(パナソニック製 ディーガ専用 ブレーレイレンズクリーナー/品番: RP-CL720A-K)でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。上記以外のレンズクリーナーをご使用になる場合は、本機で使用方法を事前に各レンズクリーナーの販売メーカーにご確認ください。

- パナソニック製のレンズクリーナーでのクリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

個人情報について

- 本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器 ID や機器パスワードなどの個人情報が記録されます。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では個人情報が不正利用された場合の責任は負いません。

本機を返却するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールやデータ放送のポイントなど)や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、「HDD のフォーマット」(→133)を実行したうえ、「個人情報リセット」(→129)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

本機を修理依頼するとき

HDD の初期化 (録画内容の消去) に関するお願い

HDD は大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化(出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます)や交換が必要な場合があります。

HDD の初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。(ただし、初期化しないと修理ができない場合があります)

USB-HDD に関するお願い

USB-HDD を録画用フォーマットでお使いになっている場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。

登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

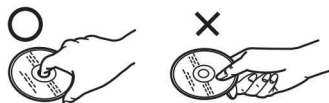
不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。

このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDDやUSB-HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

ディスク

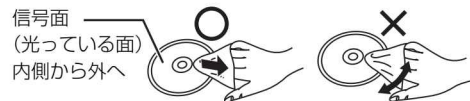
持ち方



信号面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナーなどをご使用ください。
- ディスクが汚れている場合や傷が付いている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。（ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

必要なとき

内蔵無線 LAN 使用上のお願ひ

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見かた

周波数表示は、本体背面に記載しています。



無線機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

■ 機器認定

内蔵無線機器は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線機器に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う（ただし、5.2 GHz 帯高出力データ通信システムの基地局または陸上移動中継局と通信する場合を除く）

■ 使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID[®]）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

— 次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
 - デジタルコードレス電話
 - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
- 802.11ac または 11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター・アクセスポイントをお選びください。5 GHz での使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。

- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

(○：できる ×：できない)

放送 / 入力	録画状態		再生				HDD の編集 ^{※1}	かんたんダビング	
	録画先	録画モード	HDD・USB-HDD の番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
BS4K CATV (エンコード方式 HEVC)	HDD (1 番組録画)	4KDR ^{※9} 4K 画質モード	○	○	○	○	○	○	×
	HDD (2 番組録画)		○	○	○	○	○	○	×
	HDD (3 番組録画)		○ ^{※2}	○ ^{※2}	○	○	○ ^{※2}	○	×
	USB3.0 対応の USB-HDD ^{※4}		○ ^{※3}	○	○	○	○	×	×
地上 D BS CATV	HDD (1 番組録画)	DR 1.5 ～ 15 倍録	○ ^{※5}	○ ^{※5}	○ ^{※6}	○	○ ^{※5}	○	×
	HDD (2 番組録画)		○ ^{※5}	○ ^{※5}	○ ^{※6※7}	○	○ ^{※5}	○ ^{※7}	×
	HDD (3 番組録画)		○ ^{※5※7}	○ ^{※5※7}	○ ^{※6※7}	○ ^{※7}	○ ^{※5※7}	○ ^{※7}	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD ^{※4}	DR 1.5 ～ 15 倍録	○ ^{※5}	○ ^{※5}	○ ^{※6}	○	○ ^{※5}	×	×
CATV (LAN 録画)	HDD	—	○ ^{※2}	○ ^{※2}	×	○	○	○ ^{※8}	×

●HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集 (→67 ～ 69) (スマホ転送番組の作成はできません。4K 放送を 3 番組録画中は 4KDR モード、4K 画質モードの録画モード変換はできません。)

※2 4K 放送を 3 番組録画および LAN 録画中は、再生や編集はできません。

※3 USB3.0 対応の USB-HDD に 4K 放送を 3 番組録画中は、USB-HDD の番組の再生はできません。

※4 録画用フォーマットの USB-HDD 使用時のみ予約録画できます。

※5 4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生すると、1.5 倍録～ 15 倍録で録画中の番組は DR モードに切り換えて録画を続けます。

※6 Ultra HD ブルーレイを再生すると、1.5 倍録～ 15 倍録で録画中の番組は DR モードに切り換えて録画を続けます。

※7 1.5 ～ 15 倍録で録画中の番組は、DR モードに切り換えて録画を続けます。

※8 画質変更ダビングはできません。

※9 CATV (エンコード方式が HEVC) の番組の録画モードは 4KDR です。

?

必要
な
と
き

同時操作について (続き)

(○：できる ×：できない)

4K/2K HEVC 放送の番組をダビング中の同時操作

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
4K 画質モードの番組をディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	×	×	×	×	○
4KDR モード、 4KDR TS モード、DR HEVC モード の番組をディ スクへ高速ダ ビング中 (ファイナライ ズ切)	○	○	○	×	×	×	×	○
ディスクへ画質変更ダビング中 (ファイナライズ切)	×	○ ^{※2}	×	×	×	×	×	×
ディスクへファイナライズ入でダ ビング中	×	×	×	×	×	×	×	×

●HDD 番組を複製中は、視聴や再生、編集ができます。

※1 実行できる編集 (→67 ~ 69) (録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません)

※2 他の CATV セットトップボックスからの番組の予約録画は実行できません。

デジタル放送の番組をダビング中の同時操作

ダビングの種類	視聴 放送中の 番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
ディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	×	×	×	×	○
ディスクへ画質変更 ダビング中 (ファイナライズ切)	○ ^{※3}	○ ^{※4}	○ ^{※5}	×	×	×	×	○ ^{※5}
ディスクへファイナ ライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使っ てダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※1 実行できる編集 (→67 ~ 69) (録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません)

※2 HDD 番組を複製中は、再生できます。

※3 4K 放送番組の視聴はできません。

※4 他の CATV セットトップボックスからの番組の予約録画は実行できません。

※5 「4K」や「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

本機を操作中のお部屋ジャンプリnkの同時操作

(○：できる ×：できない)

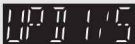
		クライアント側の操作 (ビデオを見る / 放送を見る)				
1 台目		ビデオ	放送	ビデオ	ビデオ	放送
2 台目		—	—	ビデオ	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中		○※1	○※1※2	○※1	○※1※2	○※1※2
2K 放送 (エンコード方式が HEVC) を視聴中 または、DR HEVC の番組を再生中		○	○※2	○※3	×	×
4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生中		○※3	×	○※3	×	×
4K 放送を視聴中		○※3	×	○※3	×	×
DVD ビデオ再生中		○	○	○※3	×	×
BD ビデオ・AVCHD 再生中		○※3	○※3	○※3	×	×
HDD へ放送番組を 1 番組録画中		○	○	○	○	○※4
HDD へ放送番組を複数番組録画中		○※5	○※5※6	○※5※7	○※5※6	×
LAN 経由で録画中		×	×	×	×	×
4KDR モード以外の番組をディスクに 高速ダビング中		○※5	○※5	○※5	○※5	○※5
4KDR モードの番組を ディスクに高速ダビング中	「4KDR のダビング方式」 が「ダビング方式 1」時	○※5	○※5	○※5	○※5	○※5
	「4KDR のダビング方式」 が「ダビング方式 2」時	○※3※5	×	○※3※5	×	×
番組をディスクに画質変更ダビング中		○※3※5	×	○※3※5	×	×
インターネットサービスなどの ネットワーク使用中		×	×	×	×	×

- 本機の状態によってはお部屋ジャンプリnkができない場合があります。
 - 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。
 - 本機の電源「入」時に、BS4K 放送の録画番組および 4K CATV デジタル放送の録画・放送番組を交換しながら配信することはできません。
 - エンコード方式が HEVC の CATV デジタル放送の録画・放送番組は、変換せずに配信することができません。ただし、録画番組は事前に録画一覧で録画モードをハイビジョン画質にすることで配信できる場合があります。
- ※1 MP4 (4K) 再生中はお部屋ジャンプリnkはできません。
- ※2 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。
- ※3 「レート変換モード」(→138) が「オート」または「入」の場合、お部屋ジャンプリnkができないときがあります。また、VGA 変換が必要な機器 (ビエラワンセグなど) がクライアントの場合、お部屋ジャンプリnkはできません。
- ※4 本機側が 4K 放送、CATV デジタル放送 (エンコード方式が HEVC) の番組を録画中は 2 台目の機器で放送を見ることはできません。
- ※5 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。
- ※6 本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。
- ※7 本機側が 4K 放送、CATV デジタル放送 (エンコード方式が HEVC) の番組を 3 番組録画中は、2 台目のお部屋ジャンプリnkはできません。

必要とき

こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
	● 停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。 ● デジタル放送が受信できる場合、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	● ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。左の表示が回転します。(例：61 パーセント)
	● 現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。(例：101 チャンネル)
	● 録画モード変換の開始時と終了時に表示します。(電源「入」時のみ) ● USB-HDD の番組の録画モード変換を実行中です。(電源「切」時のみ)
	● オンエアーダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5 などはダウンロードの進行状況です)
	● かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	● 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	● HDMI 認証中です。 表示が切り換わらない場合、本機やテレビ、アンプ(スピーカー)など HDMI で接続している機器の電源を入 / 切してください。 それでも切り換わらない場合は、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
	● アプリ一覧などを表示中です。
	● 音楽一覧画面を表示中です。
	● ネットワーク機能が動作中です。
	● ソフトウェア更新中または DMR(レンダラー) 機能が動作中です。
	● HDD の録画中などに、本体の【▲】を押したとき、未ファイナライズの [R AVCREC] [R V] [RW V] が入っている場合に表示されます。 ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	● ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ● 当社指定のレンズクリーナー(市販品)(→152)の作業が終了したときに、表示されることがあります。本体の【▲】を押してクリーナーを取り出してください。
	● 以下の場合、【録画 ●】を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中
	● 写真 / 動画一覧画面を表示中です。
	● 終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ● 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。

表示文字	調べるところ・原因・対策
	●「新番組おまかせ録画」「おまかせ録画」「ニュース録画」「カテゴリーまとめて予約」以外の予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。
	●設定メニューを表示中です。
	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。
	●録画一覧表示中です。
	●ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。  [決定] を押しながら、 [1] のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。
	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。
	●背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	●本機で使用できないUSB 機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB機器接続時に異常が発生しました。接続したUSB機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	●本機が正常に動作しません。本体の [お/イ] を押し、電源を入/切してください。それでも症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
  (数字の 00は例です)	●異常が発生しました。("F" または "H" 以降の数字は、本機の状態によって変わります) 本体の [お/イ] を 3 秒以上押して電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

※ 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
上記の操作をしても表示が消えない場合、ご加入のケーブルテレビ局へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などお知らせください。

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表

	録画予約している番組		「新番組おまかせ録画」で予約された番組
	「おまかせ録画」や、「カテゴリーまとめて予約」などの自動で予約された番組		

予約の実行が「切」になっている場合、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面

	テレビ放送（映像＋音声）の番組		二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
	データ放送の番組		字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組
	番組とは別のデータ放送を行っている番組		有料放送の番組 (放送会社との契約が必要です)
	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組		視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4～20才まであります)
	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組		3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)
	複数の映像または音声（マルチ音声）を含んだ番組		著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
	モノラル音声の番組		「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
	ステレオ放送の番組		番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 (デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i) (4K 放送－ 2160p) (8K 放送－ 4320p)
	5.1ch などのサラウンド放送の番組		
			
			

予約一覧画面

録画可能

全編の録画が可能な番組

変更可

予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組

検索中

時間変更追従を実行中（時間確認中）

時間指定

時間指定予約で予約した番組

曜日指定

曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示

毎日

毎週

毎日・毎週予約の番組

月～金

月～土

毎日更新

毎週更新

毎日・毎週予約で自動更新をする番組（前回録画した内容に上書きして録画します）

月～金更新

月～土更新

ニュース予約

ニュース録画で自動的に予約された番組

おまかせ予約

「おまかせ録画」で自動的に予約された番組

録画済

番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられず、予約を実行した場合にも表示されます。

番組予約

番組表を使って予約した番組

!

HDDの残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。**【決定】**を押して、予約内容を確認してください。

重複

予約時間が重なっている番組

リズ終了

毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。

警告

引越などをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

新番組

「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組

カテゴリー

「カテゴリーまとめて予約」で自動的に予約された番組

注目番組

注目番組一覧から予約した番組

まとめ予約

「注目まとめ予約」で予約した番組

自動予約

宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組

LAN予約

LAN 接続した機器から録画予約した番組

DR切換

1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画している番組

?

必要なとき

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面 (続き)

	HDD の番組数がいっぱいでは録画できない番組		HDD の残量不足で録画できない番組
	予約の実行が「切」になっている番組		録画禁止信号により録画が中断された番組
	予約録画が実行されなかった番組		ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組		1 か月より先の番組予約です。 1 か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
	HDD がいっぱいでは録画が中断された番組		録画中の番組

録画一覧・ダビング画面

	3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)		1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組
	2 つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組		「おまかせ録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組
	ニュース録画で録画された番組がまとめられた、まとめ番組		書き込み禁止 (プロテクト) の設定をした番組
	録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。		ダビングできない番組
	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。		4K 放送を 4KDR モード、4K 画質モードで録画した番組

以下は録画一覧画面でのみ表示されます。

	録画してまだ見ていない番組 ● 番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は「未視聴」から除外されません。		「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	宅外リモート接続機能を使って自動で録画された番組		「おまかせ録画」で録画された番組



ニュース録画で録画された番組



録画禁止信号により録画できなかった番組



HDDにダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組



録画中の番組



HDD に録画中の番組



HDD にダビング中の番組



HDD に録画・ダビングが終了した番組
(番組の画像は電源「切」時に作成されます)



HDD に代替録画された番組

以下はダビング画面でのみ表示されます。



ダビングすると移動する番組
(詳細ダビング時)



(数字は
1~99)

ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。



静止画を含むもの
(HDD に静止画部分はダビングされません)

スマホ転送番組一覧画面



スマホ転送番組の画質情報
上：情報量(ビットレート)
下：解像度



(赤)

録画したコピー制限のある番組
転送するとHDDの番組は消去されます。

?

必要
な
と
き

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

以下の動作音は、故障ではありません

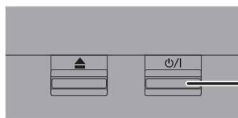
- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源入 / 切時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中
 - ・ 写真や動画を自動で保存中
 - ・ 録画モード変換時、スマホ転送番組作成時
 - ・ 「家じゅう録画一覧設定」(→138) の「自動更新」の「入」時
 - ・ 「宅外リモート接続機能」(→138) の「入」時
 - ・ 「お部屋ジャンプリンク機能」(→138) の「入」時
 - ・ インターネット接続時
 - ・ 予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に 1 回程度）の、本機全体の自動再起動時（本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています）

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① 本体の [⏻/⏻] を押し、電源を切る

- 切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的に切れます。



本体の
[⏻/⏻] を
3秒以上押す

（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む）

② 本体の [⏻/⏻] を押し、電源を入れる

（起動に時間がかかる場合があります）

上記の操作を行っても操作できないときは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

- リモコンが正しく働いていないことがあります。(→166)

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【**⏻**/I】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源オフ」(➡130) やビエラリンク (HDMI) の「電源オフ連動」(➡135)、ピエラの「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

時刻表示が出ない

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
 - ① 「クイックスタート」(➡131) を「入」に設定
 - ② 「クイックスタートモード」(➡131) を「標準」に設定
 - ③ 「ECO スタンバイ」(➡135) を「切」に設定

USB-HDD の電源が切れない

- 番組表データを受信中や録画モード変換時など本機が内部で動作しているときは、電源を「切」にしてもUSB-HDDの電源が切れない場合があります。

ビエラリンクが働かなくなった

- 本体の【**⏻**/I】を約3秒間押し、電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の【**⏻**/I】を3秒以上押す
・ 本体の電源が切れます。
 - ② 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
・ 本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
 - ③ 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで【▶】(リモコンの右ボタン)を押す
 - ④ 【決定】を押す
ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約30秒)
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

USB 機器が認識しない

- USB 機器が正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。



必要なとき

故障かな!?(続き)

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- [R]** 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- DR モード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。
- 選択している録画モードによって、残量表示が異なります。

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード (➡122) が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



[決定] を押しながら、**[1]** のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。

- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などありませんか。
- テレビ操作部のボタンでテレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➡121)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(➡122)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない テレビに「信号がありません。」が表示される

- 本体の **[o/I]** を押し、電源を入れてください。
- HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(→134)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」(→65)の各項目を「0」にしてください。

HDR で出力されない

- HDR 対応のテレビと接続していてもダイナミックレンジ変換される場合は、テレビのHDRの設定を確認してください。接続するテレビによってはソフトウェアの更新が必要な場合があります。

映像が映らない 映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→109～116)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・BS4K 放送の番組を再生時、HDMI 認証が起こり黒画面になる場合があります。
その場合、初期設定を以下のように変更すればHDMI 認証が起こりません。
 - 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(→135)を「出力なし」にする
 - 「ハイダイナミックレンジ出力」(→136)を「切」にする
 - ・HDCP（不正コピー防止技術）非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器（パソコンのディスプレイなど）によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
 - ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(→135)が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
 - ・**[BD-V]**「カラススペース」(→136)が「YCbCr(オート)」のときに、4K 出力でMGVC再生時。(→61)
- 「Deep Color 出力」(→136)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→136)を「切」にしてください。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビのHDMI端子を他のHDMI端子に変更すると改善される場合があります。

- 4K出力時、HDMIケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K出力対応のHDMIケーブルをお使いください。

- 「HDMI 4K/60p 伝送モード」(→135)を「高速(18Gbps)」にすると、以下の場合に映像が正常に出力されません。

- ・HDMIケーブルが18Gbpsに対応していない
- 本機が4K/60p出力する設定になっている場合に、接続するテレビなどを変更すると、映像が乱れる場合があります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

- ① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に5秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
- ② 本体表示窓に“13 L4K”が表示されるまで **[▶]** (リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ **[決定]** を3秒以上押す
・「HDMI 4K/60p 伝送モード」(→135)が「出力なし」に設定されます。再度正しく設定してください。



必要なとき

音声

音声が出力されない

「テレビとアンプ(スピーカー)をHDMI端子で接続する」(➡113～114)を参照のうえ、お使いの機器の接続方法に合った音声出力の各種設定をご確認ください。

以下の場合には各端子から音声が出力されません。

●HDMI映像出力端子

- ・HDMI音声出力端子に機器が接続されていて、「映像出力端子設定」(➡135)が「オート(映像のみ/映像+音声)」に設定されているとき
接続機器側の電源を「切」にしても機器によっては接続したままの状態を継続する場合があります。その場合は音声は出力されません。HDMI映像出力端子から音声を出力するには、「映像+音声」に設定するか、HDMI音声出力端子の接続機器を外してください。

音声切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- テレビやアンプの音声ボタンでは、二カ国語音声などの音声の切り換えができない場合があります。その場合は、本機の音声ボタンで切り換えてください。
- [MP4]音声の切り換えはできません。
- ディスク制作者の意図で音声切り換えられないディスクもあります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- [R]記録後、ディスクの出し入れや電源の入/切を30回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外のDVDレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
- 録画/再生用レンズが汚れている場合があります。ディーガ専用のレンズクリーナー(市販品)でレンズをクリーニングしてください。

記録したディスクが他機器で再生できない

- 再生機器がディスクの再生に対応している必要があります。(➡142)
- ディスクによってはファイナライズが必要です。(➡143、147)
- 4KDRモード、4K画質モード、DR HEVCの番組を記録したBD-RE、BD-Rは、他機器では再生できない場合があります。

録画

録画できない / 録画に失敗する

- 以下の場合、録画できません。本体表示窓の「録画」の「1」～「3」が点滅します。
 - ・アンテナが抜けている、または電波が弱い
 - ・HDDの残量がない
- ディスクやUSB-HDDには【録画 ●】を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に乗せている場合、録画できないことがあります。

予約録画ができなかった

- HDDの残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(→41)

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - ・4K放送の予約録画
 - ・**BD-RE** **BD-R** にDRモード以外で予約
 - ・**R** **RW** のディスク
 - ・未フォーマットのディスク
 - ・誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
- LAN 経由（CATV）で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。

「契約期限が切れています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送の契約は ACAS 番号で行ってください。ACAS 番号を確認してください。(→127)
- 契約にかかわらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういった放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

他のCATVセットトップボックスからLAN接続で予約録画ができない

- ネットワークの接続や設定を確認し、接続されていない場合はネットワーク設定を行ってください。(→123)
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→138) が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

再生

再生できない

- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に乗せている場合、再生できないことがあります。

Ultra HD ブルーレイが再生できない

- ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(→110)

ディスクが再生できない

- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。
- **BD-V** 画面に「バージョンアップしてください。」が表示されている場合、ディスクが認識されていない可能性があります。
- 録画 / 再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー（市販品）でレンズをクリーニングしてください。(→152)



必要なとき

BD ビデオ (Ultra HD ブルーレイも含む) やDVDビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容を工場出荷時の状態に戻してください。
- ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す (本体表示窓に “00 RET” が表示されます)
- ② 本体表示窓に “03 VL” が表示されるまで **【▶】** (リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ **【決定】** を押す

撮影動画の映像が乱れたり、正しく再生されない

- **【MP4】** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2倍速対応以下のDVDに記録された高画質(転送レート約 18 Mbps 以上)の動画は正しく再生されません。

ダビング

ディスクにダビングできない

- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- **【R V】** **【RW V】** へのダビング時、HDD の残量が少なくなるときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります)
- 高画質(転送レート約 18 Mbps 以上)の動画を、2 倍速対応以下のDVDに取り込むことはできません。
- 4 時間以上の番組をDVDにダビングする場合、4 時間未満に番組分割 (→68) してダビングしてください。

HDD にダビングできない

- **【BD-RE】** **【BD-R】** ディスクの汚れや劣化によって、ダビングを中断する場合があります。「ムーブバックエラー制御」(→132) を「継続」にすると、ダビングを実行することができます。ただし、ダビング後の番組が再生できない、または映像や音声乱れる場合があります。
- 以下の番組は、**【BD-RE】** **【BD-R】** から HDD にダビングできません。
 - ・ ディスク内で番組分割した番組
 - ・ 当社製ブルーレイディスクレコーダー (ディーガ) 以外の機器で記録や編集した番組
 - ・ ファイナライズしたディスクの番組
 - ・ 録画時間が 8 時間を超える番組
- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。

他のCATVセットトップボックスからLAN接続でダビングができない

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→138) が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

お引越しダビングができない

- お引越しダビングを使うためには、お引越し元の機器と、お引越し先の機器を同じネットワークに接続する必要があります。ネットワークに接続する方法および設定方法は、お使いの機器の説明書をご覧ください。

ビデオカメラ

撮影した動画がUSB接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識しない（USB 機器画面が表示されない）場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- [MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画はダビングできません。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のリセットを行ってみてください。

お部屋ジャンプリンク・インターネット接続が不安定になる

- 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。USB-HDD の設置については「USB-HDD の録画について」(→149) のお知らせをご覧ください。

お部屋ジャンプリンク

再生できない

- 別室のテレビなどで見える（本機をサーバーとして使用する）場合：
 - ・接続や設定を確認してください。
 - ・「機器一覧」(→125) で、再生する機器が「許可」になっていますか。
 - ・再生する機器によっては、録画中の番組や 1.5～15 倍録モードの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
- 別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）場合：
 - ・接続した機器側で本機が登録されていますか。
 - ・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

再生できない、映像が途切れる（無線接続時）

- 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 無線設定 (→136) の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、ネットワーク設定を再度行ってください。

必要
な
と
き

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 26 W

待機時（クイックスタート「切」）：

時刻表示消灯時：約 0.15 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時：約 9.0 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時：約 10.0 W^{*1*2}

※ 1・外部接続端子（LAN、USB）：未接続
・無線 LAN：未接続

※ 2・HDMI 出力解像度：1080i

待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など
本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量

区分名^{*3}

—

年間消費電力量

（表示値は JEITA 基準
による算出式を基に算
出した参考値です）

25.4 kWh/年

省エネ基準達成率^{*3}

—

※ 3 ブレーディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。

■本体

寸法：

幅 430 mm × 高さ 60 mm × 奥行き 199 mm
（突起部含まず）

幅 430 mm × 高さ 60 mm × 奥行き 209 mm
（突起部含む）

質量：

約 2.6 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80% RH（結露なきこと）

■テレビジョン方式

デジタル放送

受信変調方式：64 QAM/256 QAM（ISDB-C）

受信周波数：90 MHz～770 MHz

受信レベル：

49 dBμV～81 dBμV（64 QAM）、

55 dBμV～81 dBμV（256 QAM）（平均値）

バンド幅：6 MHz

受信変調方式：OFDM

受信周波数：90 MHz～770 MHz

受信レベル：47 dBμV～81 dBμV（平均値）

バンド幅：6 MHz

受信変調方式：

BPSK、QPSK、8PSK（ISDB-S）

π/2BPSK、QPSK、8PSK、16APSK（ISDB-S3）

受信周波数：

1032 MHz～1489 MHz、

2224 MHz～2681 MHz

受信レベル：48 dBμV～81 dBμV（平均値）

バンド幅：34.5 MHz

■入出力端子（映像・音声を除く）

ケーブル入力端子：F 型接栓、75 Ω

分配出力端子：F 型接栓、75 Ω

LAN 端子：1 系統

（10BASE-T/100BASE-TX）

USB 端子【ハイスピード USB（USB2.0）対応】：

前面 1 系統（DC 5 V 最大 500 mA）

USB 端子（USB ハードディスク録画用）

【スーパースピード USB（USB3.0）対応】：

背面 1 系統、HDD 対応（DC 5 V 最大 900 mA）

■映像

映像圧縮方式^{*4}：

HEVC/H.265、MPEG-4 AVC/H.264、

MPEG-2（Hybrid VBR）

※ 4 放送画質（DR/4KDR モード）記録時は、放送
フォーマットで記録します。

HDMI 映像・音声出力

映像出力端子（映像・音声）：1 系統（19 ピン
type A 端子）

480/60p、1080/60i・60p・24p

4K/60p・30p・24p

（4K の解像度は 3840 × 2160 まで）

音声出力端子：1 系統（19 ピン type A 端子）

1080/60p まで

■音声

記録方式：

MPEG-4 AAC: 最大 22.2ch^{*1}

MPEG-2 AAC: 最大 5.1ch^{*1}

Dolby Digital: 2ch

※ 1 放送フォーマットで記録します。

デジタル出力：

HDMI デジタル音声出力端子：

2 系統

最大 7.1ch

PCM

Dolby Digital, Dolby Digital EX,

Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD,

Dolby Atmos

DTS® Digital Surround™

DTS® Digital Surround™ | ES, DTS® 96/24,

DTS-HD® High Resolution Audio,

DTS-HD® Master Audio, DTS:X®

MPEG-2 AAC

●PCM 以外は対応アンプに接続し、bitstream で出力した場合のみ

■USB 部

USB 機器：

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD（録画用フォーマット）：

USB3.0/USB2.0（160 GB 以上 4 TB 以下）

●登録可能台数：最大8台まで（同時接続台数は1台のみ）

USB-HDD（SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット）：

USB3.0/USB2.0（160 GB 以上 4 TB 以下）

●同時接続台数は1台のみ

■写真

画素数：

34 × 34 ～ 16384 × 16384

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、

USB-HDD（SeeQVault フォーマット、写真・音楽

用フォーマット）、USB 機器

再生のみ可能メディア：

DVD-RAM、DVD-R^{*2}、DVD-R DL^{*2}、DVD-RW^{*2}、

+R^{*2}、+R DL^{*2}、+RW^{*2}、CD-R、CD-RW

※ 2 JPEG のみ記録されたディスク

記録された機器でファイナライズ必要

ファイル方式：

●JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）

・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

・MOTION JPEG 非対応

●MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）

・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

最大枚数：

●HDD：40000 枚 [写真、動画（MP4）、音楽の合計の数]

●USB-HDD（SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット）：40000 枚 [写真、動画（MP4）、音楽の合計の数]

●BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW、USB 機器：10000 枚

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

対応フォーマット：ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

マルチセッション：対応

パケットライト方式：非対応

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD 規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

●MPEG-4 AVC/H.264：High profile 5.2 以下

ビットレート：100 Mbps 以下

解像度 / フレームレート：1920 × 1080/120p、3840 × 2160/60p、4096 × 2160/60p まで

●MPEG-H HEVC/H.265：Main Profile Level 5.1 High Tier / Main 10 Profile Level 5.1 High Tier 以下

ビットレート：100 Mbps 以下

解像度 / フレームレート：1920 × 1080/120p、3840 × 2160/60p、4096 × 2160/60p まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

- ファイルの内容によっては、再生、ダビングができない場合があります。

- 音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出ない場合があります。

対応メディア：

記録 / 再生^{*3} / 取り込み対応メディア：BD-RE、BD-R、USB-HDD（SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット）

取り込みのみ対応メディア：USB 機器

※ 3 メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD にダビングすると安定して再生することができる場合があります。

?

必要
な
と
き

■スマホ転送番組

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

記録画質：150 kbps (180p)、400 kbps (180p)、
650 kbps (360p)、1.5 Mbps (720p)、
3.5 Mbps (720p)

■音楽 CD

再生対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：CD-DA

■音楽ファイル

対応メディア：

取り込み・バックアップ対応メディア：BD-RE、
BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、
写真・音楽用フォーマット)、USB 機器
取り込みのみ対応メディア：CD-Audio、CD-R、
CD-RW

再生可能なファイル形式：

- ・ WAV (.wav) 最大 384 kHz、32 bit、2ch
- ・ FLAC (.flac) 最大 192 kHz、24 bit、2ch/5.1ch
- ・ AAC (.m4a) 最大 48 kHz、320 kbps、2ch
- ・ MP3 (.mp3) 最大 48 kHz、320 kbps、2ch
- ・ DSD (.dsf/.dff) 2.8 MHz (2ch/5.1ch)、
5.6 MHz (2ch/5.1ch)、11.2 MHz (2chのみ)
- ・ AIFF (.aif/.aiff) 最大 384 kHz、32 bit、2ch
- ・ ALAC (.m4a) 最大 192 kHz、32 bit、2ch/
5.1ch

対応しているデータ形式や周波数であっても、データ
によっては再生できないことがあります。

音楽 CD 取り込みファイル形式：

WAV (44.1 kHz、16 bit、1.4 Mbps)
FLAC (44.1 kHz、16 bit、1.1 Mbps)

- ・ スマホ持ち出し用変換ファイル
 - AAC(44.1 kHz、16 bit、128 kbps)
- ・ ハイレゾ転送用変換ファイル
 - アップサンプリング 2 倍設定時
 - WAV(88.2 kHz、24 bit、4.2 Mbps)
 - FLAC(88.2 kHz、24 bit、3.2 Mbps)
 - アップサンプリング 4 倍設定時
 - WAV(176.4 kHz、24 bit、8.5 Mbps)
 - FLAC(176.4 kHz、24 bit、6.4 Mbps)

■内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11a/n/ac：5 GHz 帯
IEEE802.11b/g/n：2.4 GHz 帯
・ 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続でき
ません。

(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティ：

PSK2 (TKIP/AES)
PSK (TKIP/AES)
WEP (64 bit/128 bit)

DCF 準拠 (デジタルカメラなどで記録したもの) した
フォーマットが使用できます。

DCF :Design rule for Camera File system[電子情報技
術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]

■録画モードと記録時間の目安（内蔵 HDD）

内蔵 HDD				(2 TB)
録画モード				
放送 画質	4K DR	BS4K	4K 放送 (≤ 33 Mbps)	約 130 時間
	4K 1.5 倍録			約 195 時間
	4K 1.6 倍録			約 210 時間
	4K 1.8 倍録			約 235 時間
4 K 画 質	4K 2 倍録			約 260 時間
	4K 2.3 倍録			約 300 時間
	4K 2.5 倍録			約 325 時間
	4K 2.7 倍録			約 355 時間
	4K 3 倍録			約 390 時間
	4K 3.5 倍録			約 455 時間
	4K 4 倍録			約 520 時間
	4K 4.5 倍録			約 585 時間
	4K 5 倍録			約 650 時間
	4K 5.5 倍録			約 715 時間
	4K 6 倍録			約 780 時間
	4K 7 倍録			約 910 時間
	4K 8 倍録			約 1040 時間
	4K8~12 倍録			約 1040 時間～ 約 1560 時間

内蔵 HDD				(2 TB)	
録画モード					
放送 画質	DR	BS デジタル	HD 放送 (≦24 Mbps)	約 180 時間	
			SD 放送 (≦12 Mbps)	約 360 時間	
		地上 デジタル	HD 放送 (≦17 Mbps)	約 254 時間	
			HD 放送 (≦14 Mbps)	約 308 時間	
		CATV デジタル	SD 放送 (≦6 Mbps)	約 720 時間	
ハイ ビ ジ ョ ン 画 質	1.5 倍録			約 270 時間	
	1.6 倍録			約 288 時間	
	1.8 倍録			約 324 時間	
	2 倍録			約 360 時間	
	2.3 倍録			約 414 時間	
	2.5 倍録			約 450 時間	
	2.7 倍録			約 486 時間	
	3 倍録			約 540 時間	
	3.5 倍録			約 630 時間	
	4 倍録			約 720 時間	
	4.5 倍録			約 810 時間	
	5 倍録			約 900 時間	
	5.5 倍録			約 990 時間	
	6 倍録			約 1080 時間	
	7 倍録			約 1260 時間	
	8 倍録			約 1440 時間	
	9 倍録			約 1620 時間	
	10 倍録			約 1800 時間	
	11 倍録			約 1980 時間	
	12 倍録			約 2160 時間	
	15 倍録			約 2700 時間	
	D V D 画 質	XP			本機では録画できま せん
		SP			
		LP			

?

必要
な
と
き

■録画モードと記録時間の目安（ディスク）

BD-RE、BD-R				128 GB (片面4層)	100 GB (片面3層)	50 GB (片面2層)	25 GB (片面1層)
録画モード							
放送 画質	4KDR	BS4K	4K放送 (≦33 Mbps)	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分
4 K 画 質	4K 1.5 倍録			約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分
	4K 1.6 倍録			約 12 時間 50 分	約 10 時間	約 4 時間 50 分	約 2 時間 25 分
	4K 1.8 倍録			約 14 時間 30 分	約 11 時間 10 分	約 5 時間 30 分	約 2 時間 45 分
	4K 2 倍録			約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間
	4K 2.3 倍録			約 18 時間 30 分	約 14 時間 20 分	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	4K 2.5 倍録			約 20 時間	約 15 時間 30 分	約 7 時間 30 分	約 3 時間 45 分
	4K 2.7 倍録			約 21 時間 40 分	約 16 時間 40 分	約 8 時間 20 分	約 4 時間 10 分
	4K 3 倍録			約 24 時間	約 18 時間 30 分	約 9 時間	約 4 時間 30 分
	4K 3.5 倍録			約 28 時間	約 21 時間 35 分	約 10 時間 30 分	約 5 時間 15 分
	4K 4 倍録			約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間
	4K 4.5 倍録			約 36 時間	約 27 時間 45 分	約 13 時間 30 分	約 6 時間 45 分
	4K 5 倍録			約 40 時間	約 30 時間 50 分	約 15 時間	約 7 時間 30 分
	4K 5.5 倍録			約 44 時間	約 33 時間 55 分	約 16 時間 30 分	約 8 時間 15 分
	4K 6 倍録			約 48 時間	約 37 時間	約 18 時間	約 9 時間
	4K 7 倍録			約 56 時間	約 43 時間 10 分	約 21 時間	約 10 時間 30 分
	4K 8 倍録			約 64 時間	約 49 時間 20 分	約 24 時間	約 12 時間
	4K8~12 倍録			約 64 時間～ 約 96 時間	約 49 時間 20 分～ 約 74 時間	約 24 時間～ 約 36 時間	約 12 時間～ 約 18 時間

128 GB（片面4層）はBD-Rのみ。

BD-RE、BD-R				128 GB (片面 4 層)	100 GB (片面 3 層)	50 GB (片面 2 層)	25 GB (片面 1 層)
録画モード							
放送 画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
			SD放送 (≦12 Mbps)	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
		地上 デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間
			HD放送 (≦14 Mbps)	約 18 時間 40 分	約 14 時間 40 分	約 7 時間 20 分	約 3 時間 40 分
		CATV デジタル	SD放送 (≦6 Mbps)	約 44 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
ハイビ ジョン 画質	1.5 倍録			約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	1.6 倍録			約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	1.8 倍録			約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
	2 倍録			約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	2.3 倍録			約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
	2.5 倍録			約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	2.7 倍録			約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
	3 倍録			約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	3.5 倍録			約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
	4 倍録			約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	4.5 倍録			約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
	5 倍録			約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	5.5 倍録			約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
	6 倍録			約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
	7 倍録			約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
	8 倍録			約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	9 倍録			約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分
10 倍録			約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	
11 倍録			約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分	
12 倍録			約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間	
15 倍録			約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分	
DVD 画質	XP			本機では録画できません			
	SP						
	LP						

128 GB (片面4層) はBD-Rのみ。

?

必要とき

仕様 (続き)

ディスク 録画モード		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面 2 層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン 画質	1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では 録画できません
	1.6 倍録	約 39 分	約 1 時間 12 分	
	1.8 倍録	約 44 分	約 1 時間 21 分	
	2 倍録	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	2.3 倍録	約 56 分	約 1 時間 43 分	
	2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	2.7 倍録	約 1 時間 5 分	約 2 時間 1 分	
	3 倍録	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	3.5 倍録	約 1 時間 24 分	約 2 時間 37 分	
	4 倍録	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	4.5 倍録	約 1 時間 48 分	約 3 時間 22 分	
	5 倍録	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	5.5 倍録	約 2 時間 12 分	約 4 時間 7 分	
	6 倍録	約 2 時間 24 分	約 4 時間 30 分	
	7 倍録	約 2 時間 48 分	約 5 時間 15 分	
DVD 画質	8 倍録	約 3 時間 12 分	約 6 時間	約 1 時間
	9 倍録	約 3 時間 36 分	約 6 時間 45 分	
	10 倍録	約 4 時間	約 7 時間 30 分	
	11 倍録	約 4 時間 24 分	約 8 時間 15 分	
	12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間	約 2 時間
	15 倍録	約 6 時間	約 11 時間 15 分	
	XP	約 1 時間	約 1 時間 45 分	
	SP	約 2 時間	約 3 時間 35 分	約 4 時間
	LP	約 4 時間	約 7 時間 10 分	

お知らせ

- **[HDD]** スマホ転送番組や写真を記録している場合は、記録できる時間は少なくなります。
- 4K 画質モードの記録時間は、記録する音声 AAC 2ch 1つの場合です。
- 4K 画質モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、記録できる音声は最大2つです。「4K 画質の音声 ch 数優先」(→132) が「切」(工場出荷時)の場合、記録音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。「4K 画質の音声 ch 数優先」(→132) が「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できますが、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。
- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態(録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態)で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式: VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。
(**[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R AVCREC]** では、特にその差が著しくなります)
- DRモードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして、4KDR モードは 4K 放送を 33 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない(ビットレートの低い)番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

■HDD 容量

- 2 TB

■記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- **HDD**：3000（スマホ転送番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
 - **BD-RE**^{※1} **BD-R**^{※1} **-R AVCREC**：200
 - **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V**：99
 - **USB-HDD**（録画用フォーマット）：3000（撮影ビデオは記録できません）
 - **USB-HDD**（SeeQVault フォーマット）：10000
- ※ 1 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

■予約可能番組数

128（予約可能期間：1 年間）

■最大チャプターマーク数（記録状態により少なくなる場合があります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- **HDD** **USB-HDD**（録画用フォーマット）：1 番組当たり約 999 個
 - **BD-RE**^{※2} **BD-R**^{※2} **-R AVCREC**：1 ディスク当たり約 1000 個
 - **-R VR** **-RW VR**：1 ディスク当たり約 999 個
 - **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **USB-HDD**（SeeQVault フォーマット）：1 番組当たり約 100 個
- ※ 2 BDXL 以外のディスクのみ

■スマホ転送番組の記録可能時間の目安

画質 容量	150 kbps (180 p)	400 kbps (180 p)	650 kbps (360 p)	1.5 Mbps (720 p)	3.5 Mbps (720 p)
8 GB	約 106 時間	約 40 時間	約 24 時間	約 10 時間	約 4 時間
16 GB	約 213 時間	約 80 時間	約 49 時間	約 21 時間	約 9 時間
32 GB	約 426 時間	約 160 時間	約 98 時間	約 42 時間	約 18 時間
64 GB	約 853 時間	約 320 時間	約 196 時間	約 85 時間	約 36 時間

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

■記録方式

BD-RE :

Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠

BD-R :

Blu-ray Disc Recordable Format 準拠

DVD-R、DVD-R DL (片面2層) :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠

DVD-RW :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠

■記録／再生可能なディスク

(◎ : 記録／再生 ○ : 再生のみ × : 記録／再生不可)

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	BD ビデオ	AVCHD 規格準拠	写真／動画 (MP4)	音楽
BD-RE	片面1層 (25 GB) 片面2層 (50 GB) 片面3層 (100 GB)	◎	×	×	◎	◎
BD-R	片面1層 (25 GB) 片面2層 (50 GB) 片面3層 (100 GB) 片面4層 (128 GB)	◎	×	×	◎	◎

ディスクの種類		コンテンツ					
		番組		DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽
		DVD ビデオ レコーディング規 格準拠	AVCREC 規格準拠				
DVD-R	片面1層	◎※3	◎※1	◎※1	○※1※3	○※2	×
	片面2層						
DVD-RW	Ver.1.1/1.2 に準拠の 6X SPEED まで	◎	×	◎※1	○※1	○※2	×

※1 他機で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズ必要

※2 JPEG のみ記録されたディスク、記録された機器でファイナライズ必要

※3 他機で記録されたディスクは、再生のみ可能

?

必要なとき

■再生のみ可能なディスク

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	BD ビデオ ^{※1}	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
BD ビデオ	×	○	×	×	×

※1 Ultra HD Blu-ray、Blu-ray 3D、BD-LIVE、マスターグレードビデオコーディングに準拠

Ultra HD ブルーレイの 4K/HDR 再生については (→60)

ディスクの種類		コンテンツ					
		番組		DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
		DVD ビデオ オレコーディング規格準拠	AVCREC 規格準拠				
DVD-RAM ^{※2}	Ver.2.0/2.1/2.2 に準拠の 5X SPEED まで	○	○	×	○	○	×

※2 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出して再生可能

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD ビデオ		×	○	×	×	×
+R/+R DL/+RW		○ ^{※3}	×	○	○	×
CD-Audio		×	×	×	×	○
CD-R/CD-RW		×	×	×	○	○

※3 他機で記録した番組

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ^{* 1}		PCM	
「BD ビデオ副音声・ 操作音」の設定 ^{* 2}	入 ^{* 3}	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch PCM	
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD				
DTS® Digital Surround™ DTS® Digital Surround™ ES	DTS® Digital Surround™			
DTS-HD® High Resolution Audio				
DTS-HD® Master Audio				
7.1 ch LPCM	7.1 ch PCM ^{* 4}			

※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS® Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※2 「BD ビデオ副音声・操作音」(→134) を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD® に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。

※3 **[BD-V]** 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→134) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※4 接続する機器が非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

?

必要なとき

仕様 (続き)

接続端子	HDMI 映像出力 (映像・音声) 端子 / HDMI 音声出力端子	
「デジタル出力」の設定	Bitstream ^{※1}	PCM
4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{※3} (22.2ch、7.1ch)	ダウンミックス 5.1ch PCM ^{※2}	
4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{※4} (5.1ch)	5.1ch PCM ^{※2}	
4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) (2ch)	2ch PCM	
4K 放送 (1.5 ~ 15 倍録) ^{※5}	MPEG-2 AAC 2ch	2ch PCM
ハイビジョン放送 (DR、1.5 ~ 15 倍録) (5.1ch)	オリジナルの 音声で出力	5.1ch PCM ^{※2}
ハイビジョン放送 (DR、1.5 ~ 15 倍録) (2ch)		2ch PCM

- ※1 接続する機器が非対応のときは、PCM 2ch または 5.1ch で出力します。
- ※2 接続する機器が非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。
- ※3 「4K 画質の音声 ch 数優先」(→132) が「入」のとき
- ※4 「4K 画質の音声 ch 数優先」(→132) が「切」のとき
- ※5 4K 放送の番組を 1.5 ~ 15 倍録に録画モード変換した場合、MPEG-2 AAC 2ch (ステレオ音声) で記録します。(→22)

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Xperi Inc. および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でそれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- “Master Grade Video Coding” の文字およびロゴはパナソニックホールディングス株式会社の登録商標です。
「マスターグレード」Master Grade」は(株)バンダイの登録商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>.
Manufactured under license from DTS, Inc.
DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries.
© 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社の Inspirium 音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2021

- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- FLAC のソフトウェアライセンス文は、[アプリ] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報” → “ステータス表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して (以下、VC-1 ビデオ) 記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation.
Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー(ダビング)が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、
<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

?

必要なとき

- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[アプリ] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “メール／情報” → “ステータス表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2021 年 12 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン／見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン／見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン／見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因したまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン／見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン／見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- Google および Google Home は Google LLC の商標です。
- 「位置参照情報ダウンロードサービス」（国土交通省）(<https://nftp.mlit.go.jp/ksj/other/agreement.html>) を加工して作成



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3)～(5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/>

(1)MS/PlayReady/Final Product Labeling

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(2)MS/PlayReady/End User Notices

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本機の仕様について

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機で利用できるサービスの内容や画面は予告なく変更になる場合がありますが、ご了承ください。
- 本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。



必要なとき

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エミールビル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンライン サーバー-または製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

本アプリケーションまたは本製品は、Gracenote の提供者が所有するコンテンツを含む場合があります。その場合、ここに説明する Gracenote データに関する全ての制限は、該当するコンテンツにも適用され、また該当する提供者は、ここに説明する Gracenote が享受可能な全ての利益および保護を享受する権利を保有します。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはありません。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、

Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。

Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。 Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

一部コンテンツの著作権はグレースノートもしくはコンテンツプロバイダーに帰属します。



Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote” ロゴは米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 人名検索に関連する機能
- シーン一覧に関連する機能
- 宅外リモート接続機能
- 音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能
- その他の放送やネットワークのサービス事業者が提供するサービス

ディモラのサービスの登録について

ディモラサービスに機器を登録すると、スマートフォンで宅外リモート視聴などの無料機能をご利用になれます。パソコンやスマートフォンなどからディモラのサービス会員の登録を行ってください。シーン再生などの有料機能を利用するためには、CLUB Panasonic に会員登録が必要です。

- ディモラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック テレビ番組情報ウェブサービス

ディモラ：<https://dimora.jp/>



必要なとき

英数字	ページ
■ ACAS チップ	
番号を見る.....	127
■ AVCHD	
再生する.....	88
取り込む.....	83
■ BD-Live.....	61
BD-Live インターネット接続.....	132
■ C-CAS カード	
挿入する.....	115
テストする.....	120
番号を見る.....	127
■ DNS-IP 自動取得.....	137
■ DR モード切り換えについて.....	50
■ ECO スタンバイ.....	135
■ HDCP2.2.....	60
■ HDD	
取り扱い.....	153
フォーマット.....	133
■ HDMI	
アンプと接続.....	113
設定する (「HDMI接続設定」).....	135
テレビと接続.....	109
■ HDR	
(ハイダイナミックレンジ).....	60、65、136
■ IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定....	137
■ MP4	
書き出す.....	92
再生する.....	88
取り込む.....	83
■ SeeQVault.....	148
■ Ultra HD ブルーレイ.....	60
■ USB-HDD	
接続する.....	149
フォーマットする.....	149
■ USB 機器.....	151
■ U30.....	159
■ 10 秒戻し.....	62
■ 24p 出力.....	135
■ 3D	
3D 再生時の注意表示.....	135
3D ディスクの再生方法.....	132
再生する (映像).....	61

■ 30秒送り.....	62
■ 4KDR モード.....	22
■ 4K 画質モード.....	22
■ 4K 出力.....	135
■ 4K 動画 (MP4)	
再生.....	88
保存.....	83

あ 行	ページ
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢.....	132
DVD-Video の視聴制限.....	132
番組の視聴制限.....	128
■ 一括ダビング.....	81
■ 枝番号.....	27
■ お好みチャンネル.....	26
■ 追っかけ再生.....	55
■ お手入れ.....	152
■ お引越しダビング.....	81
■ お部屋ジャンプリンク	
設定する.....	125
操作する.....	106
■ おまかせアルバム.....	89
■ おまかせ録画.....	42
■ 音楽	
再生する (CD).....	95
■ 音質効果.....	66
■ 音声	
音質効果を設定する.....	66
音声言語を切り換える (音声情報).....	64
音声を切り換える (再生時).....	63
音声を切り換える (受信時).....	26
記録する音声 (主/副) を選ぶ	
(「二重音声記録時の音声選択」).....	132
■ 音声ガイドの設定.....	130

か 行	ページ
■ 画質変更ダビング	73
■ カテゴリーまとめて予約	44
■ かんたんダビング	74
■ 機器パスワード初期化	138
■ ギャップレス再生	96
■ 記録方式	142
■ クイックスタート	131
■ 検索する	36、37
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度	132
■ 個人情報リセット	129
■ コマ送り/コマ戻し	62

さ 行	ページ
■ サーチ	62
■ 最新ニュース	47
■ 再生する	
BD ビデオ、DVD ビデオ	
(市販またはレンタル)	60
音楽 (CD)	95
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	88
写真	88
番組	55
プレイリスト	55
■ 再生設定	64
■ 再生中番組の保存	79
■ 再生メニュー	59
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	88
取り込む	83

■ サブメニュー	
かんたんダビング	75
写真 / 動画一覧	90
スマホ転送番組一覧	101
番組表	30
録画一覧 (再生)	56
録画一覧 (編集)	67
■ シーン一覧	57
■ 時間指定予約	40
■ 視聴制限	
BD-Video の視聴可能年齢を設定する	132
DVD-Video の視聴制限を設定する	132
番組の視聴制限を設定する	128
■ 自動更新録画	32
■ 字幕	
切り換える (再生時)	63
切り換える (受信時)	27
字幕設定 (再生設定)	64
字幕設定 (放送設定)	128
録画モードによる記録の違い	22
■ 写真	
書き出す	92
再生する	88
取り込む	87
■ 仕様	172
■ 消去する	
写真	90
スマホ転送番組	101
番組	67
録画一覧の全番組消去 (HDD)	133
録画一覧の全番組消去	
(ブルーレイディスク、DVD)	146
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	76
ファイナライズ後のディスク	
(DVDビデオ) をダビングする	78
■ 初期設定	130
■ 信号切換	
再生時	64
放送受信時	27
■ 信号設定	34



必要
な
と
き

さくいん (続き)

■ 新番組おまかせ録画	46
■ 新番組／特番おしらせ	39
■ スキップ	62
■ スマホ転送番組	
記録時間の目安	180
作成する	99
転送する	101
■ スロー再生	62
■ 選局対象	129
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	63
受信時	26

た 行 ページ

■ 代替録画	48
■ ダウンミックス	134
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新	141
■ 他機器での再生について	142
■ 宅外リモート	126
■ ダビング	
お引越しダビング	81
かんたんダビング	74
再生中番組の保存	79
詳細ダビング	76
ビデオカメラから	83
■ チャプター	71
自動チャプター	132
■ チャプターマーク	71
■ チャンネル設定	117
■ 重複について	49
■ 通信による G ガイド受信	128
■ 続き再生メモリー機能	62
■ ディスク	
記録できるディスク	142
再生のみできるディスク	144
ディスクの再生方法 (再生設定)	64
名前を付ける	146
フォーマット	145
プロテクト	146
保存用ディスクを作成する	93
■ デモラ	189

■ データ放送	25
■ テレビでネット	105
■ 同時録画再生	55
■ 同時録画について	52

な 行 ページ

■ 名前を付ける	
ディスク	146
番組	67
予約録画	40
■ ニューストピックス	47
■ ネットワーク	
接続する	110
設定する	136
ネットワーク設定	123

は 行 ページ

■ ハイビジョン画質	22
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)	
再生する	88
取り込む	83
■ ハイレゾ音源 (音楽ファイル)	
再生	96
保存 (取り込み)	98
■ ハイレゾリマスター	66
■ はっきり再生	
再生時	63
視聴時	27
■ 早送り / 早戻し (サーチ)	62
■ 早見再生 (1.3倍速)	62
■ 番組	
再生する	55
消去する	67
名前を付ける	67
プロテクト	67
編集する	67

■ 番組追従機能.....	48
■ 番組転送	99
■ 番組表	
枝番号表示を非表示にする（選局対象）.....	129
画面の見方.....	29
検索（フリーワード、ジャンル）.....	36
設定を確認する.....	128
表示チャンネル数を変更する.....	30
予約録画する.....	31
■ 番組分割	68
■ ビエラリンク（HDMI）.....	102
■ ファイナライズ	
ファイナライズ解除	147
他のBD/DVD機器再生（ファイナライズ）....	147
■ フォーマット（初期化）.....	145
■ 副映像	61
■ 部分消去	68
■ プレイリスト.....	55
■ プロキシサーバー設定.....	137
■ プロテクト（書き込み禁止）	
ディスク	146
番組	67
■ 編集する	
番組	67
■ 放送設定	128
■ 放送メール.....	127
■ ポップアップメニュー.....	60
■ 本体表示窓の明るさ	134

ま 行 ページ

■ 毎日・毎週予約.....	32
設定する	33
毎日・毎週予約で録画した番組の再生 （まとめ番組の再生）.....	58
■ マイラベル	
設定する（予約時）.....	34
設定する（録画一覧で）.....	69
■ マスターグレードビデオコーディング	61
■ まとめ番組.....	58
■ 見たいシーンマーカー.....	57
■ ムーブバック（詳細ダビング）.....	73、76
■ 無線 LAN	
接続する	111
設定する	124
■ メール／情報.....	127

■ 文字入力	108
--------------	-----

や 行 ページ

■ 野球延長対応（番組追従）.....	48
■ ゆっくり／はっきり再生	
再生時	63
視聴時	27
■ 予約確認	41
■ 予約録画	
重複について.....	49
番組表を使って	31
予約内容の確認・取り消し・修正	41
録画日時を指定して（時間指定予約）.....	40

ら 行 ページ

■ リージョンコード／リージョン番号.....	144
■ リピート再生.....	64
■ リモコン	
各部の働き.....	16
他機器が同時に動作するのを防ぐ （リモコンモード）.....	122
本機のリモコンでテレビを操作する （リモコンのテレビ操作設定）.....	121
■ リモコンモード	122
■ 録画中に再生する （追っかけ再生／同時録画再生）.....	55
■ 録画中の同時操作	155
■ 録画モード.....	22
変換する	70
録画モードを選ぶ（かんたんダビング時）.....	75
録画モードを選ぶ（詳細ダビング時）.....	76
録画モードを選ぶ（予約時）.....	32
録画モードを選ぶ（録画時）.....	28
■ 録画モードと記録時間の目安.....	175

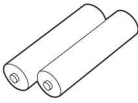


必要なとき

付属品を確認する

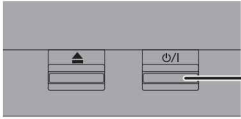
設置、接続の前にまず付属品を確かめてください。

- イラストはイメージイラストであり、実物とは形状が異なる場合があります。
- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源プラグキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処分してください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

 リモコン（1 個）	 リモコン用乾電池（2 本） 単 3 形乾電池	 電源コード（1 本）
--	--	---

リモコンで操作できない場合

テレビ放送が見られなくなった場合



本体の
[CH/1]を
3秒以上押す

リモコンの
[元の画面]
を押す



愛情点検



長年ご使用のCATVデジタルセットトップボックスの点検を！

こんな症状はありませんか

- 映像も音も出ない。
- 映像が時々消える。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。

ご使用
中止

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です。	ご加入（契約）日	年 月 日	品 番	TZ-BT9000BW
	ケーブルテレビ局	電話 （ ） —		
	ID 番号 （127 ページの「いろいろな情報を見る」「IC カード」画面で確認できる「カードID」、「ACAS 番号」、「STB-ID」を記入してください。 問い合わせのときに必要な場合があります。）		ID 番号	C-CAS カード（カードID）
				ACAS チップ（ACAS 番号）
				CATV-ID（STB-ID）

パナソニック コネクト株式会社

〒 571 - 8506 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地